

瑞浪市

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

結果報告書

令和2年5月

瑞浪市



# 目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の属性	2
(1)	回答者	2
(2)	性別	2
(3)	年齢	2
(4)	居住地区	3
①	居住地区	3
②	日常生活圏域	3
II	調査結果	4
1	家族や生活状況について	4
(1)	家族構成	4
(2)	日常生活での介護・介助の必要性	6
(3)	介護・介助が必要になった主な原因	8
(4)	主な介護者・介助者と本人との関係	10
(5)	経済的にみた現在の暮らしの状況	11
(6)	住まいの形態	12
2	からだを動かすことについて	13
(1)	階段を手すりや壁を伝わらずに昇る	13
(2)	椅子から何もつかまらずに立ち上がる	15
(3)	15分位続けて歩く	17
(4)	過去1年間の転倒経験	18
(5)	転倒に対する不安	19
(6)	週に1回以上の外出	21
(7)	昨年と比べて外出の回数が減っている	24
(8)	外出を控えている	26
(9)	外出を控えている理由	27
(10)	外出する際の移動手段	29
3	食べることについて	31
(1)	BMI	31
(2)	半年前と比べて固いものが食べにくくなった	32

(3)	お茶や汁物でむせることがある.....	33
(4)	口の渇きが気になる.....	34
(5)	歯磨きを毎日している.....	35
(6)	歯の数と入れ歯の利用状況.....	36
(7)	噛み合わせは良い.....	38
(8)	毎日入れ歯の手入れをしている.....	39
(9)	6か月間で2～3kg以上の体重減少があった.....	40
(10)	誰かと食事をともにする機会.....	41
4	毎日の生活について.....	42
(1)	物忘れが多いと感じる.....	42
(2)	自分で電話番号を調べて電話をかける.....	43
(3)	今日が何月何日かわからない時がある.....	44
(4)	バスや電車を使って1人で外出している.....	45
(5)	自分で食品・日用品の買物をしている.....	46
(6)	自分で食事の用意をしている.....	47
(7)	自分で請求書の支払いをしている.....	48
(8)	自分で預貯金の出し入れをしている.....	49
(9)	年金などの書類が書ける.....	50
(10)	新聞を読んでいる.....	51
(11)	本や雑誌を読んでいる.....	52
(12)	健康についての記事や番組に関心がある.....	53
(13)	友人の家を訪ねている.....	54
(14)	家族や友人の相談にのっている.....	55
(15)	病人を見舞うことができる.....	56
(16)	若い人に自分から話しかけることがある.....	57
(17)	趣味の有無.....	58
(18)	生きがいの有無.....	59
5	地域での活動について.....	60
(1)	会・グループ等への参加頻度.....	60
(2)	地域活動への参加者としての参加意向.....	61
(3)	地域活動への企画・運営としての参加意向.....	62
6	たすけあいについて.....	63
(1)	心配事や愚痴を聞いてくれる人.....	63
(2)	心配事や愚痴を聞いてあげる人.....	65
(3)	病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人.....	67
(4)	看病や世話をしてあげる人.....	69
(5)	家族や友人、知人以外の相談相手.....	71
(6)	友人、知人と会う頻度.....	73
(7)	この1か月に会った友人・知人の数.....	74
(8)	よく会う友人・知人.....	75
7	健康について.....	77

(1) 現在の健康状態.....	77
(2) 現在の幸せの程度.....	78
(3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる.....	79
(4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない.....	80
(5) 飲酒習慣の有無.....	81
(6) 喫煙習慣の有無.....	82
(7) 現在治療中または後遺症のある病気.....	84
8 介護が必要になった場合などについて.....	86
(1) 本人が要介護状態になった際の希望の過ごし方.....	86
(2) 家族が要介護状態になった際の希望の過ごさせ方.....	88
(3) 家族介護の負担軽減のために必要なサービス.....	90
(4) 自分が最期を迎える場として希望する場所.....	92
(5) 家族が最期を迎える場としてよいと思う場所.....	94
9 医療等について.....	96
(1) かかりつけ医師、歯科医師、薬剤師の有無.....	96
① かかりつけ医師の有無.....	96
② かかりつけ歯科医師の有無.....	97
③ かかりつけ薬剤師の有無.....	98
(2) 自宅で訪問診療を受けているか.....	99
10 認知症について.....	100
(1) 認知症の症状があるまたは家族に症状がある.....	100
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか.....	102
(3) 認知症に関する取り組みで参加したいもの.....	103

# I 調査の概要及び回答者の属性

## 1 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、「第8期瑞浪市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、瑞浪市の日常生活圏域における高齢者の生活実態やニーズを詳細に把握し、瑞浪市高齢者福祉計画の見直し及び第8期介護保険事業計画の策定のための基礎資料とするために実施したものです。

### (2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	市内にお住まいの65歳以上の方
配布数	1,000
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	令和2年2月
調査地域	瑞浪市全域

### (3) 配布数及び回収結果

配布数	1,000
有効回収数	752
有効回収率	75.2%

## 2 本調査報告書の基本的な事項

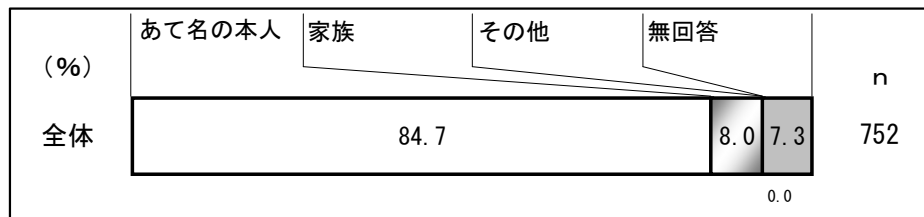
### (1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。  
従って、合計が100%にならない場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100%を超えている場合があります。

### 3 回答者の属性

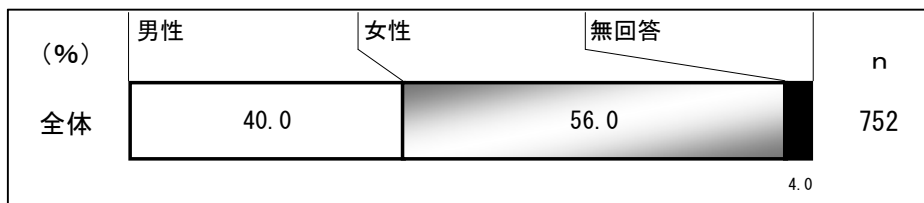
#### (1) 回答者

回答者は、「あて名の本人」が84.7%、「家族」が8.0%となっています。



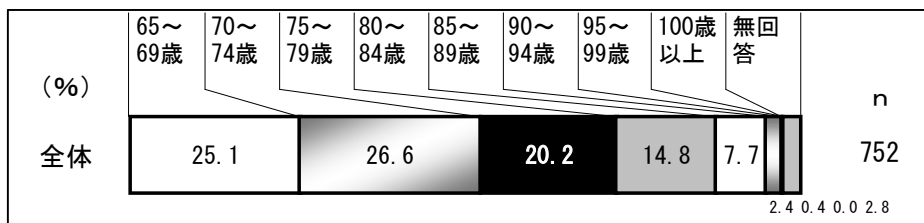
#### (2) 性別

回答者の性別は、「女性」が56.0%、「男性」が40.0%となっています。



#### (3) 年齢

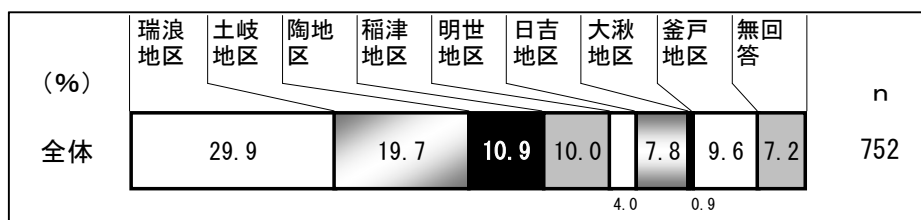
年齢構成は、「70～74歳」(26.6%)、「65～69歳」(25.1%)、「75～79歳」(20.2%)、「80～84歳」(14.8%)、「85～89歳」(7.7%)、「90～94歳」(2.4%)、「95～99歳」(0.4%)となっています。



#### (4) 居住地区

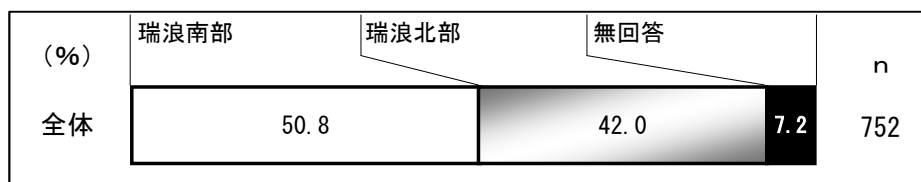
##### ①居住地区

回答者の居住区は、「瑞浪地区」が29.9%、「土岐地区」が19.7%、「陶地区」が10.9%、「稲津地区」が10.0%、「釜戸地区」が9.6%、「日吉地区」が7.8%、「明世地区」が4.0%、「大湫地区」が0.9%となっています。



##### ②日常生活圏域

居住区を統合した後の居住地区(日常生活圏域)は、「瑞浪南部」が50.8%、「瑞浪北部」が42.0%となっています。



※瑞浪南部＝瑞浪地区・稲津地区・陶地区

瑞浪北部＝土岐地区・明世地区・釜戸地区・大湫地区・日吉地区



## Ⅱ 調査結果

### 1 家族や生活状況について

#### (1) 家族構成

問3 家族構成をお教えてください。

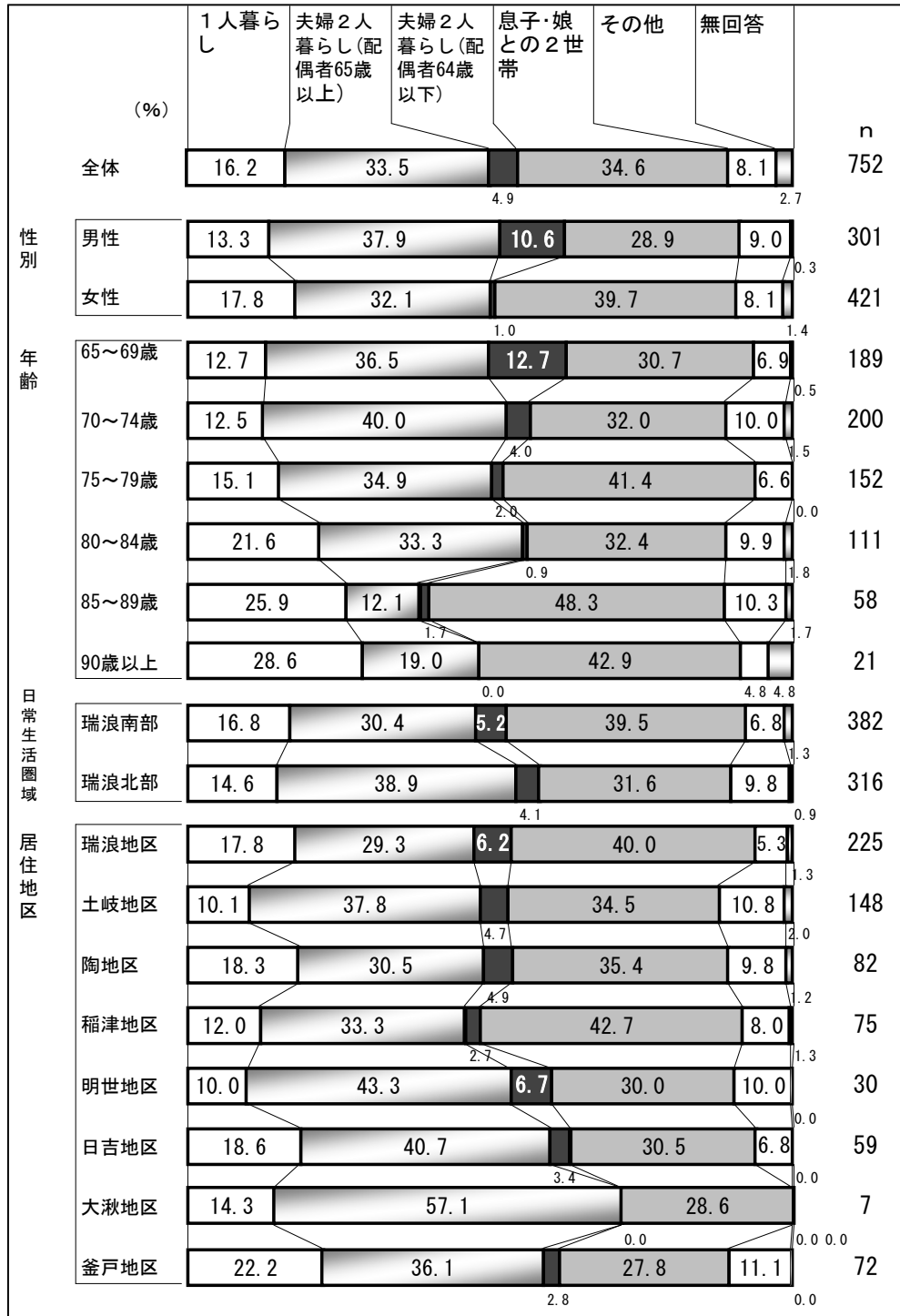
- 「息子・娘との2世帯」が3割台半ば。

家族構成については、「息子・娘との2世帯」が34.6%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.5%、「1人暮らし」が16.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.9%となっています。

年齢別でみると、「1人暮らし」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

日常生活圏域別でみると、「息子・娘との2世帯」の割合は、瑞浪南部が瑞浪北部より約8ポイント高くなっています。

図表 家族構成



## (2) 日常生活での介護・介助の必要性

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

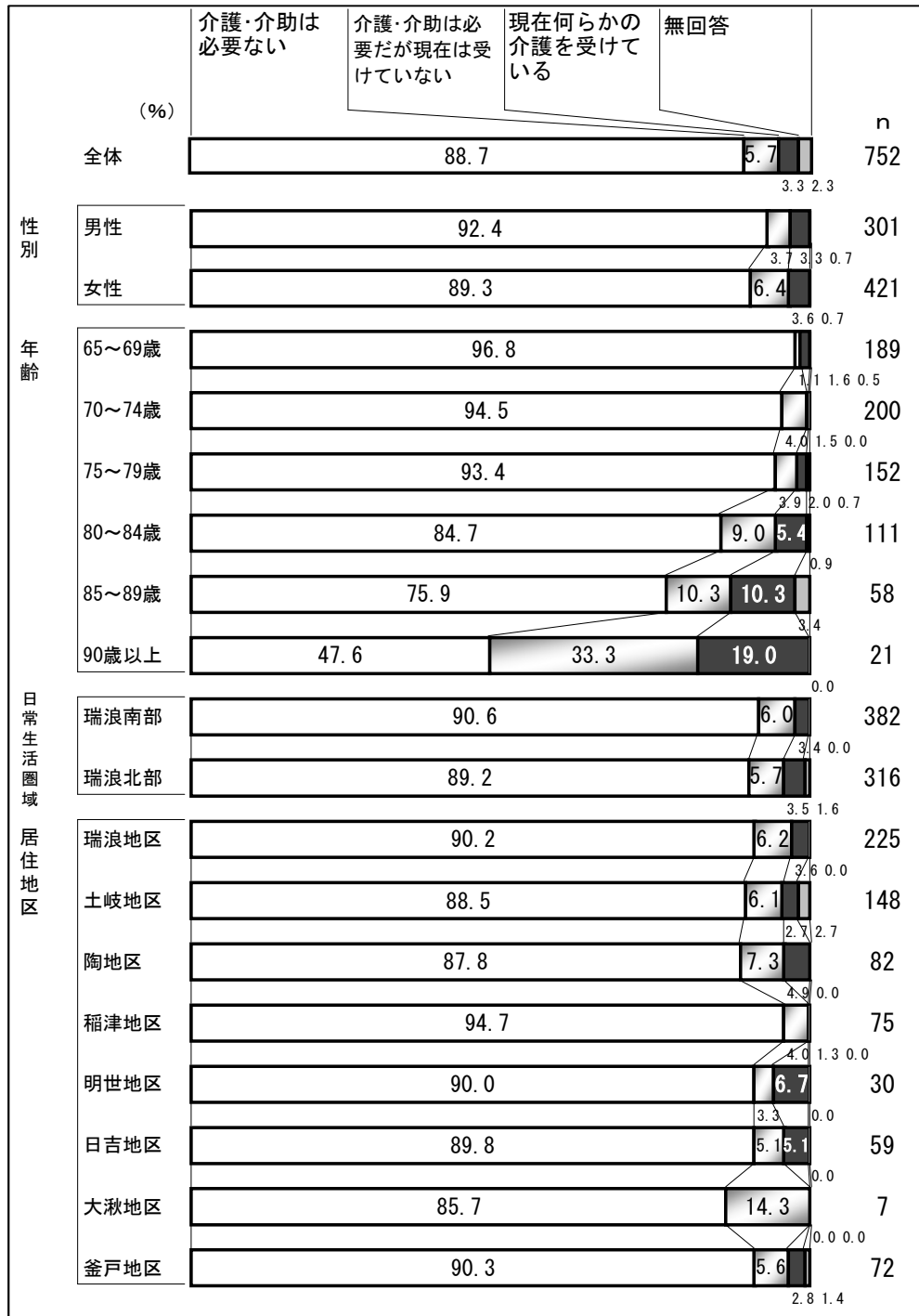


- 「介護・介助は必要ない」が9割弱。

日常生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が88.7%、「介護・介助は必要だが現在は受けていない」が5.7%、「現在何らかの介護を受けている」が3.3%となっています。

年齢別でみると、介護・介助の必要性は年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられ、実際に介護を受けている人の割合も高くなる傾向がみられます。

図表 日常生活での介護・介助の必要性



### (3) 介護・介助が必要になった主な原因

【問4で「2.」「3.」に○をつけた方のみ】  
問4-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか【複数回答】

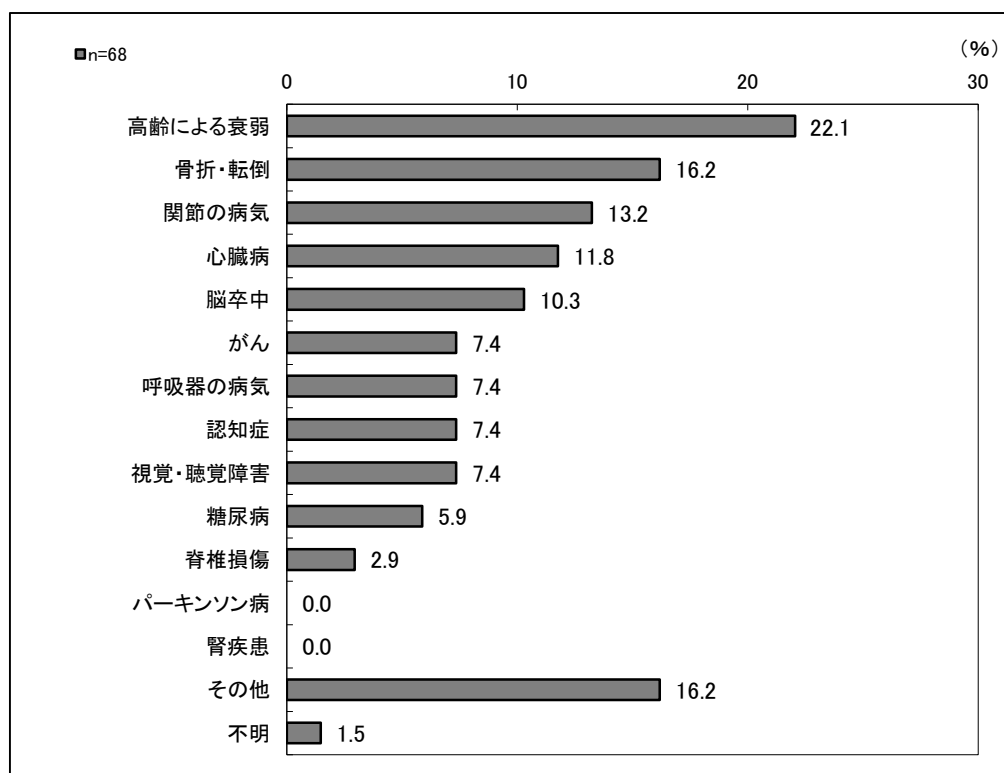
- 「高齢による衰弱」が第1位、次いで、「骨折・転倒」・「その他」の順。

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」(22.1%)、「骨折・転倒」・「その他」(同率16.2%)、「関節の病気」(13.2%)、「心臓病」(11.8%)、「脳卒中」(10.3%)、「がん」・「呼吸器の病気」・「認知症」・「視覚・聴覚障害」(同率7.4%)、「糖尿病」(5.9%)、「脊椎損傷」(2.9%)の順となっています。

性別でみると、男性では、「高齢による衰弱」、女性では、「骨折・転倒」が第1位となっています。

日常生活圏域別でみると、瑞浪北部では「高齢による衰弱」が第1位であるのに対し、瑞浪南部では「関節の病気」・「骨折」・「高齢による衰弱」が同率で第1位になっており、介護・介助が必要になった主な原因は多様です。

図表 介護・介助が必要になった主な原因（全体）



図表 介護・介助が必要になった主な原因（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		高齢による衰弱 22.1	骨折・転倒/その他 16.2	
性別	男性	高齢による衰弱 28.6	心臓病/がん/関節の病気 19.0	
	女性	骨折・転倒 21.4	高齢による衰弱 19.0	関節の病気 11.9
年齢	65～69歳	心臓病 40.0	関節の病気/認知症/糖尿病/骨折・転倒/脊椎損傷 20.0	
	70～74歳	脳卒中 36.4	糖尿病/高齢による衰弱 18.2	
	75～79歳	呼吸器の病気/関節の病気 22.2	脳卒中/糖尿病/視覚・聴覚障害/骨折・転倒 11.1	
	80～84歳	高齢による衰弱 31.3	骨折・転倒 25.0	がん 18.8
	85～89歳	骨折・転倒 25.0	呼吸器の病気/認知症/高齢による衰弱 16.7	
	90歳以上	高齢による衰弱 45.5	関節の病気 27.3	視覚・聴覚障害/骨折・転倒 18.2
日常生活圏域	瑞浪南部	関節の病気/骨折・転倒/高齢による衰弱 13.9		
	瑞浪北部	高齢による衰弱 27.6	骨折・転倒 20.7	心臓病/関節の病気/その他 13.8
居住地区	瑞浪地区	糖尿病/骨折・転倒/高齢による衰弱 18.2		
	土岐地区	高齢による衰弱 23.1	脳卒中/心臓病/骨折・転倒 15.4	
	陶地区	呼吸器の病気 30.0	関節の病気/認知症/視覚・聴覚障害 20.0	
	稲津地区	脳卒中/がん/高齢による衰弱 25.0		
	明世地区	心臓病/がん/骨折・転倒/高齢による衰弱 33.3		
	日吉地区	関節の病気 33.3	心臓病/認知症/視覚・聴覚障害/骨折・転倒/高齢による衰弱 16.7	
	大湫地区	骨折・転倒/高齢による衰弱 100.0		
	釜戸地区	関節の病気/高齢による衰弱 33.3		脳卒中/骨折・転倒 16.7

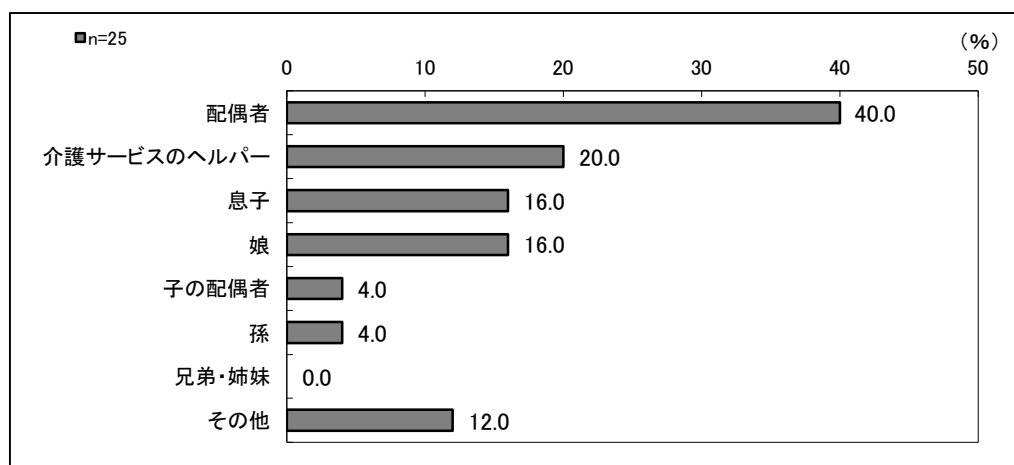
#### (4) 主な介護者・介助者と本人との関係

【問4で「3.」に○をつけた方のみ】  
問4-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。【複数回答】

- 「配偶者」が他を引き離して第1位。

主に誰の介護、介助を受けているかについてたずねたところ、「配偶者」(40.0%)、「介護サービスのヘルパー」(20.0%)、「息子」・「娘」(同率16.0%)、「子の配偶者」・「孫」(同率4.0%)の順となっています。

図表 主な介護者・介助者と本人との関係 (全体)



## (5) 経済的にみた現在の暮らしの状況

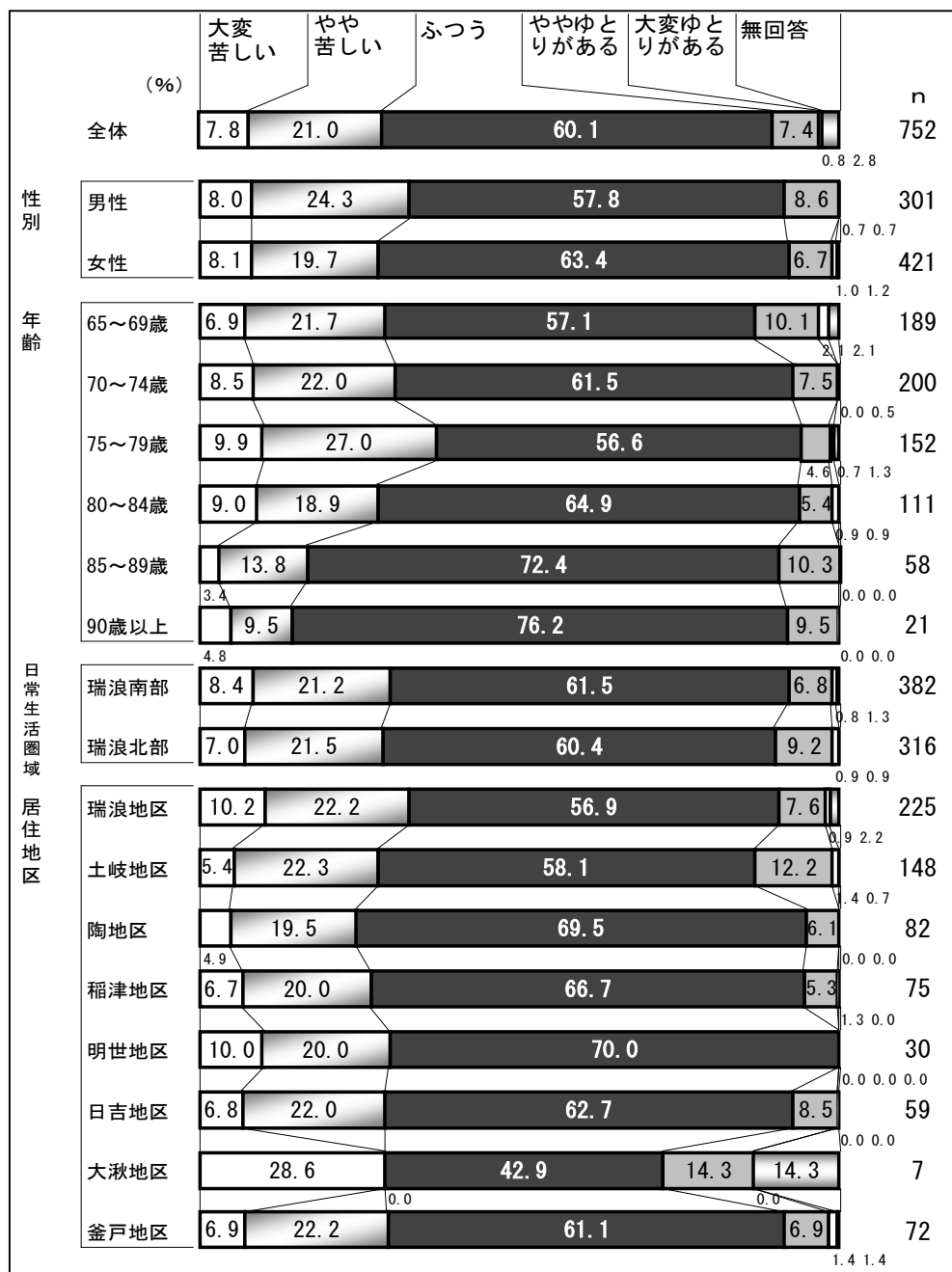
問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

- “苦しい” が3割弱、一方、“ゆとりがある” が8.2%。

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が60.1%で最も多く、以下、「やや苦しい」(21.0%)、が続き、これに「大変苦しい」(7.8%)、を合わせた“苦しい”は28.8%、一方、“ゆとりがある”（「ややゆとりがある」(7.4%)、「大変ゆとりがある」(0.8%)の合計）は8.2%となっています。

年齢別でみると、“苦しい”の割合は、75-79歳以下の層で高い傾向がみられます。

図表 経済的にみた現在の暮らしの状況





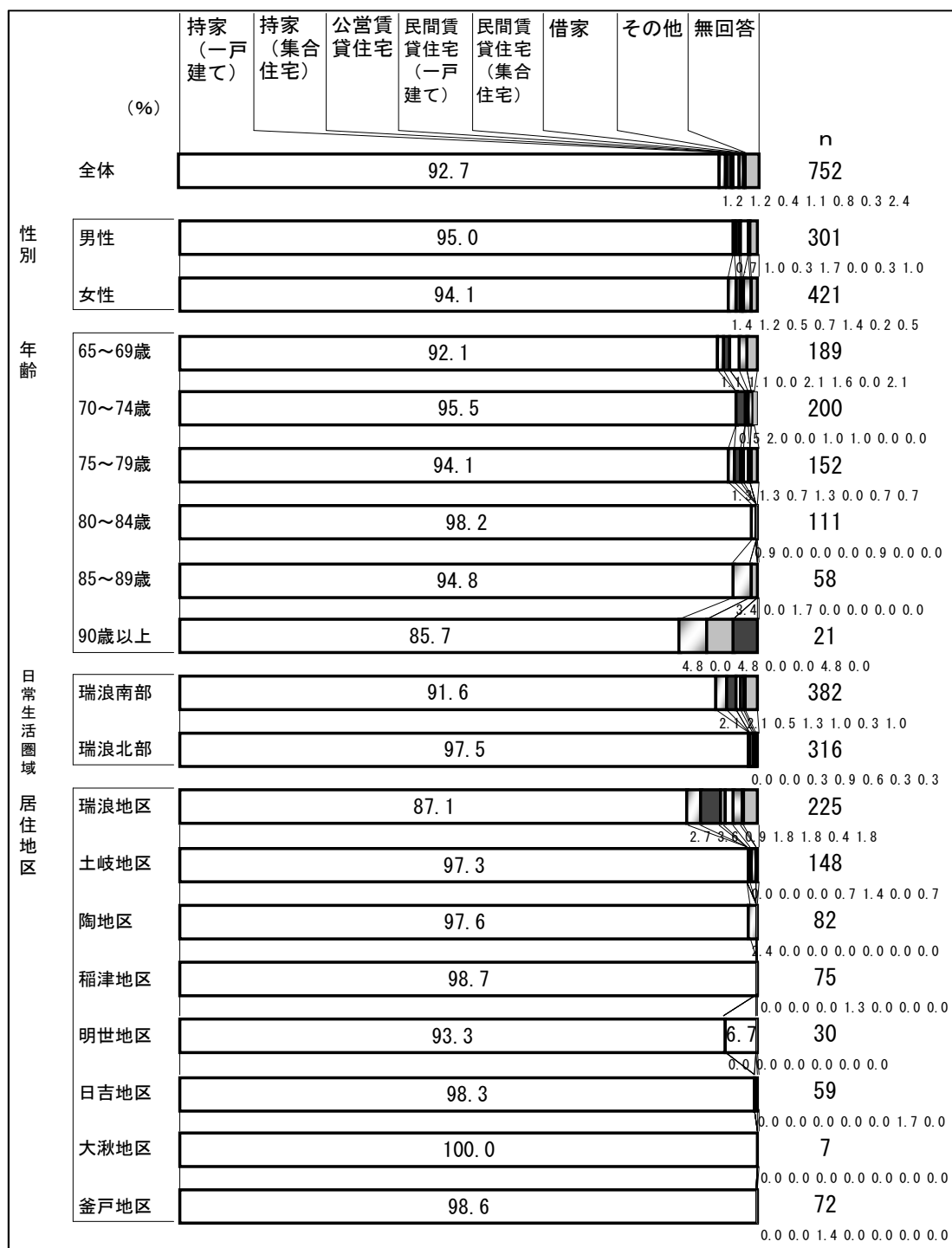
## (6) 住まいの形態

問6 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

● 「持家（一戸建て）」が9割強。

住まいの形態については、「持家（一戸建て）」が92.7%、「持家（集合住宅）」・「公営賃貸住宅」が同率で1.2%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.1%、「民間賃貸住宅（一戸建て）」が0.4%、「借家」が0.8%となっています。

図表 住まいの形態



## 2 からだを動かすことについて

### (1) 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る

問7 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



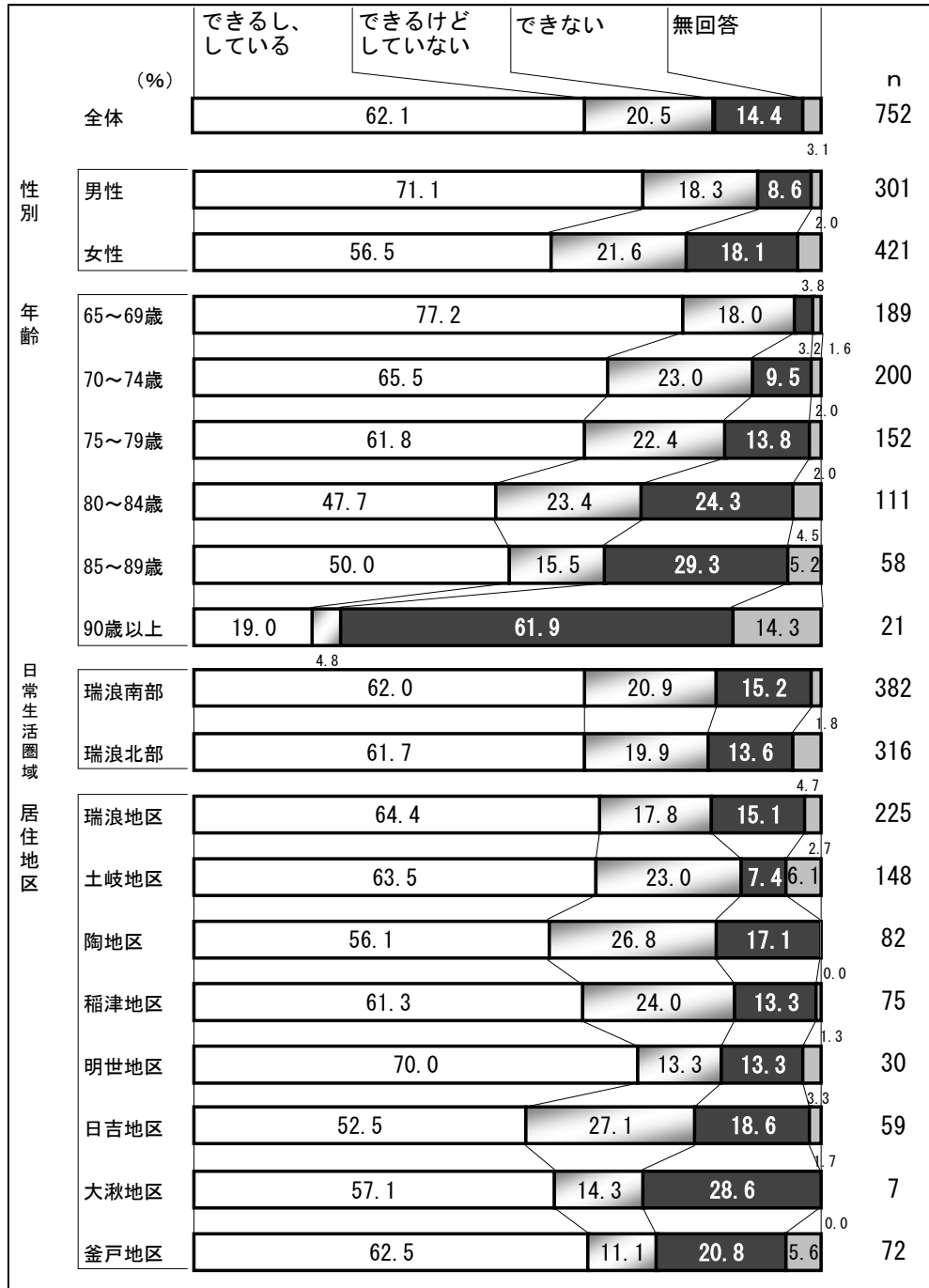
- 「できるし、している」が6割強。

階段を手すりや壁を伝わらずに昇っているかどうかについては、「できるし、している」が62.1%、「できるけどしていない」が20.5%、「できない」が14.4%となっています。

性別でみると、「できない」の割合は、男性に比べ女性のほうが約10ポイント上回っています。

年齢別でみると、「できない」の割合は年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 階段を手すりや壁を伝わらずに昇る



## (2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がる

問8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



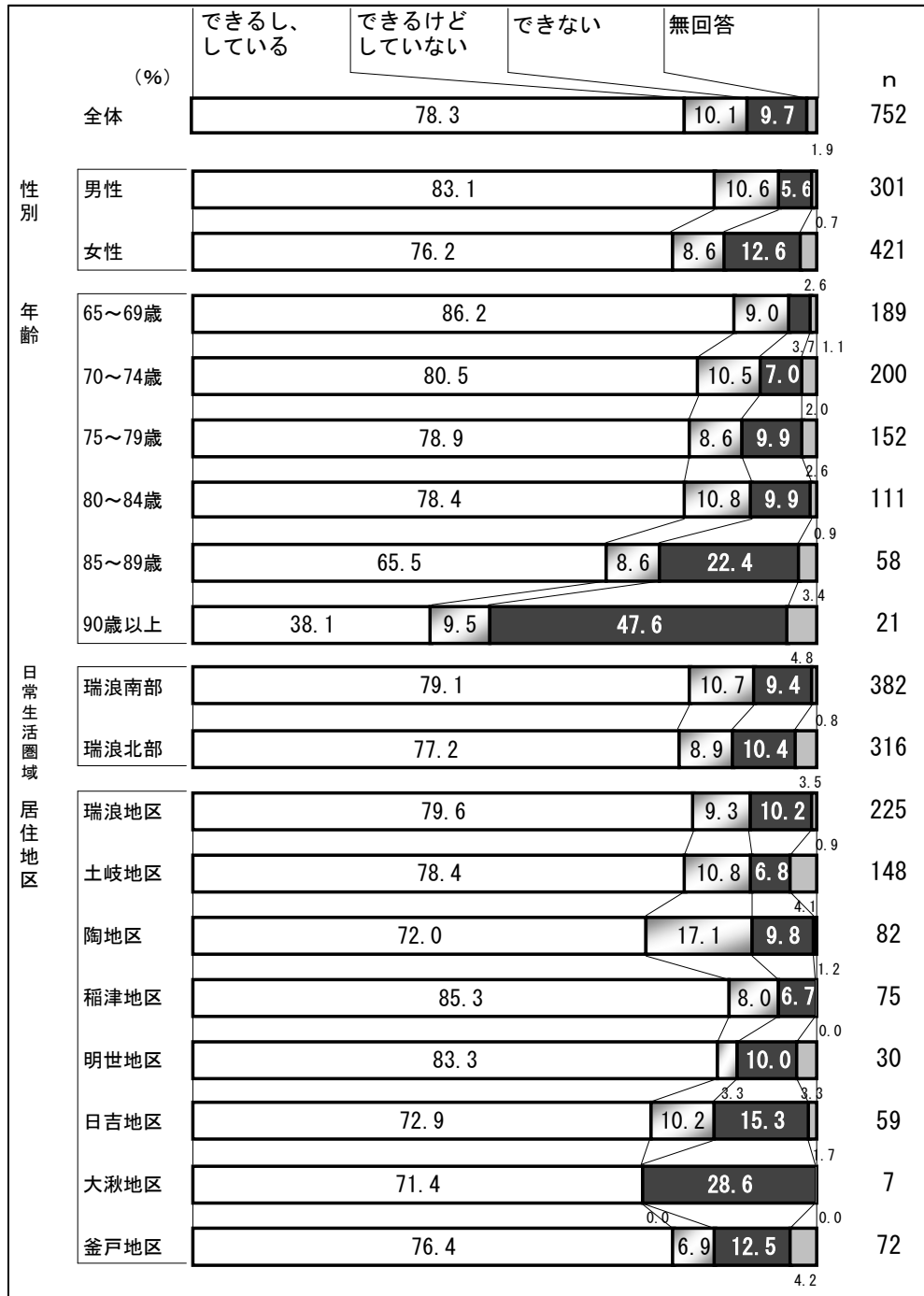
- 「できるし、している」が8割弱。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかどうかについては、「できるし、している」が78.3%、「できるけどしていない」が10.1%となっています。

性別で見ると、「できない」の割合は、男性に比べ女性のほうが約7ポイント上回っています。

年齢別で見ると、85-89歳から「できない」の割合が大きく増加しています。

図表 椅子から何もつかまらずに立ち上がる



### (3) 15分位続けて歩く

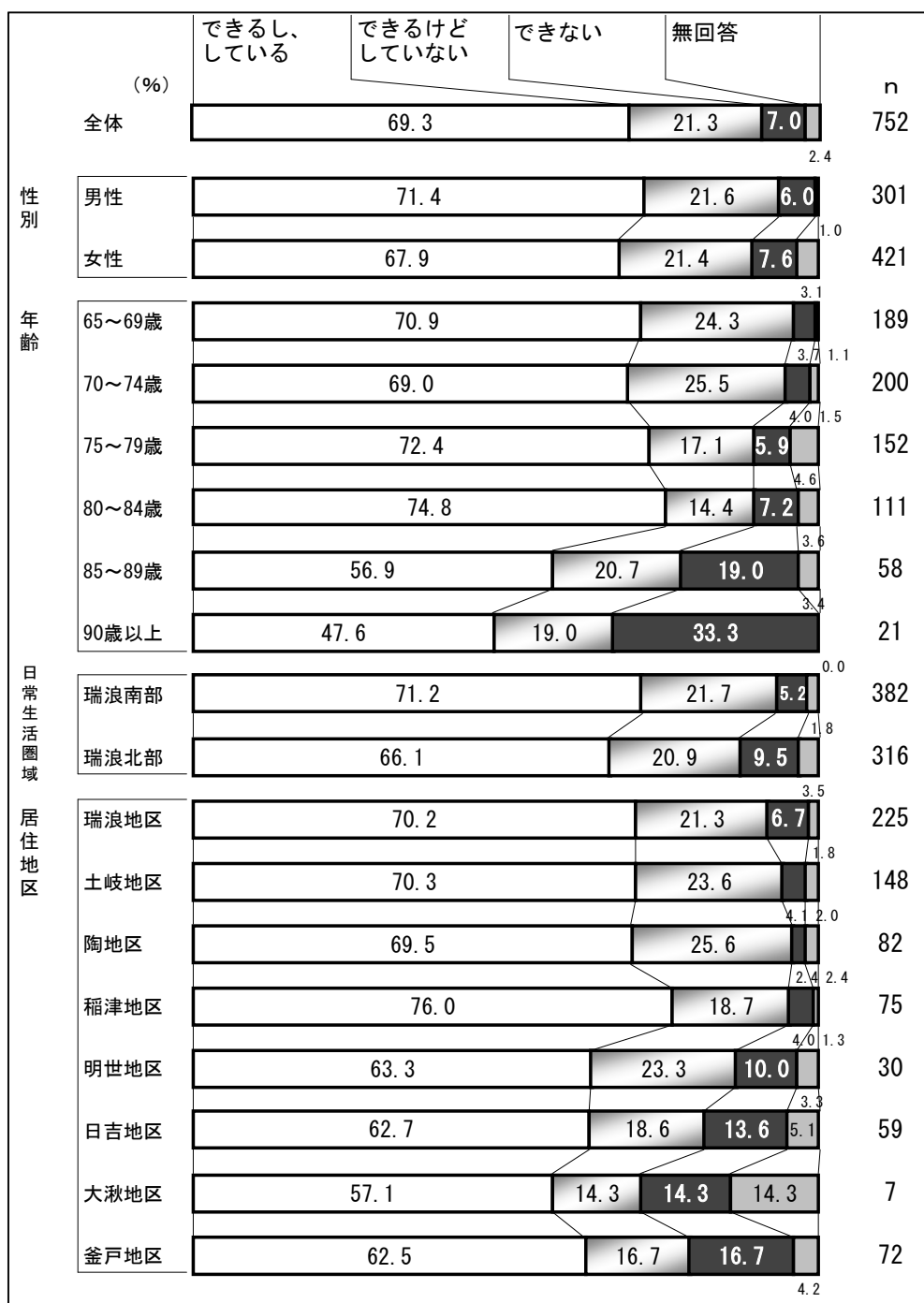
問9 15分位続けて歩いていますか。

● 「できるし、している」が約7割。

15分位続けて歩いているかどうかについては、「できるし、している」が69.3%、「できるけどしていない」が21.3%、「できない」が7.0%となっています。

年齢別でみると、85-89歳から「できない」の割合が大きく増加しています。

図表 15分位続けて歩く



#### (4) 過去1年間の転倒経験

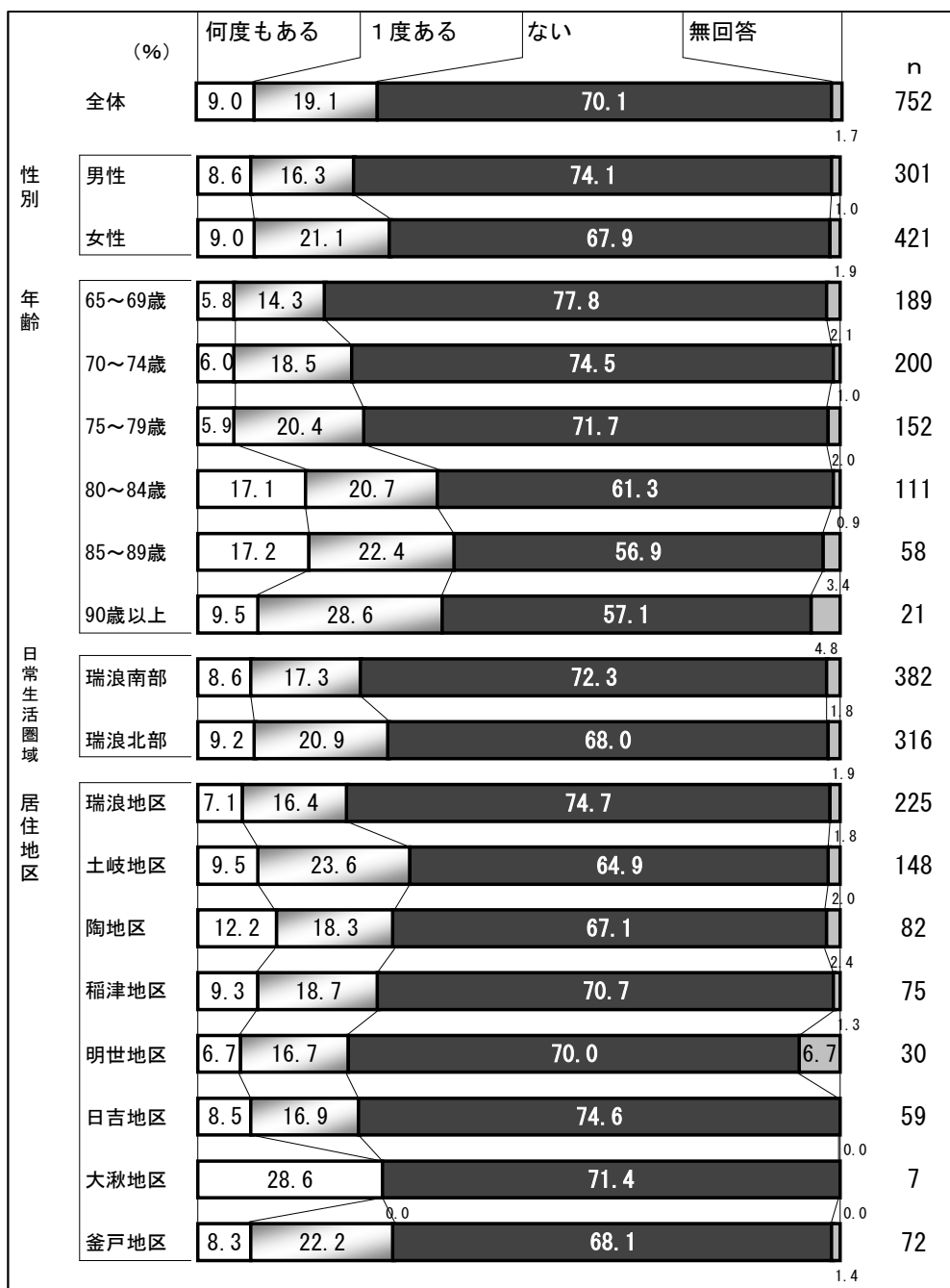
問10 過去1年間に転んだ経験がありますか。

● 「ない」が約7割。

過去1年間の転倒経験については、「ない」が70.1%で最も多く、以下、「1度ある」(19.1%)が続く、これに「何度もある」(9.0%)を合わせた“ある”は28.1%となっています。

年齢別でみると、“ある”の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 過去1年間の転倒経験



## (5) 転倒に対する不安

問 11 転倒に対する不安は大きいですか。



- “不安である” が5割強、一方、“不安ではない” が5割弱。

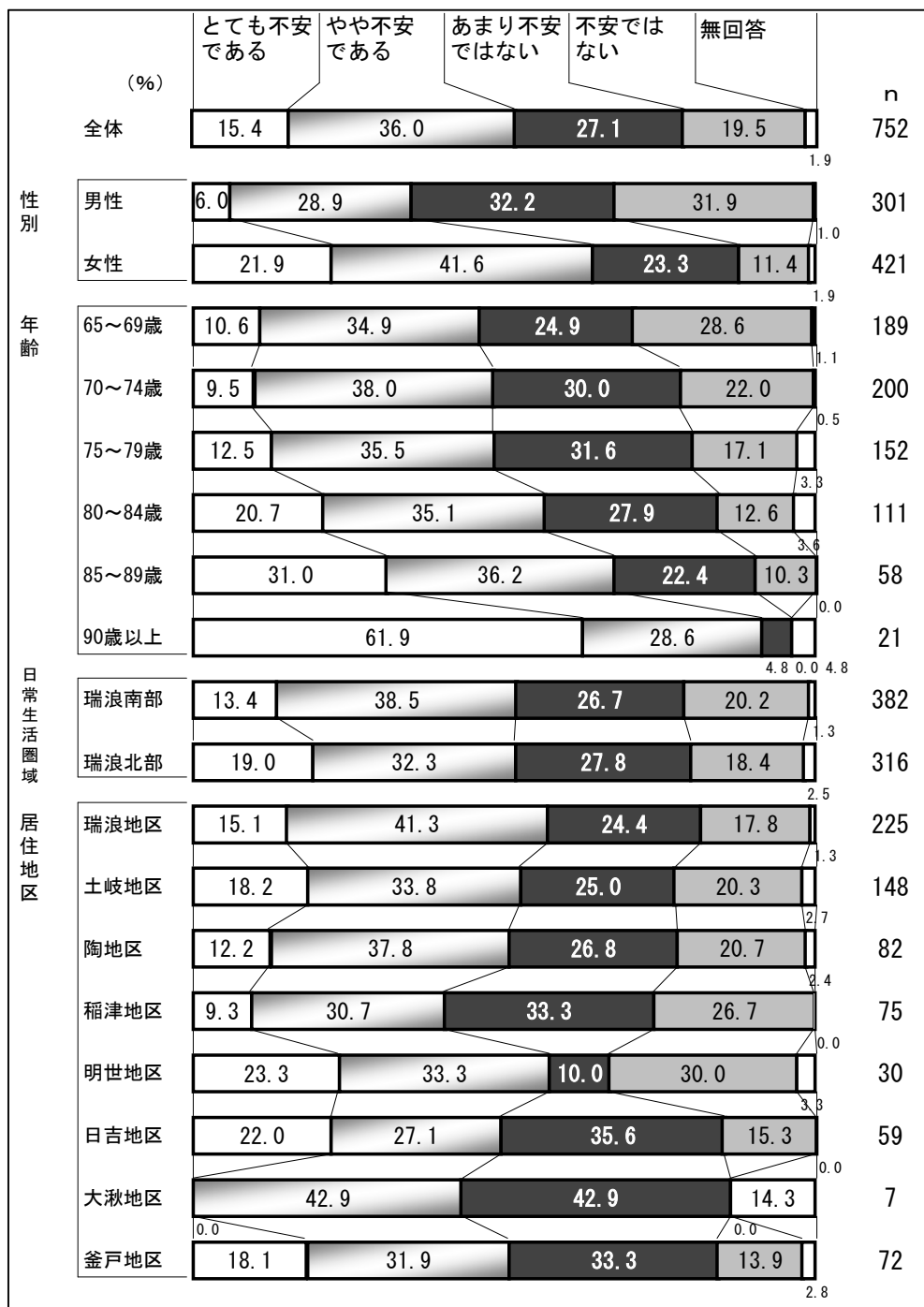
転倒に対する不安については、「やや不安である」が36.0%で最も多く、これに「とても不安である」(15.4%)、を合わせた“不安である”は51.4%、一方、“不安ではない”（「あまり不安ではない」(27.1%)、「不安ではない」(19.5%)の合計）は46.6%となっています。

性別でみると“不安である”の割合は、女性が63.5%、男性が34.9%と、男性に比べ女性のほうが大きく上回っています。

年齢別でみると、“不安である”の割合は、年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。



図表 転倒に対する不安



## (6) 週に1回以上の外出

問 12 週に1回以上は外出していますか。



- 「週2～4回」が4割台半ば。

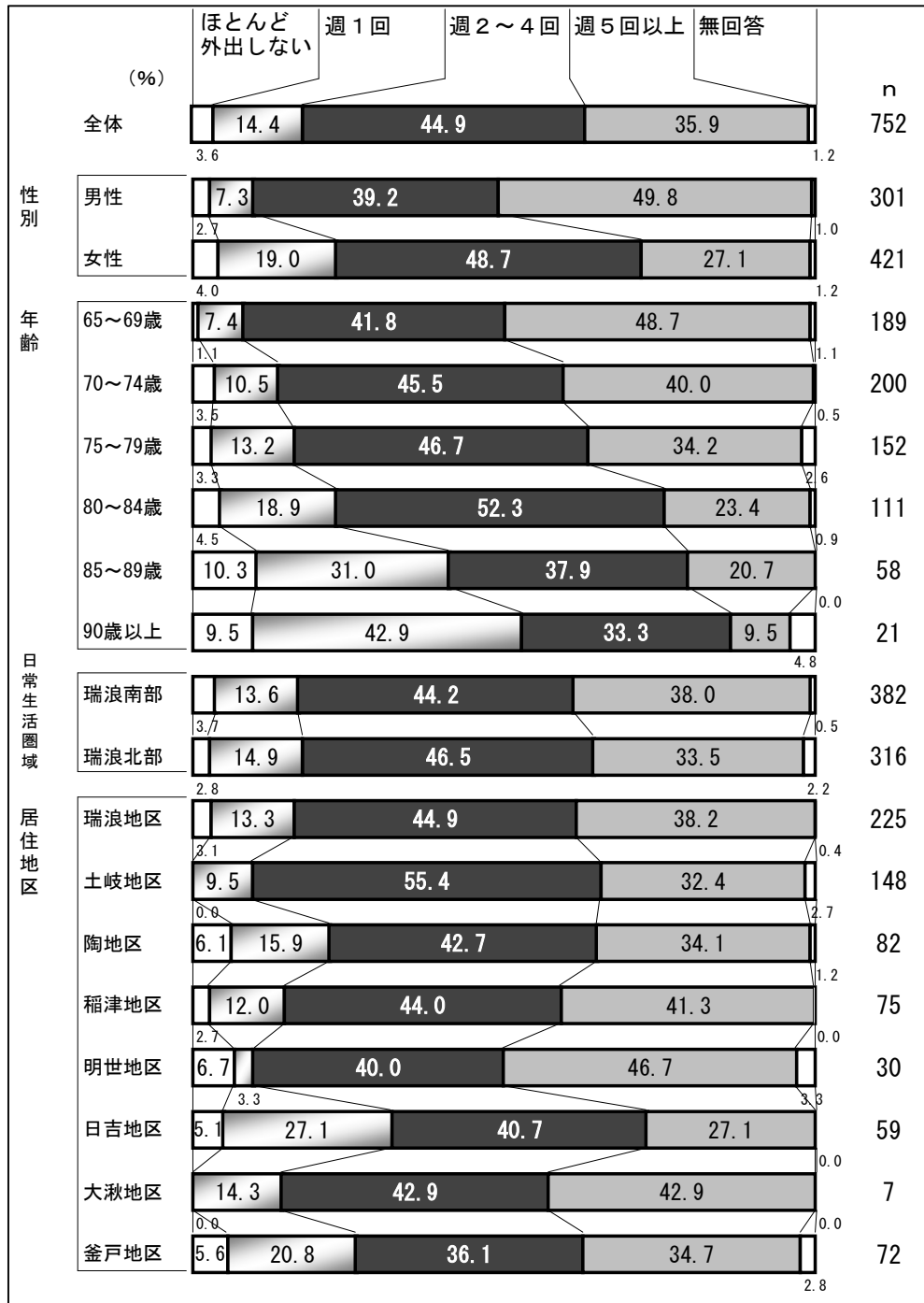
週に1回以上の外出については、「週2～4回」が44.9%、「週5回以上」が35.9%、「週1回」が14.4%、「ほとんど外出しない」が3.6%となっています。

性別でみると、総じて、女性より男性の外出頻度が高い傾向がみられます。

年齢別でみると、「ほとんど外出しない」、「週1回」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

また、「問15 外出する際の移動手段」とのクロス集計では、外出頻度が高いほど、「自動車(自分で運転)」の割合が高い傾向がみられ、一方、外出頻度が低いほど、「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が高い傾向がみられます。

図表 週に1回以上の外出



図表 週に1回以上の外出×外出する際の移動手段

		問15 外出する際の移動手段							
		合計	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バス
	全体	n=752	38.8	7.7	2.1	66.1	22.7	11.2	7.8
問12 週に1回 以上の外出	ほとんど外出しない	n=27	22.2	0.0	3.7	25.9	48.1	3.7	14.8
	週1回	n=108	28.7	5.6	0.9	32.4	41.7	5.6	17.6
	週2～4回	n=338	39.1	8.3	1.8	65.4	25.7	11.8	8.9
	週5回以上	n=270	44.4	8.9	3.0	85.9	9.6	13.3	2.2
		問15 外出する際の移動手段							
		合計	病院や施 設のバス	車いす	電動車い す(カー ト)	歩行器・ シルバー カー	タクシー	その他	無回答
	全体	n=752	1.1	0.4	0.0	1.1	7.4	1.2	1.7
問12 週に1回 以上の外出	ほとんど外出しない	n=27	3.7	3.7	0.0	0.0	14.8	7.4	0.0
	週1回	n=108	1.9	0.0	0.0	0.9	13.9	3.7	2.8
	週2～4回	n=338	1.5	0.6	0.0	1.8	7.1	0.6	0.9
	週5回以上	n=270	0.0	0.0	0.0	0.4	4.1	0.0	1.1

## (7) 昨年と比べて外出の回数が減っている

問 13 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。



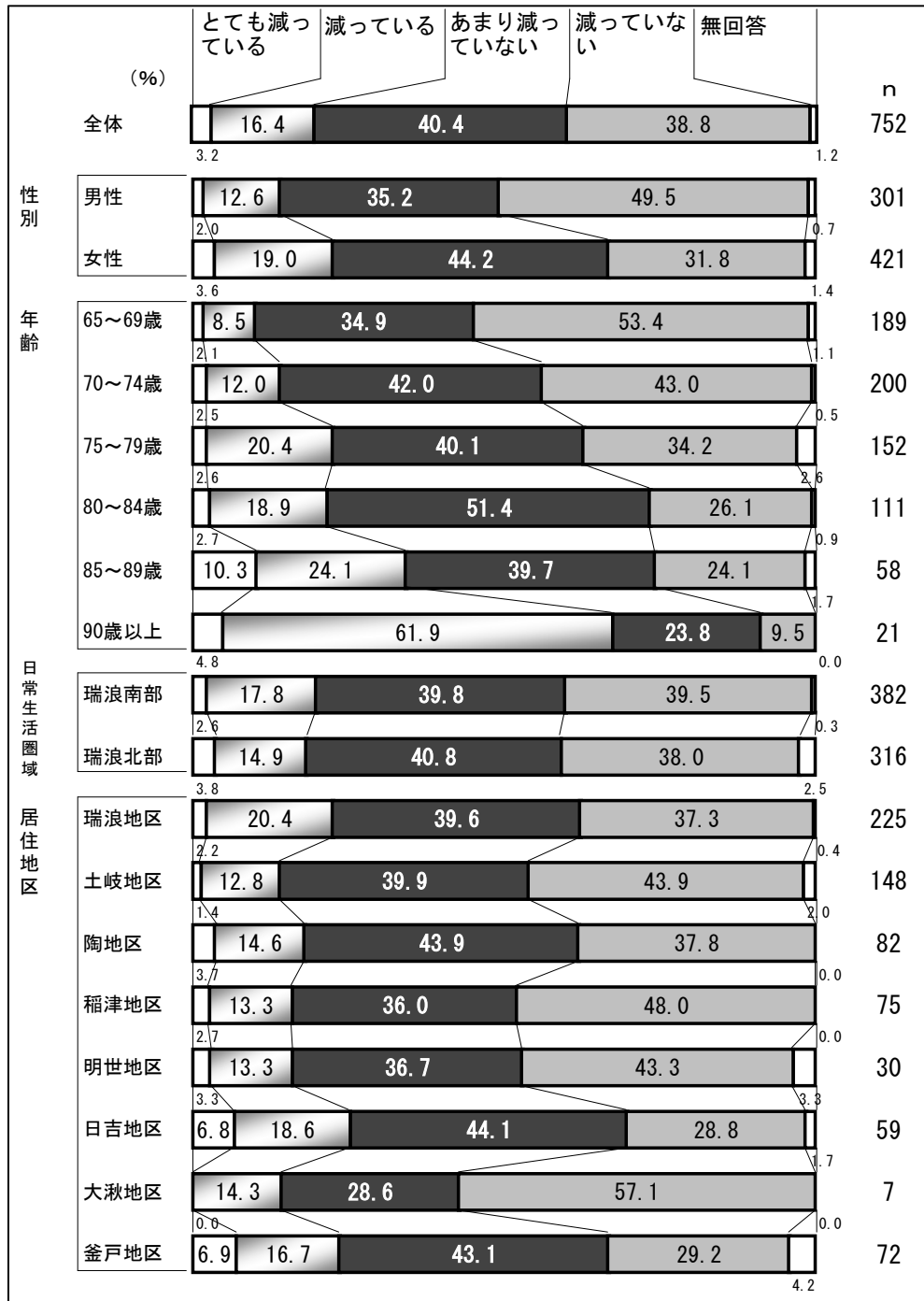
- “減っていない”は約8割、一方、“減っている”が約2割。

昨年と比べて外出の回数が減っているかどうかについては、「あまり減っていない」が40.4%で最も多く、これに「減っていない」(38.8%)を合わせた“減っていない”は79.2%、一方、“減っている”（「減っている」(16.4%)、「とても減っている」(3.2%)の合計）は19.6%となっています。

性別で見ると、“減っている”の割合は、男性に比べ女性のほうが約8ポイント上回っています。

年齢別で見ると、“減っている”の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 昨年と比べて外出の回数が減っている



(8) 外出を控えている

問 14 外出を控えていますか。

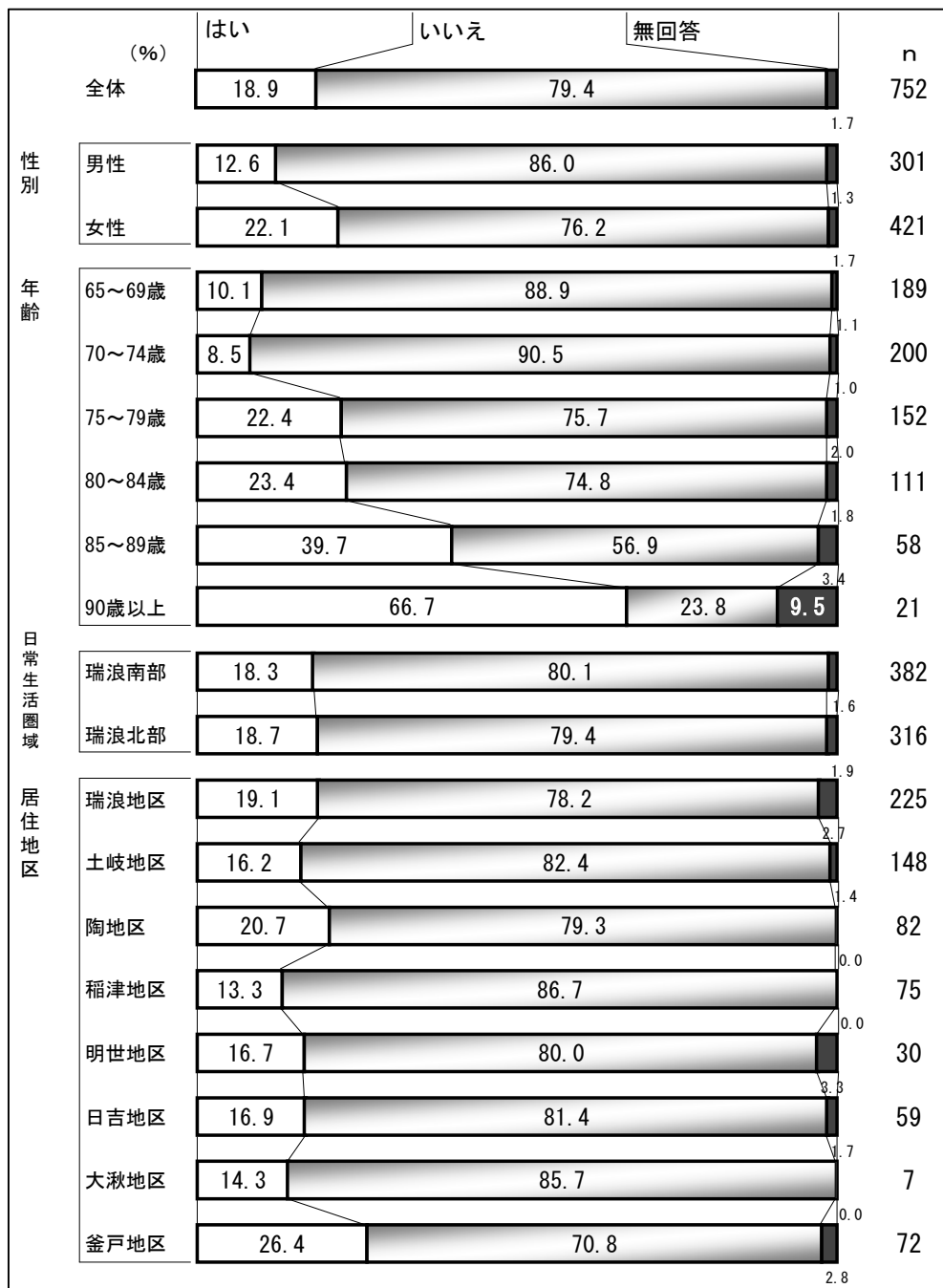
● 「いいえ」が約8割、一方、「はい」が2割弱。

外出を控えているかどうかについては、「いいえ」が79.4%、一方、「はい」が18.9%となっています。

性別でみると、「はい」の割合は、男性より女性のほうが約10ポイント上回ります。

年齢別でみると、「はい」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 外出を控えている



## (9) 外出を控えている理由

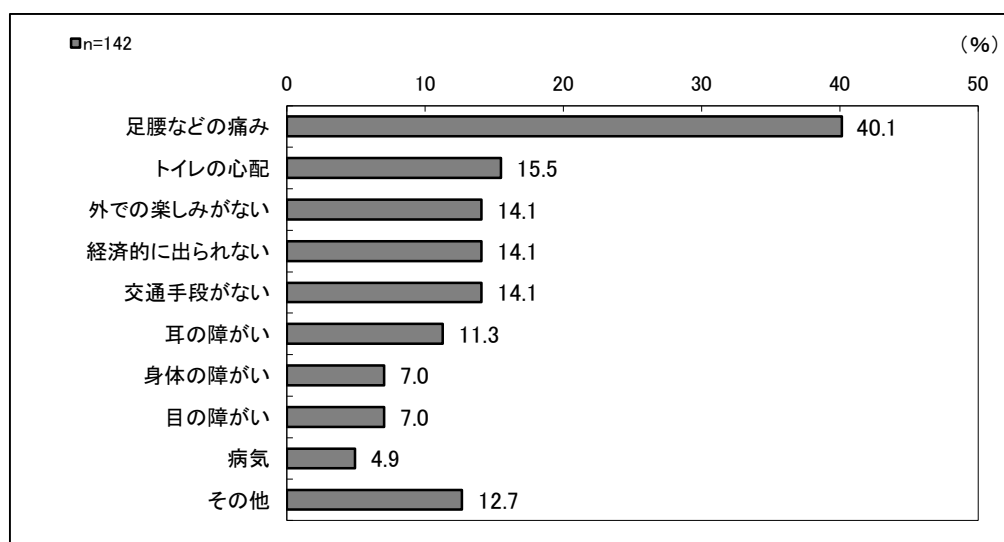
【問 14 で「1.」に○をつけた方のみ】  
問 14-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。【複数回答】

- 「足腰などの痛み」が他を引き離して第 1 位。

(8) で「1. はい」と答えた人に、外出を控えている理由についてたずねたところ、「足腰などの痛み」(40.1%)、「トイレの心配」(15.5%)、「外での楽しみがない」・「経済的に出られない」・「交通手段がない」(同率 14.1%)、「耳の障がい」(11.3%)、「身体の障がい」・「目の障がい」(7.0%)、「病気」(4.9%) の順となっています。

属性別でも、ほとんどの属性で「足腰などの痛み」が第 1 位となっていますが、年齢別の 65-69 歳、居住地区別の稲津地区では「経済的に出られない」、居住地区別の明世地区では「足腰などの痛み」・「耳の障がい」・「外での楽しみがない」(同率) が第 1 位となっており、属性別の違いもわずかながらみられます。

図表 外出を控えている理由 (全体)





図表 外出を控えている理由（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		足腰などの痛み 40.1	トイレの心配 15.5	外での楽しみがない/経済的に出られない/交通手段がない 14.1
性別	男性	足腰などの痛み 36.8	耳の障がい/外での楽しみがない 23.7	
	女性	足腰などの痛み 43.0	交通手段がない 16.1	トイレの心配/経済的に出られない 11.8
年齢	65～69歳	経済的に出られない 31.6	足腰などの痛み 26.3	外での楽しみがない 21.1
	70～74歳	足腰などの痛み 35.3	外での楽しみがない 23.5	経済的に出られない 17.6
	75～79歳	足腰などの痛み 38.2	トイレの心配/経済的に出られない 17.6	
	80～84歳	足腰などの痛み 50.0	交通手段がない 23.1	耳の障がい 19.2
	85～89歳	足腰などの痛み 47.8	交通手段がない 21.7	トイレの心配/耳の障がい/外での楽しみがない 13.0
	90歳以上	足腰などの痛み 50.0	耳の障がい 35.7	外での楽しみがない 21.4
日常生活圏域	瑞浪南部	足腰などの痛み 38.6	外での楽しみがない/経済的に出られない 17.1	
	瑞浪北部	足腰などの痛み 44.1	耳の障がい/交通手段がない 16.9	
居住地区	瑞浪地区	足腰などの痛み 46.5	トイレの心配/外での楽しみがない 20.9	
	土岐地区	足腰などの痛み 45.8	交通手段がない 25.0	耳の障がい 20.8
	陶地区	足腰などの痛み 23.5	耳の障がい/目の障がい/外での楽しみがない/経済的に出られない/交通手段がない 11.8	
	稲津地区	経済的に出られない 40.0	足腰などの痛み/交通手段がない 30.0	
	明世地区	足腰などの痛み/耳の障がい/外での楽しみがない 40.0		
	日吉地区	足腰などの痛み 50.0	トイレの心配/耳の障がい/経済的に出られない 20.0	
	大湫地区	足腰などの痛み 100.0		
	釜戸地区	足腰などの痛み 36.8	交通手段がない 21.1	外での楽しみがない/経済的に出られない 15.8

## (10) 外出する際の移動手段

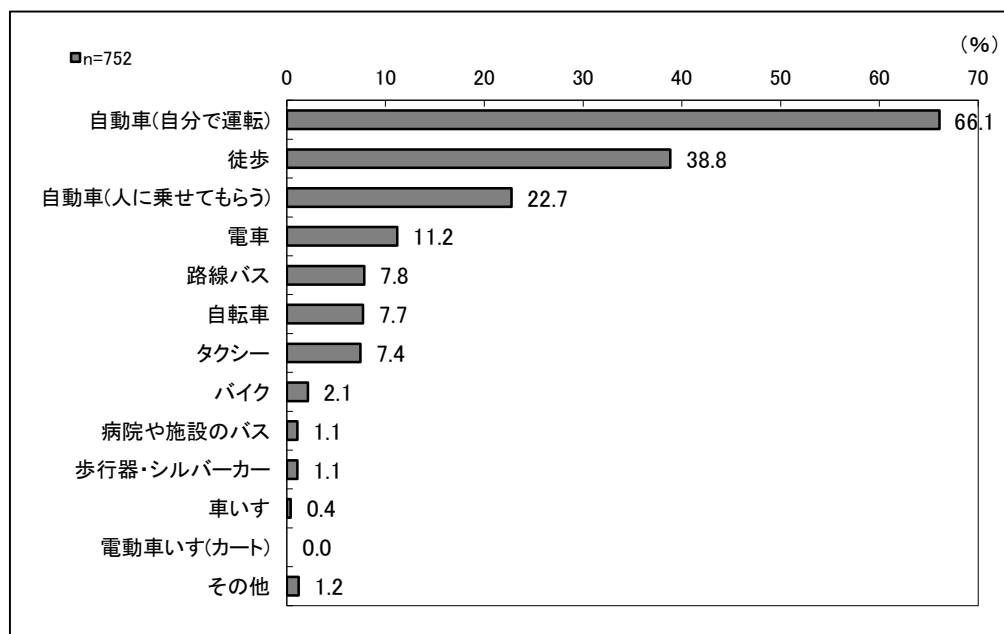
問 15 外出する際の移動手段は何ですか。【複数回答】

- 「自動車(自分で運転)」が他を引き離して第1位。

外出する際の移動手段については、「自動車(自分で運転)」(66.1%)、「徒歩」(38.8%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(22.7%)、「電車」(11.2%)、「路線バス」・「自転車」・(同率7.8%)、「タクシー」(7.4%)、「バイク」(2.1%)、「病院や施設のバス」・「歩行器・シルバーカー」(同率1.1%)、「車いす」(0.4%)の順となっています。

属性別でも、ほとんどの属性で「自動車(自分で運転)」が第1位となっていますが、年齢別の85-89歳、90歳以上の各層では「自動車(人に乗せてもらう)」が第1位となっているほか、全体では第7位である「タクシー」が上位に入っています。

図表 外出する際の移動手段（全体）



図表 外出する際の移動手段（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		自動車（自分で運転） 66.1	徒歩 38.8	自動車（人に乗せてもらう） 22.7
性別	男性	自動車（自分で運転） 88.4	徒歩 37.5	電車 10.6
	女性	自動車（自分で運転） 50.6	徒歩 39.9	自動車（人に乗せてもらう） 33.7
年齢	65～69歳	自動車（自分で運転） 86.8	徒歩 32.3	自動車（人に乗せてもらう） 13.8
	70～74歳	自動車（自分で運転） 80.0	徒歩 42.0	自動車（人に乗せてもらう） 18.5
	75～79歳	自動車（自分で運転） 65.1	徒歩 38.8	自動車（人に乗せてもらう） 25.7
	80～84歳	自動車（自分で運転） 42.3	徒歩 41.4	自動車（人に乗せてもらう） 26.1
	85～89歳	自動車（人に乗せてもらう） 48.3	徒歩 43.1	路線バス/タクシー 22.4
	90歳以上	自動車（人に乗せてもらう） 52.4	徒歩 47.6	タクシー 33.3
日常生活圏域	瑞浪南部	自動車（自分で運転） 64.9	徒歩 39.0	自動車（人に乗せてもらう） 22.5
	瑞浪北部	自動車（自分で運転） 66.1	徒歩 38.3	自動車（人に乗せてもらう） 24.4
居住地区	瑞浪地区	自動車（自分で運転） 64.9	徒歩 41.8	自動車（人に乗せてもらう） 20.9
	土岐地区	自動車（自分で運転） 62.8	徒歩 48.6	自動車（人に乗せてもらう） 23.0
	陶地区	自動車（自分で運転） 64.6	徒歩 37.8	自動車（人に乗せてもらう） 20.7
	稲津地区	自動車（自分で運転） 65.3	徒歩 32.0	自動車（人に乗せてもらう） 29.3
	明世地区	自動車（自分で運転） 73.3	徒歩 40.0	電車 20.0
	日吉地区	自動車（自分で運転） 69.5	自動車（人に乗せてもらう） 23.7	徒歩 20.3
	大湫地区	自動車（自分で運転） 85.7	徒歩/自動車（人に乗せてもらう） 14.3	
	釜戸地区	自動車（自分で運転） 65.3	徒歩 33.3	自動車（人に乗せてもらう） 31.9

### 3 食べることについて

#### (1) BMI

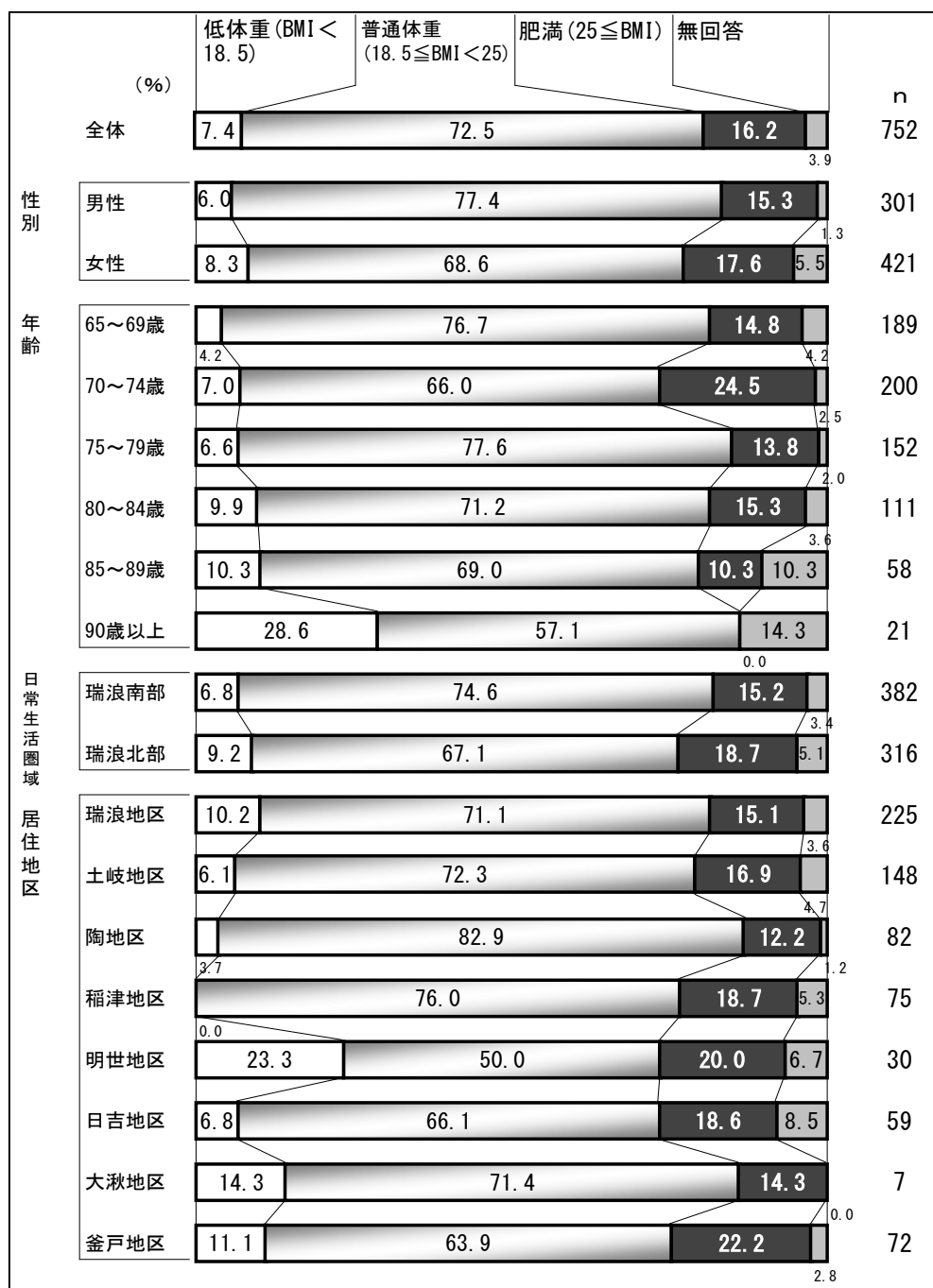
問 16 身長・体重

- 「普通体重(18.5≤BMI<25)」が7割強。

身長・体重から算出されるBMIについてみると「普通体重(18.5≤BMI<25)」が72.5%、「肥満(25≤BMI)」が16.2%、「低体重(BMI<18.5)」が7.4%となっています。

年齢別でみると、「低体重(BMI<18.5)」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 BMI



## (2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった

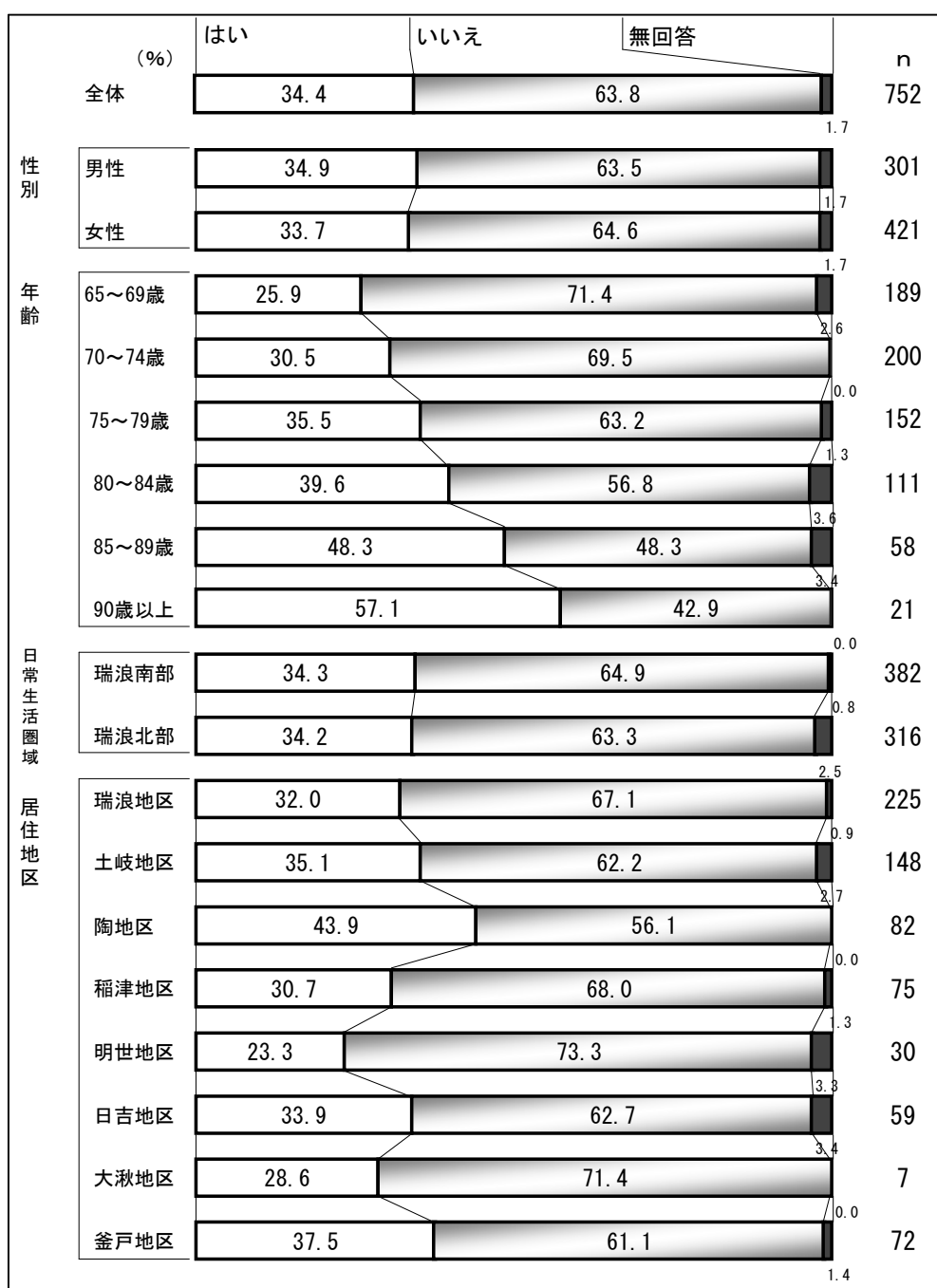
問 17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。

● 「いいえ」が6割強、一方、「はい」が3割台半ば。

半年前と比べて固いものが食べにくくなったかどうかについては、「いいえ」が63.8%、一方、「はい」が34.4%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は、年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 半年前と比べて固いものが食べにくくなった



### (3) お茶や汁物でむせることがある

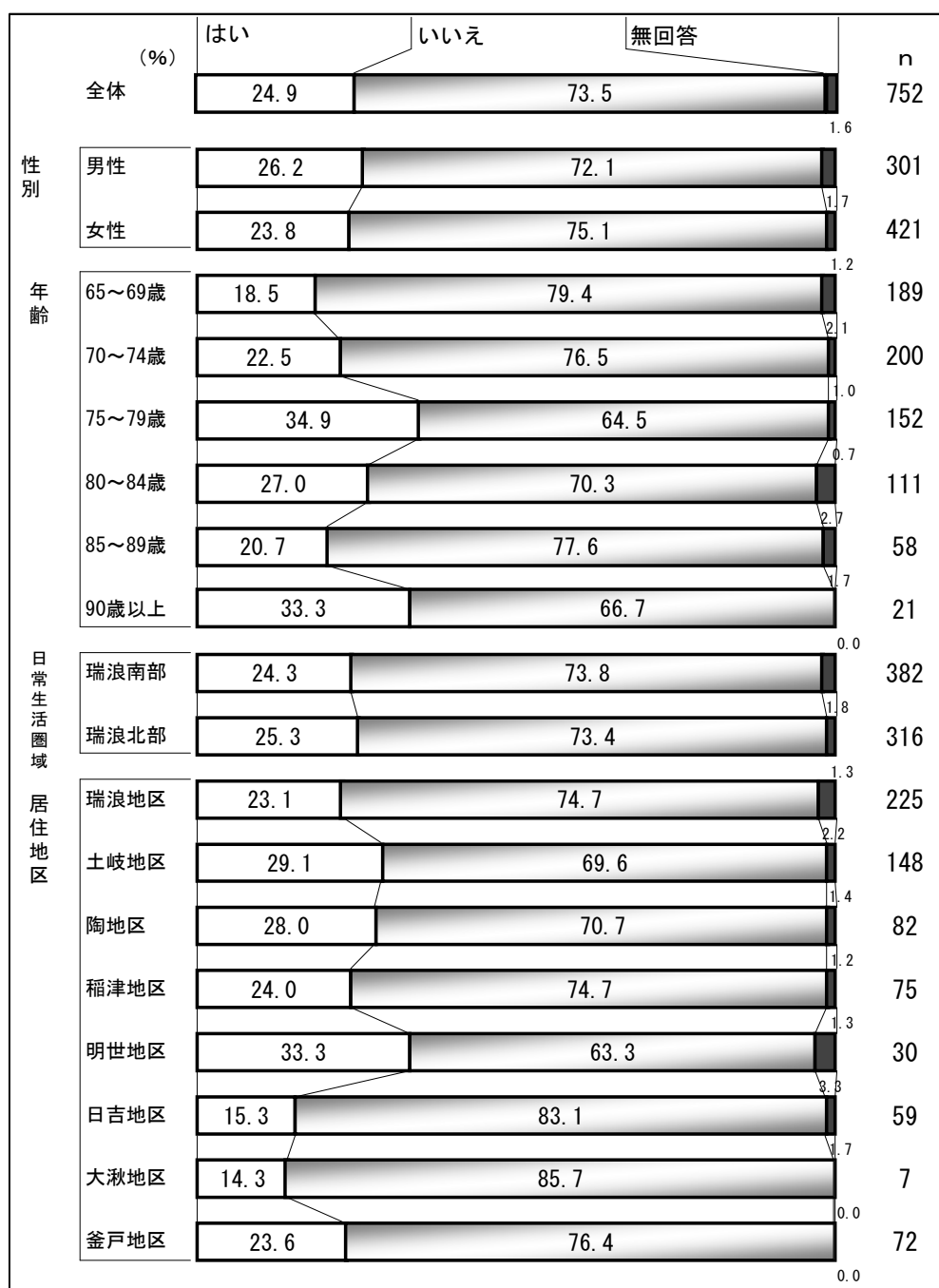
問 18 お茶や汁物等でむせることがありますか。

● 「いいえ」が7割強、一方、「はい」が2割台半ば。

お茶や汁物でむせることがあるかどうかについては、「いいえ」が73.5%一方、「はい」が24.9%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は、75-79歳、90歳以上で3割を超え、他の年齢層より高くなっています。

図表 お茶や汁物でむせることがある



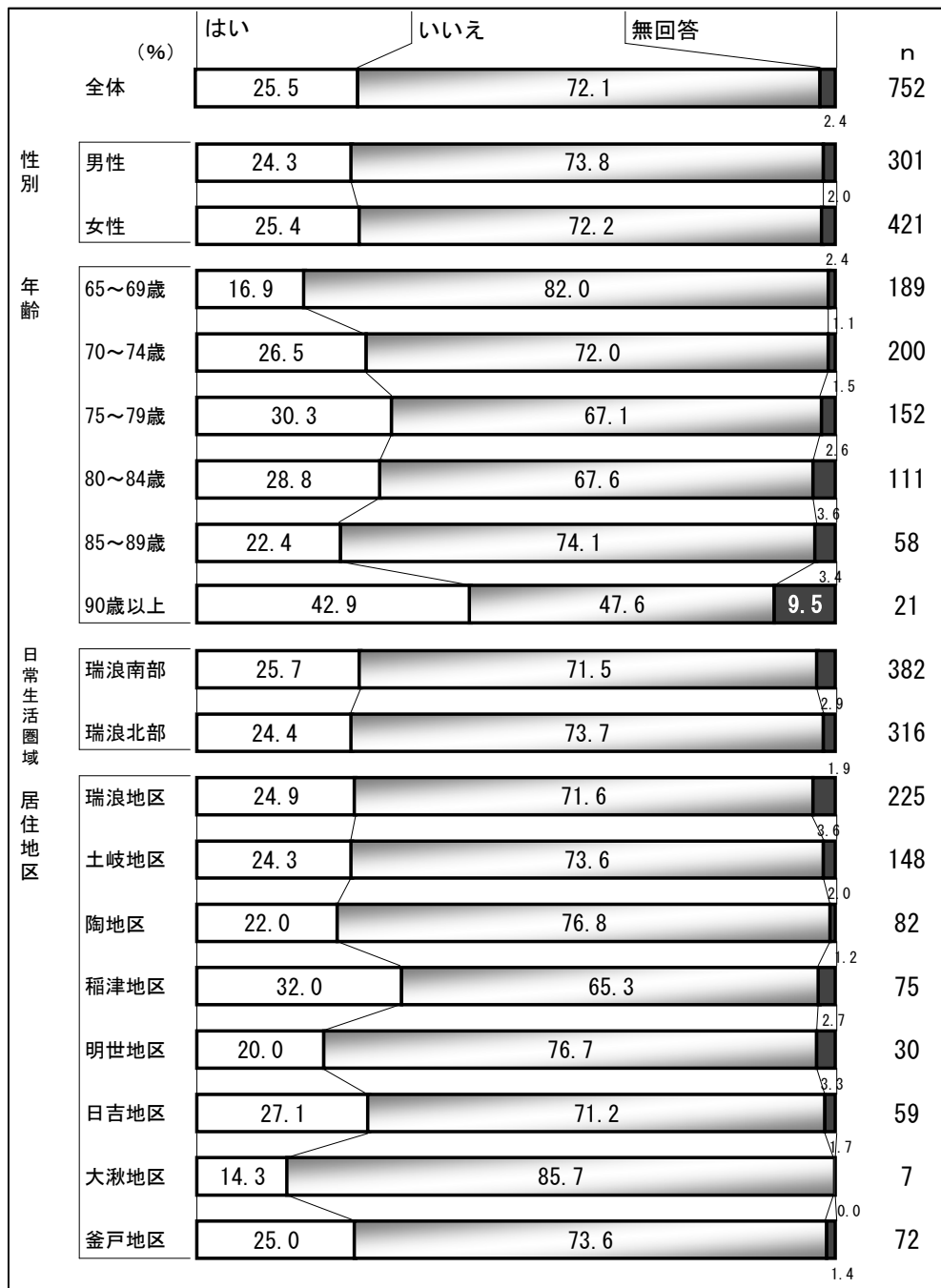
#### (4) 口の渇きが気になる

問 19 口の渇きが気になりますか。

● 「いいえ」が7割強、一方、「はい」が2割台半ば。

口の渇きが気になるかどうかについては、「いいえ」が72.1%、一方、「はい」が25.5%となっています。

図表 口の渇きが気になる



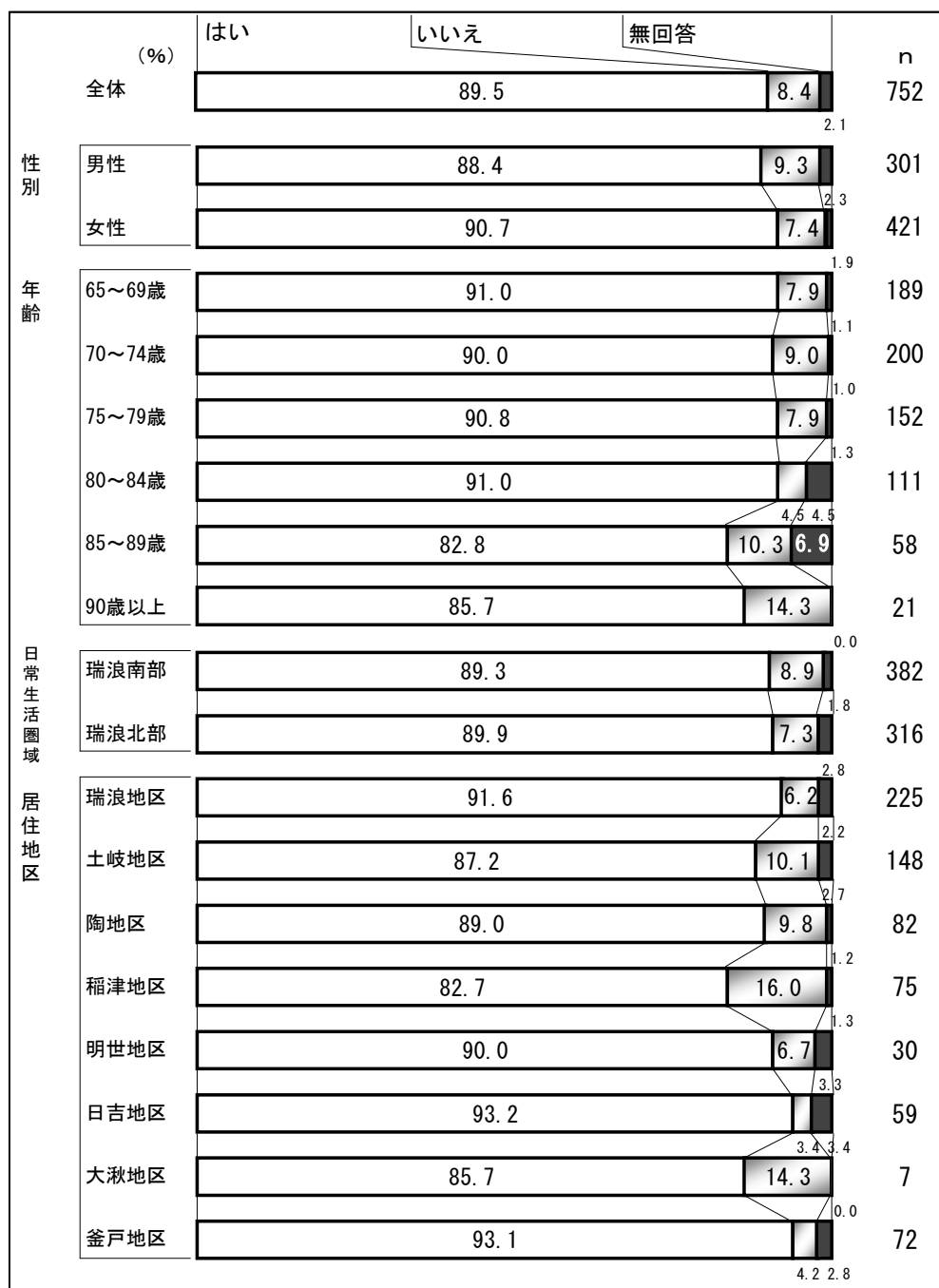
### (5) 歯磨きを毎日している

問 20 歯磨き（人にやってもら場合も含む）を毎日していますか。

● 「はい」が約9割、一方、「いいえ」が8.4%。

歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が89.5%、一方、「いいえ」が8.4%となっています。

図表 歯磨きを毎日している





## (6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問 21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)



- “自分の歯が 19 本以下” が約 5 割、一方、“自分の歯が 20 本以上” が 4 割台半ば。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 40.8%で最も多く、これに「自分の歯は 19 本以下、入れ歯はなし」(8.2%)を合わせた“自分の歯が 19 本以下”は 49.0%、一方、“自分の歯が 20 本以上”(「自分の歯は 20 本以上、入れ歯はなし」(27.5%)と「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(18.2%)の合計は 45.7%となっています。

年齢別でみると、“自分の歯が 19 本以下”の割合は、75-79 歳の層から大きく上昇する傾向がみられます。

図表 歯の数と入れ歯の利用状況

	(% )					n
	自分の歯は 20本以上、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 20本以上、 入れ歯は なし	自分の歯は 19本以下、 かつ入れ歯 を利用	自分の歯は 19本以下、 入れ歯は なし	無回答	
全体	18.2	27.5	40.8	8.2	5.2	752
性別	男性	16.9	33.2	35.5	9.6	301
	女性	19.7	23.5	44.2	6.9	421
年齢	65～69歳	18.0	39.2	30.2	9.5	189
	70～74歳	23.5	30.0	31.5	10.5	200
	75～79歳	14.5	29.6	46.1	5.3	152
	80～84歳	15.3	12.6	55.0	8.1	111
	85～89歳	15.5	12.1	58.6	6.9	58
	90歳以上	14.3	66.7	9.5	9.5	21
日常生活圏域	瑞浪南部	18.6	29.3	37.4	9.4	382
	瑞浪北部	19.0	25.0	43.0	7.3	316
居住地	瑞浪地区	16.0	33.3	34.7	8.9	225
	土岐地区	22.3	23.6	41.2	7.4	148
	陶地区	30.5	19.5	42.7	4.9	82
	稲津地区	13.3	28.0	40.0	16.0	75
	明世地区	10.0	50.0	26.7	10.0	30
	日吉地区	11.9	20.3	54.2	8.5	59
	大湫地区	28.6	28.6	42.9	0.0	7
	釜戸地区	20.8	20.8	44.4	8.3	72

(7) 噛み合わせは良い

問 21-1 噛み合わせは良いですか。

● 「はい」が8割弱、一方、「いいえ」が2割弱。

噛み合わせが良いかどうかについては、「はい」が78.9%、一方、「いいえ」が16.5%となっています。

図表 噛み合わせは良い

	(%)	はい	いいえ	無回答	n
全体		78.9	16.5	4.7	752
性別	男性	76.7	17.6	5.6	301
	女性	79.8	16.2	4.0	421
年齢	65～69歳	80.4	15.9	3.7	189
	70～74歳	78.0	18.5	3.5	200
	75～79歳	77.6	15.8	6.6	152
	80～84歳	79.3	16.2	4.5	111
	85～89歳	74.1	17.2	8.6	58
	90歳以上	81.0	14.3	4.8	21
日常生活圏域	瑞浪南部	78.5	16.5	5.0	382
	瑞浪北部	78.8	16.5	4.7	316
居住地区	瑞浪地区	79.6	15.1	5.3	225
	土岐地区	79.1	15.5	5.4	148
	陶地区	78.0	18.3	3.7	82
	稲津地区	76.0	18.7	5.3	75
	明世地区	80.0	13.3	6.7	30
	日吉地区	78.0	18.6	3.4	59
	大湫地区	71.4	14.3	14.3	7
	釜戸地区	79.2	18.1	2.8	72

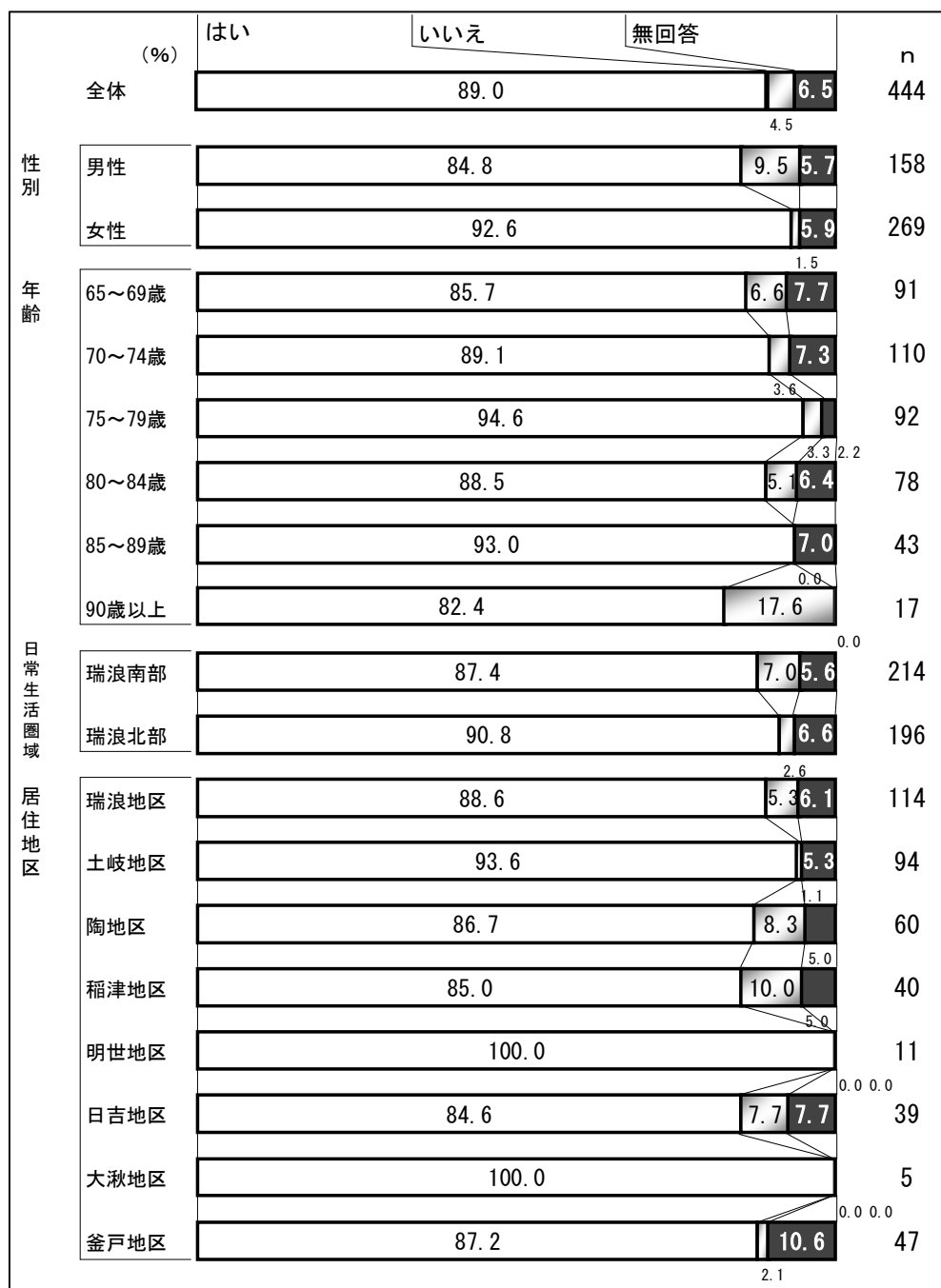
## (8) 毎日入れ歯の手入れをしている

【問 21 で「1.」または「3.」に○をつけた方のみ】  
問 21-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。

- 「はい」が約9割、一方、「いいえ」が4.5%。

入れ歯を利用している人に、毎日入れ歯の手入れをしているかどうかたずねたところ、「はい」が89.0%、一方、「いいえ」が4.5%となっています。

図表 毎日入れ歯の手入れをしている



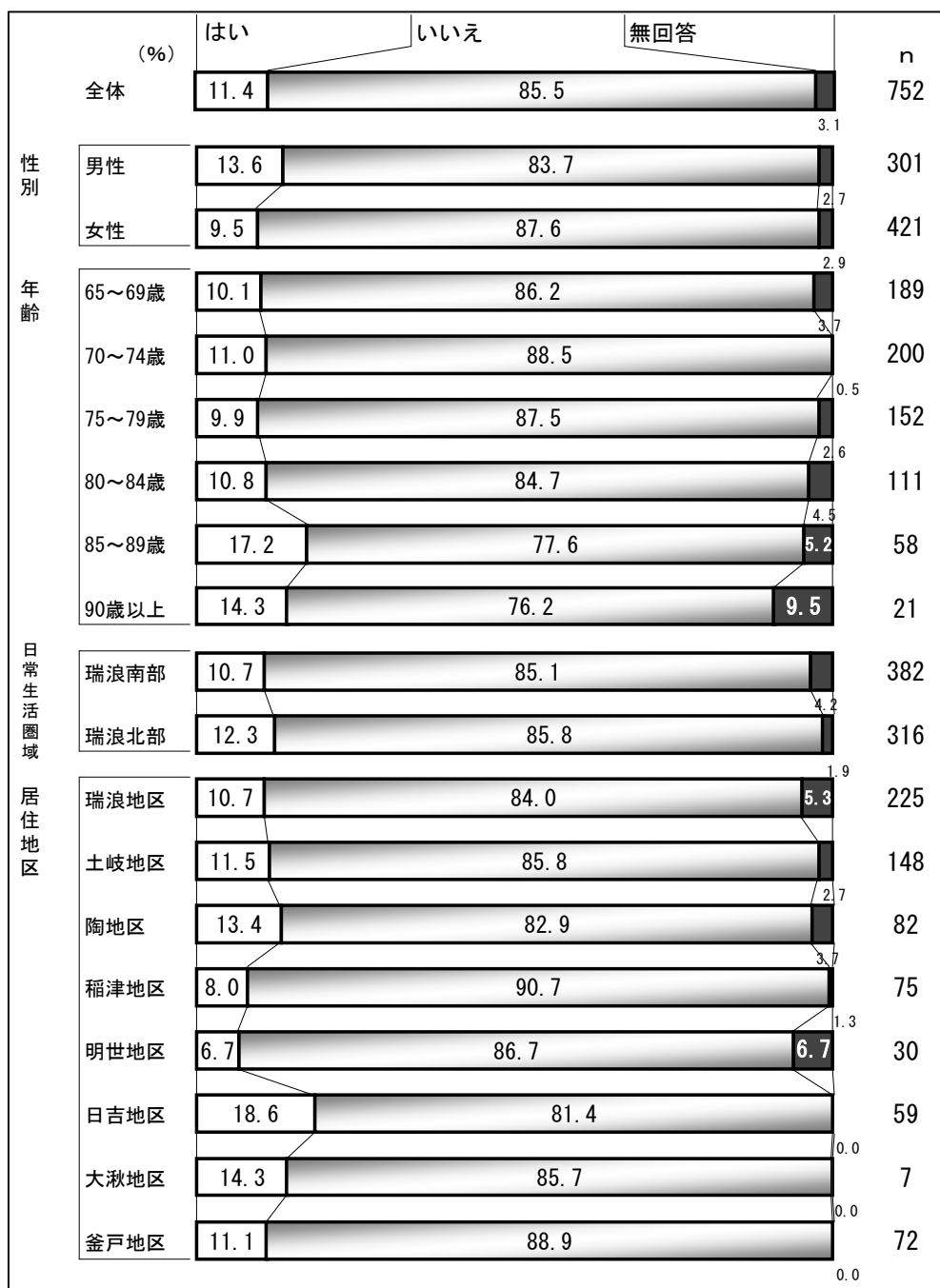
(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があった

問 22 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

● 「いいえ」が8割台半ば、一方、「はい」が1割強。

6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかどうかについては、「いいえ」が85.5%、一方、「はい」が11.4%となっています。

図表 6か月間で2～3kg以上の体重減少があった



## (10) 誰かと食事をとる機会

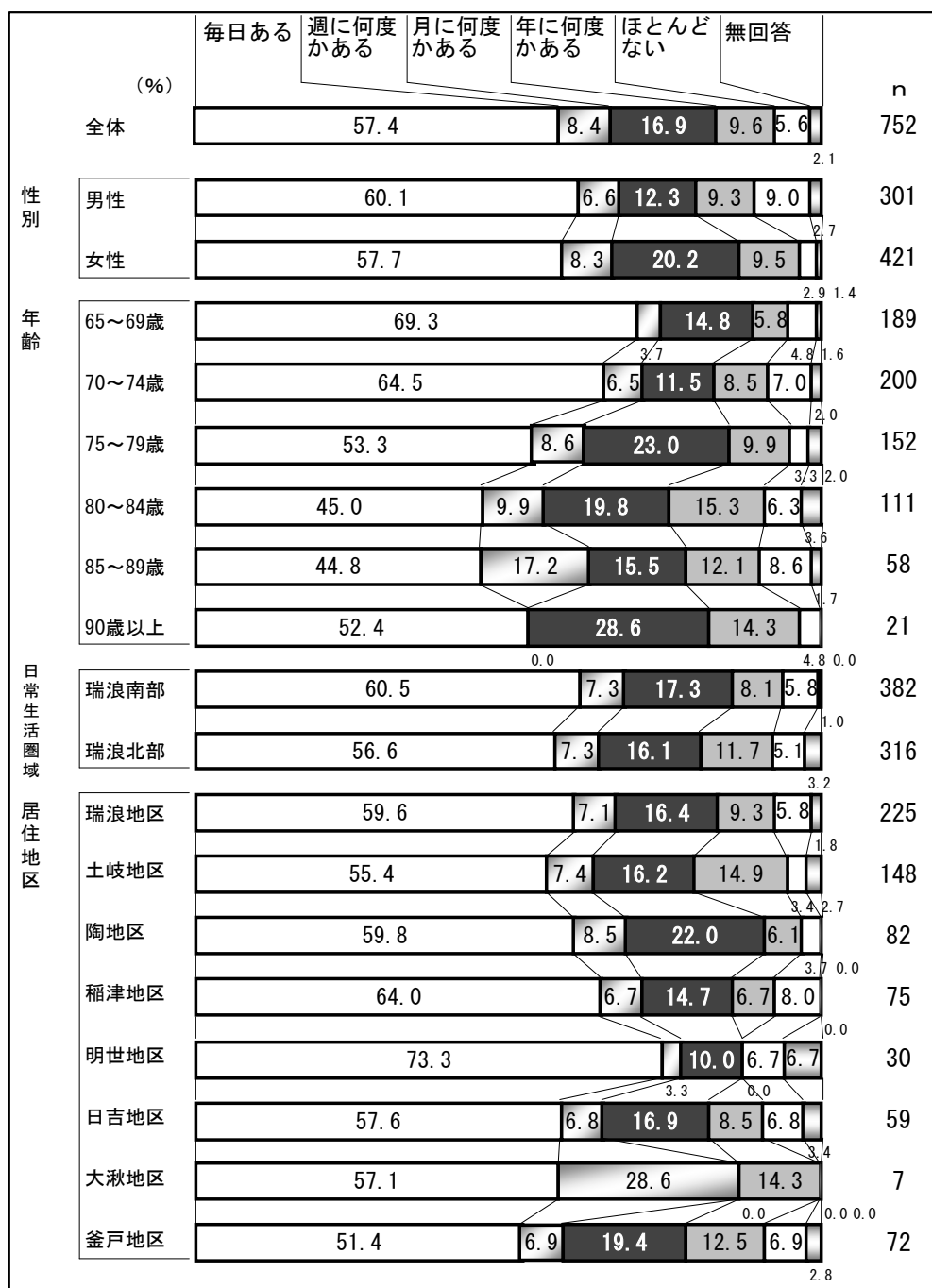
問 23 どなたかと食事をとる機会がありますか。

● 「毎日ある」が6割弱。

誰かと食事をとる機会については「毎日ある」が57.4%、「月に何度かある」が16.9%、「年に何度かある」が9.6%、「週に何度かある」が8.4%、「ほとんどない」が5.6%となっています。

年齢別でみると、「毎日ある」の割合は、概ね年齢層が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 誰かと食事をとる機会



## 4 毎日の生活について

### (1) 物忘れが多いと感じる

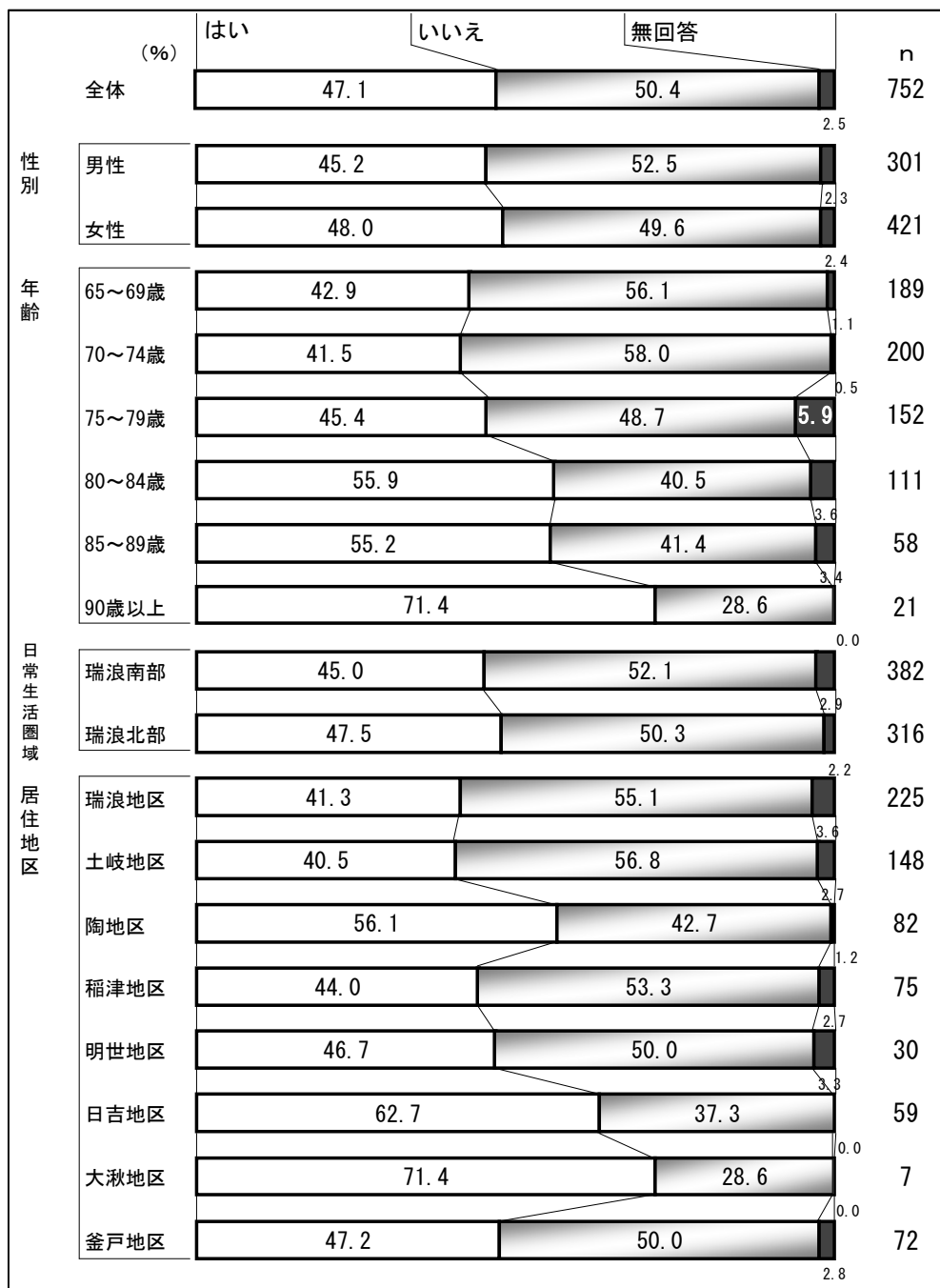
問 24 物忘れが多いと感じますか。

● 「いいえ」が約5割、一方、「はい」が5割弱。

物忘れが多いと感じるかについては、「いいえ」が50.4%、一方、「はい」が47.1%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は、80-84歳から5割を超えます。

図表 物忘れが多いと感じる



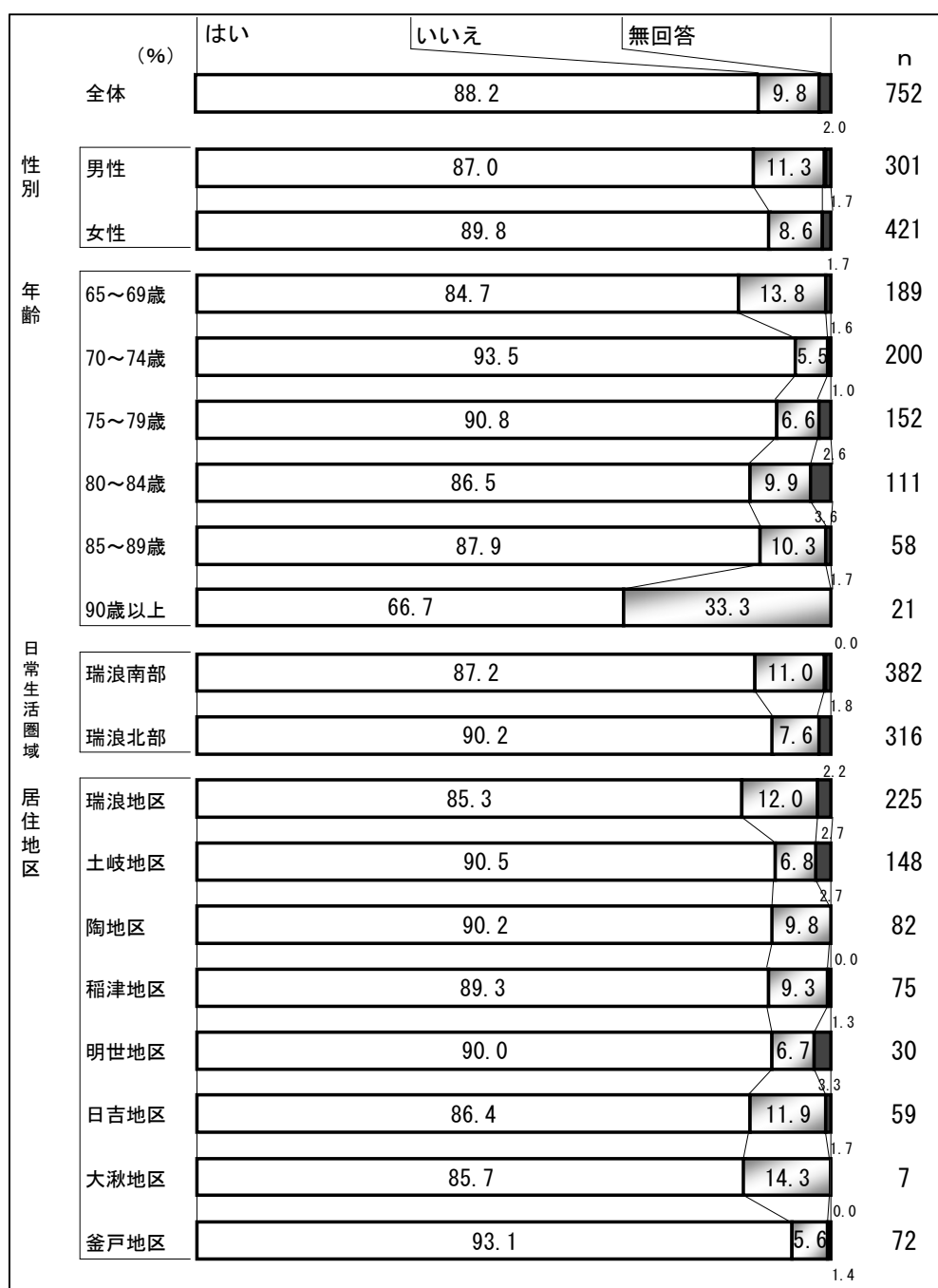
## (2) 自分で電話番号を調べて電話をかける

問 25 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。

● 「はい」が9割弱、一方、「いいえ」が約1割。

自分で番号を調べて電話をかけるかどうかについては、「はい」が88.2%、一方、「いいえ」が9.8%となっています。

図表 自分で電話番号を調べて電話をかける





### (3) 今日が何月何日かわからない時がある

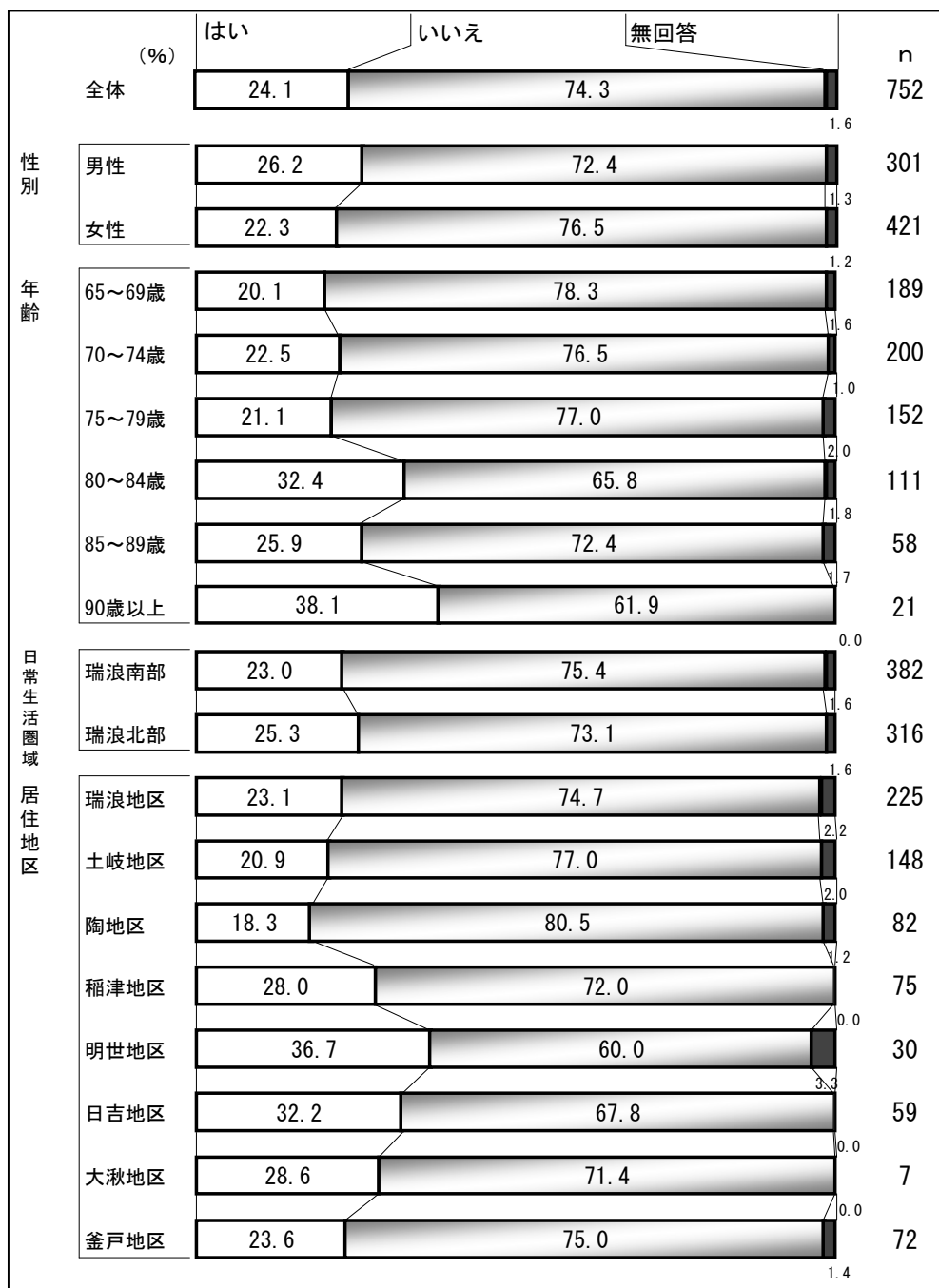
問 26 今日が何月何日かわからない時がありますか。

● 「いいえ」が7割台半ば、一方、「はい」が2割台半ば。

今日が何月何日かわからない時があるかどうかについては、「いいえ」が74.3%、一方、「はい」が24.1%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は、80～84歳、90歳以上で3割を超えています。

図表 今日が何月何日かわからない時がある



#### (4) バスや電車を使って1人で外出している

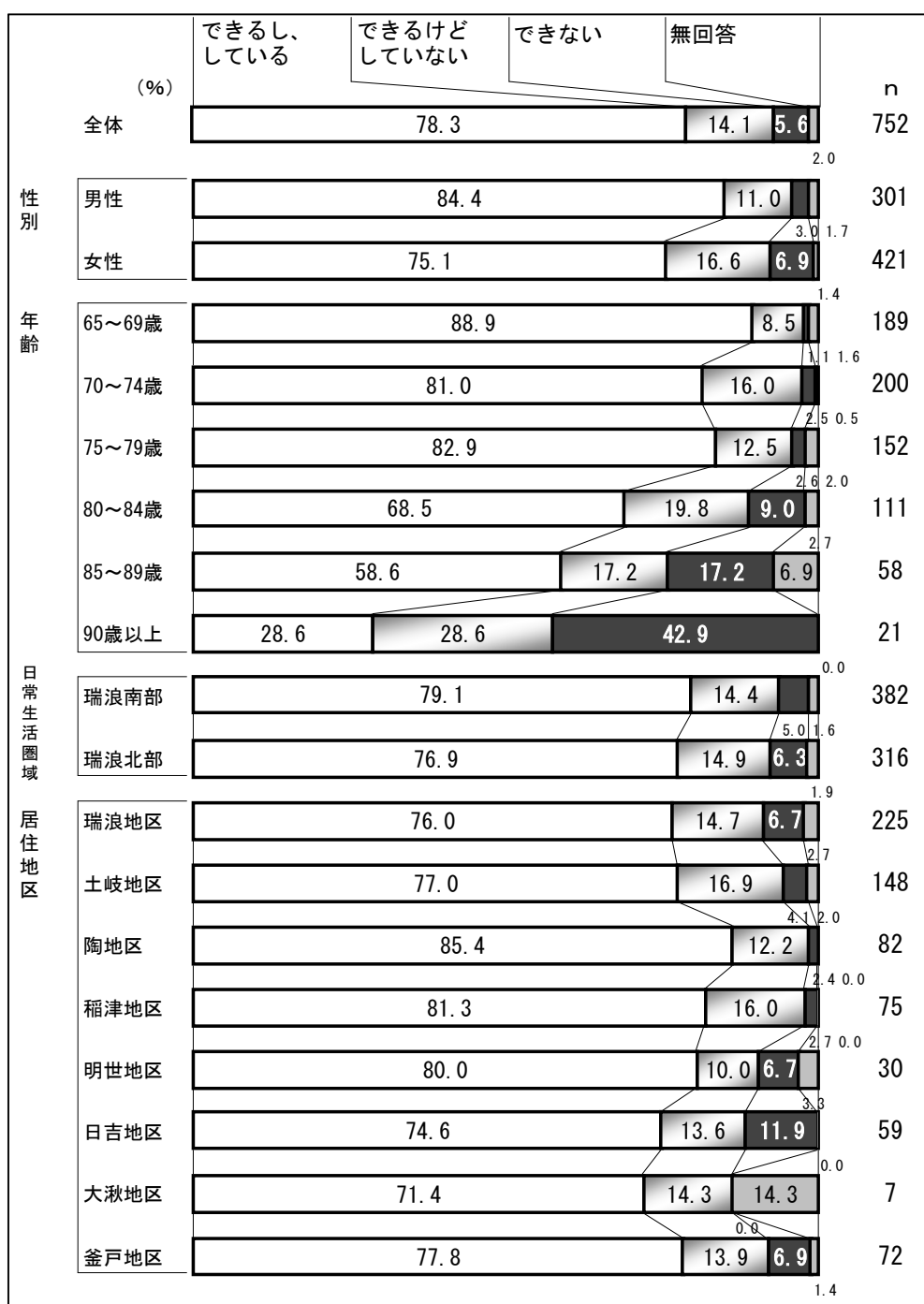
問 27 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

● 「できるし、している」が8割弱。

バスや電車を使って1人で外出しているかどうかについては、「できるし、している」が78.3%、「できるけどしていない」が14.1%、「できない」が5.6%となっています。

年齢別でみると、「できない」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 バスや電車を使って1人で外出している



## (5) 自分で食品・日用品の買物をしている

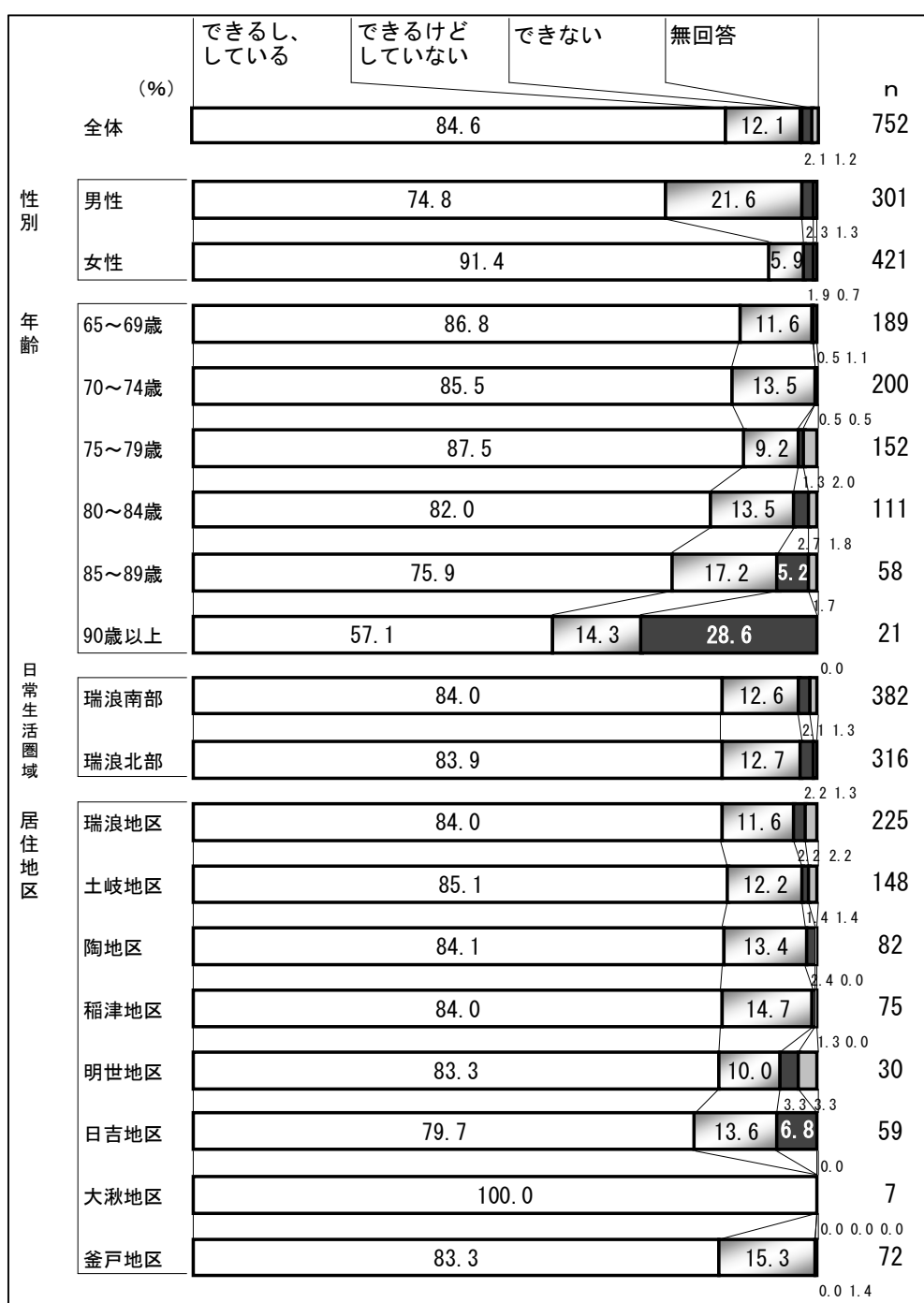
問 28 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

● 「できるし、している」が8割台半ば。

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が84.6%、「できるけどしていない」が12.1%、「できない」が2.1%となっています。

年齢別でみると、「できない」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 自分で食品・日用品の買物をしている



## (6) 自分で食事の用意をしている

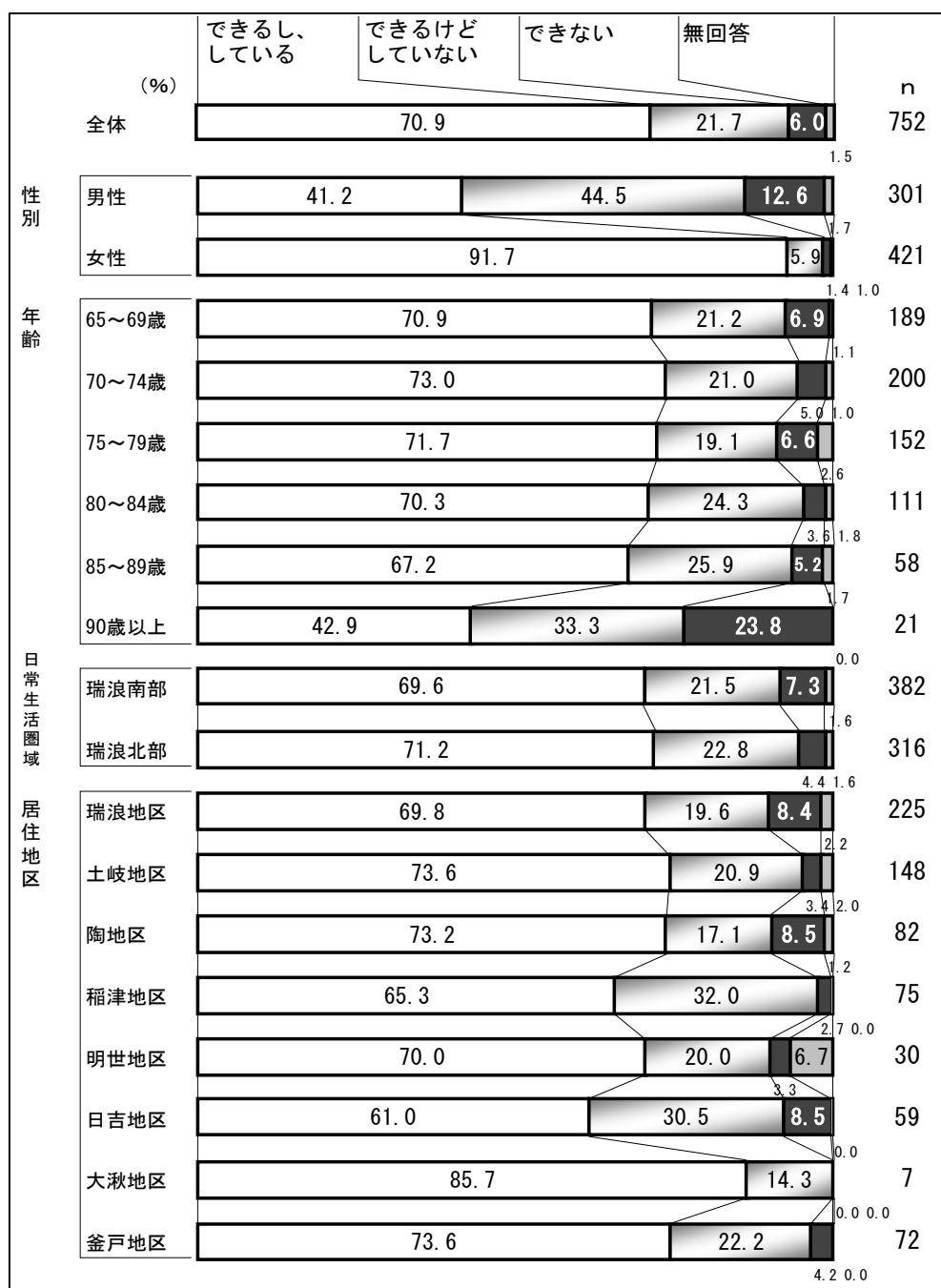
問 29 自分で食事の用意をしていますか。

● 「できるし、している」が約7割。

自分で食事の用意をしているかどうかについては、「できるし、している」が70.9%、「できるけどしていない」が21.7%、「できない」が6.0%となっています。

性別で見ると、女性では「できるし、している」の割合が91.7%と大多数を占めている一方、男性では4割強にとどまり、「できない」(12.6%)の割合が1割強を占めています。

図表 自分で食事の用意をしている



## (7) 自分で請求書の支払いをしている

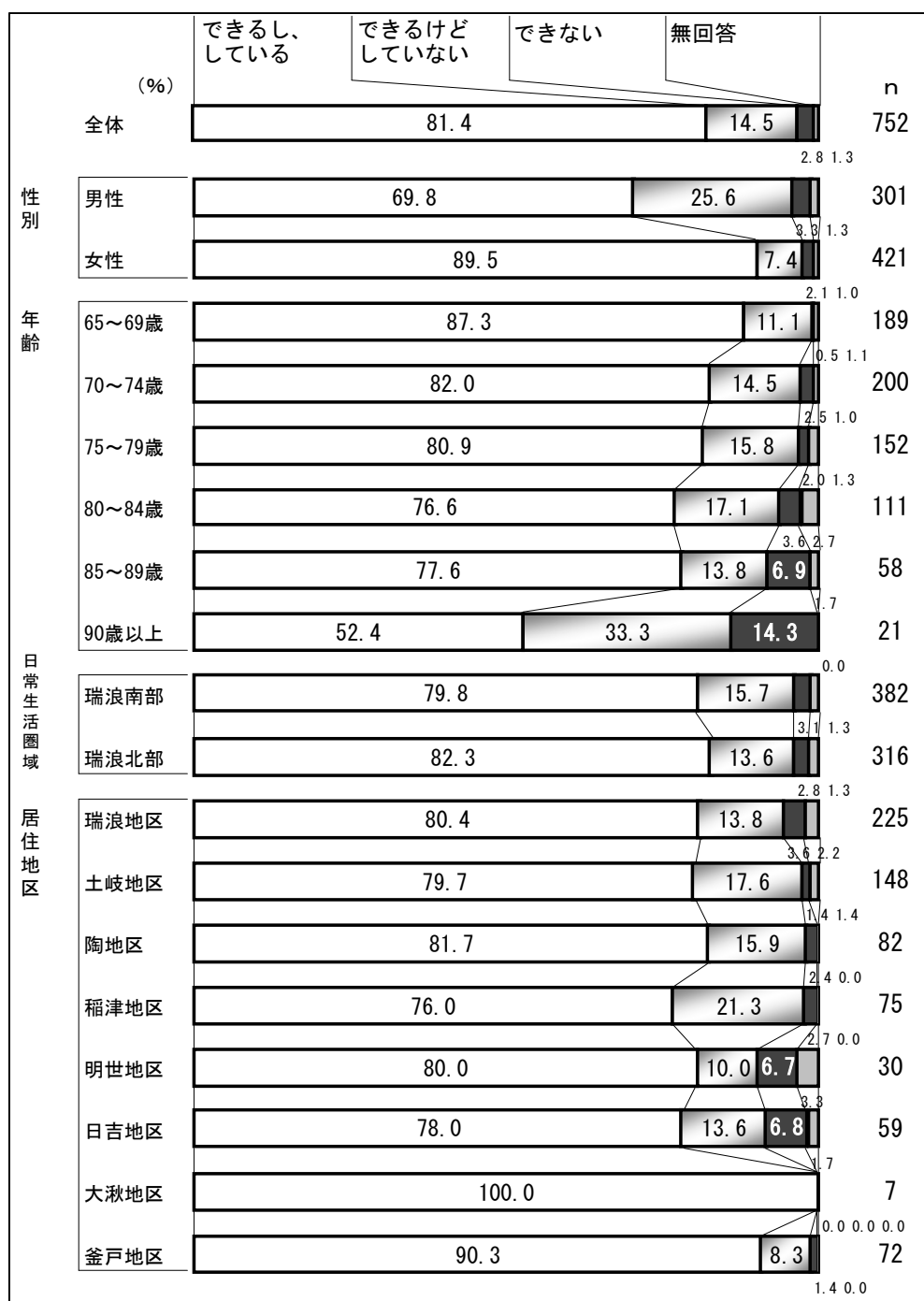
問 30 自分で請求書の支払いをしていますか。

● 「できるし、している」が8割強。

自分で請求書の支払いをしているかどうかについては、「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が14.5%、「できない」が2.8%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」の割合は、女性に比べ男性のほう約18ポイント上回っています。

図表 自分で請求書の支払いをしている



## (8) 自分で預貯金の出し入れをしている

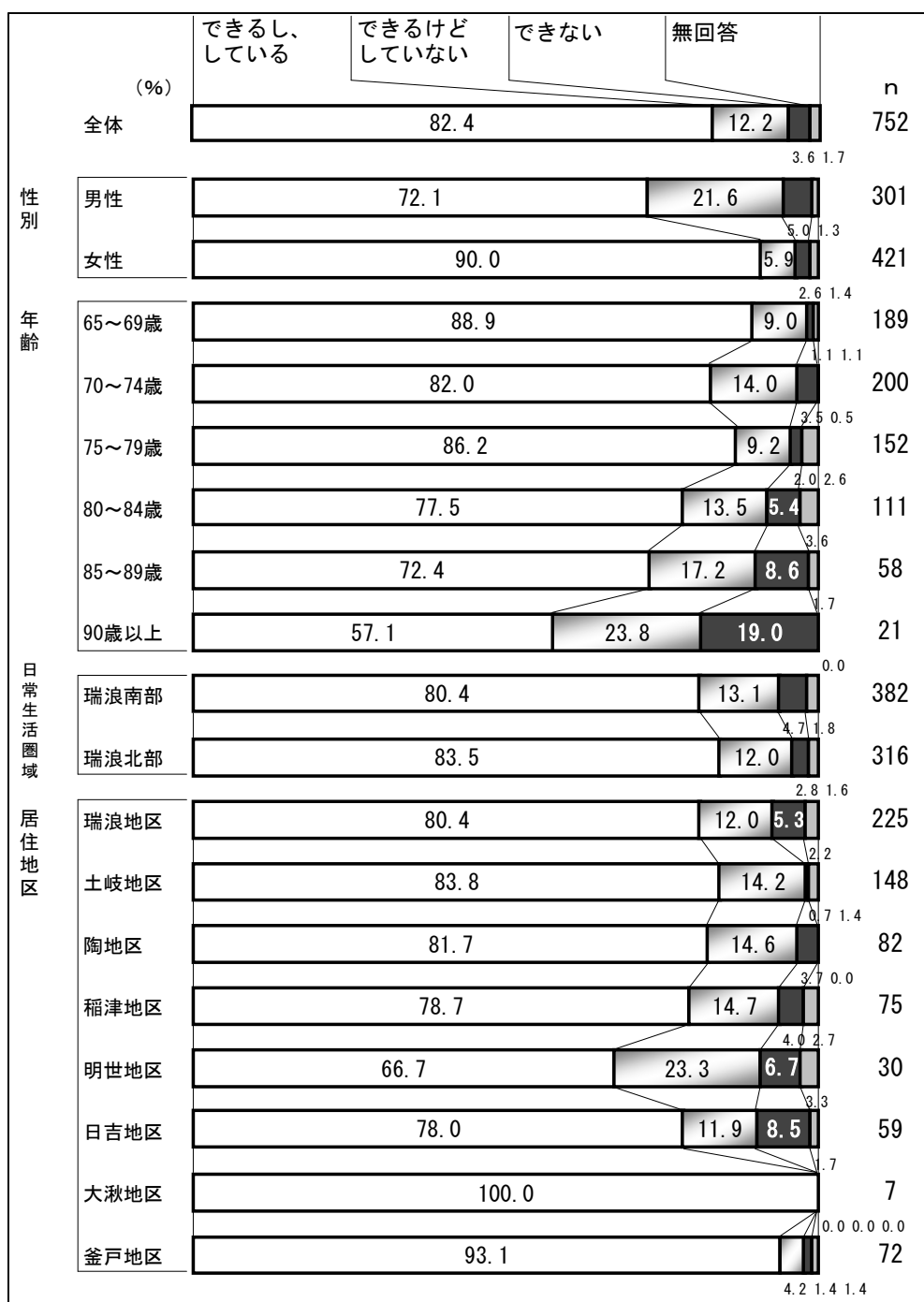
問 31 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

● 「できるし、している」が8割強。

自分で預貯金の出し入れをしているかどうかについては、「できるし、している」が82.4%、「できるけどしていない」が12.2%、「できない」が3.6%となっています。

性別でみると、「できるけどしていない」は女性に比べ男性のほうが約16ポイント上回っています。

図表 自分で預貯金の出し入れをしている



### (9) 年金などの書類が書ける

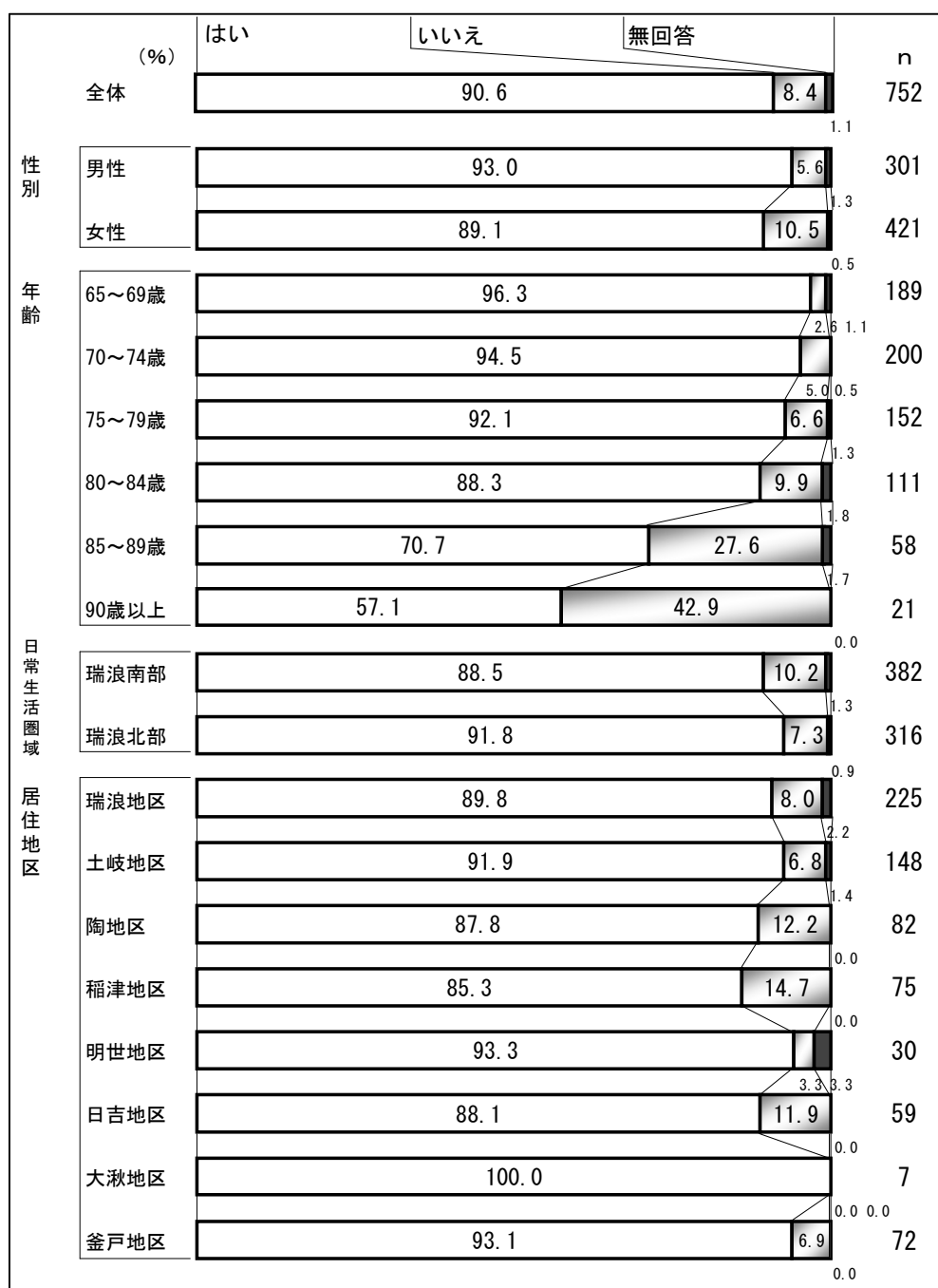
問 32 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。

● 「はい」が約9割、一方、「いいえ」が8.4%。

年金などの書類が書けるかどうかについては、「はい」が90.6%、一方、「いいえ」が8.4%となっています。

年齢別でみると、「いいえ」の割合は、年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 年金などの書類が書ける



## (10) 新聞を読んでいる

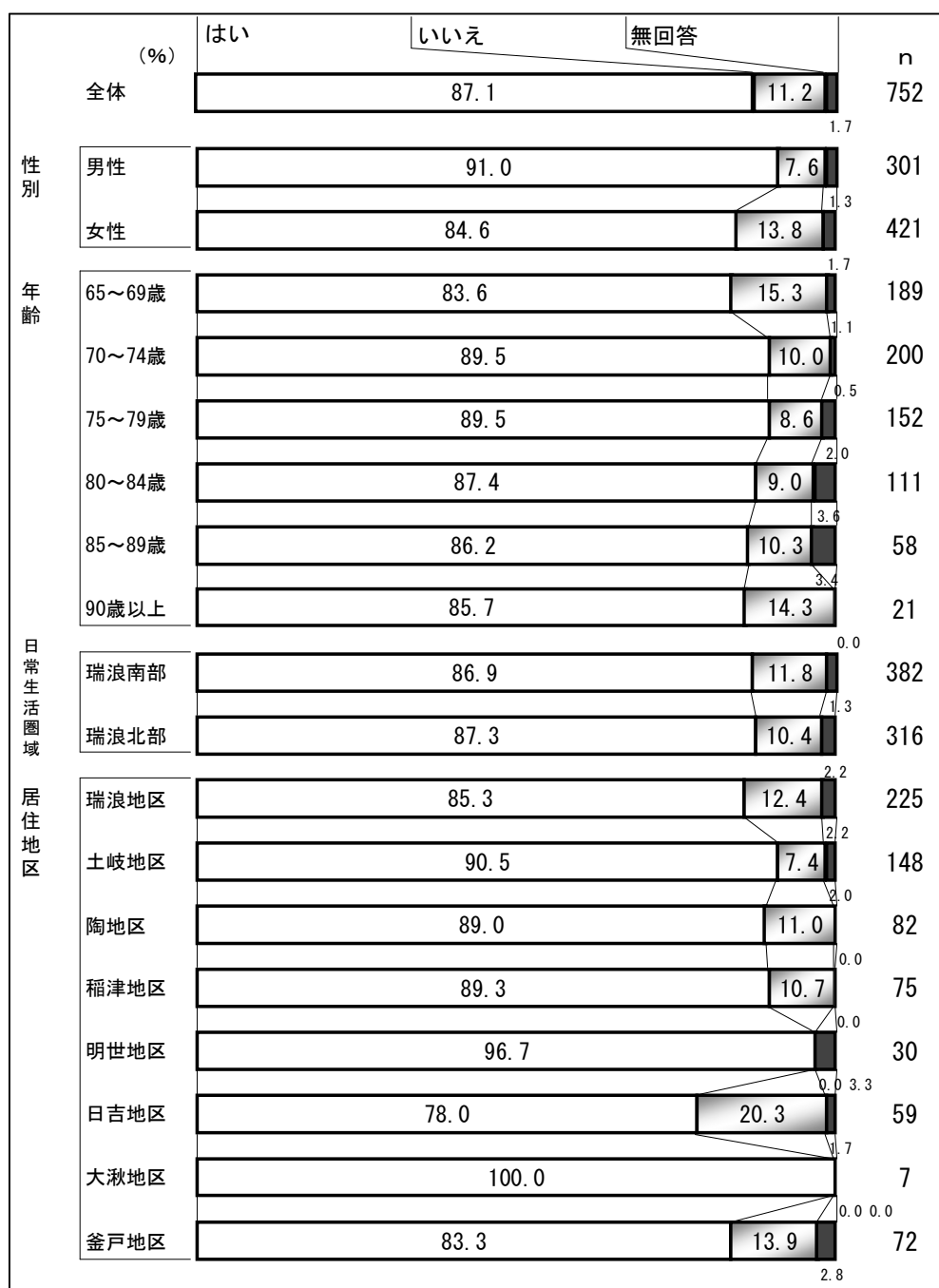
問 33 新聞を読んでいますか。

● 「はい」が9割弱、一方、「いいえ」が1割強。

新聞を読んでいるかどうかについては、「はい」が87.1%、一方、「いいえ」が11.2%となっています。

居住地区別で見ると、「いいえ」の割合は「日吉地区」で約2割にのぼり、他の地域より高くなっています。

図表 新聞を読んでいる





## (11) 本や雑誌を読んでいる

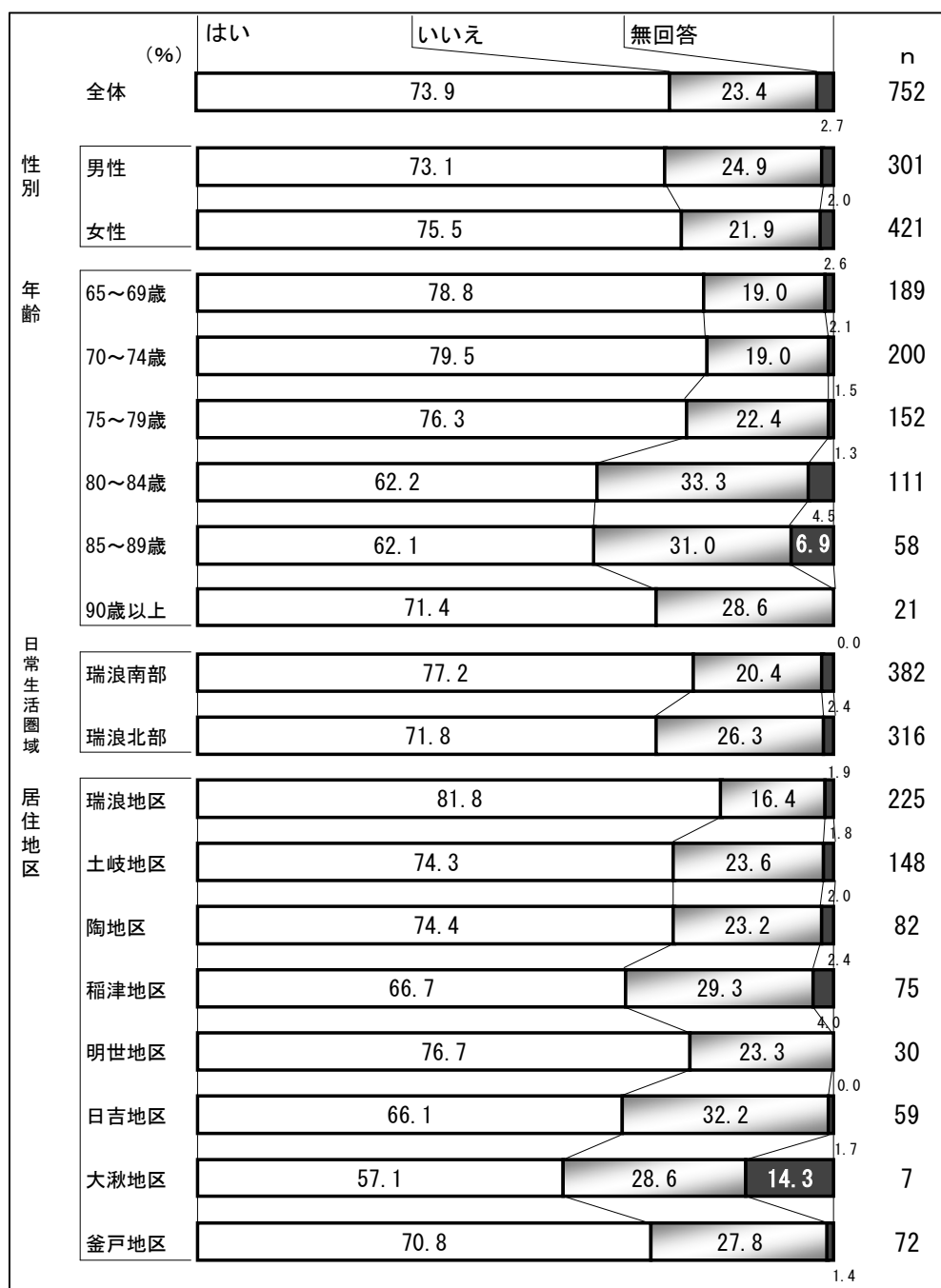
問 34 本や雑誌を読んでいますか。

● 「はい」が7割強、一方、「いいえ」が2割強。

本や雑誌を読んでいるかどうかについては、「はい」が73.9%、一方、「いいえ」が23.4%となっています。

年齢別でみると、「いいえ」の割合は、80-84歳、85-89歳では3割を超えています。

図表 本や雑誌を読んでいる



## (12) 健康についての記事や番組に関心がある

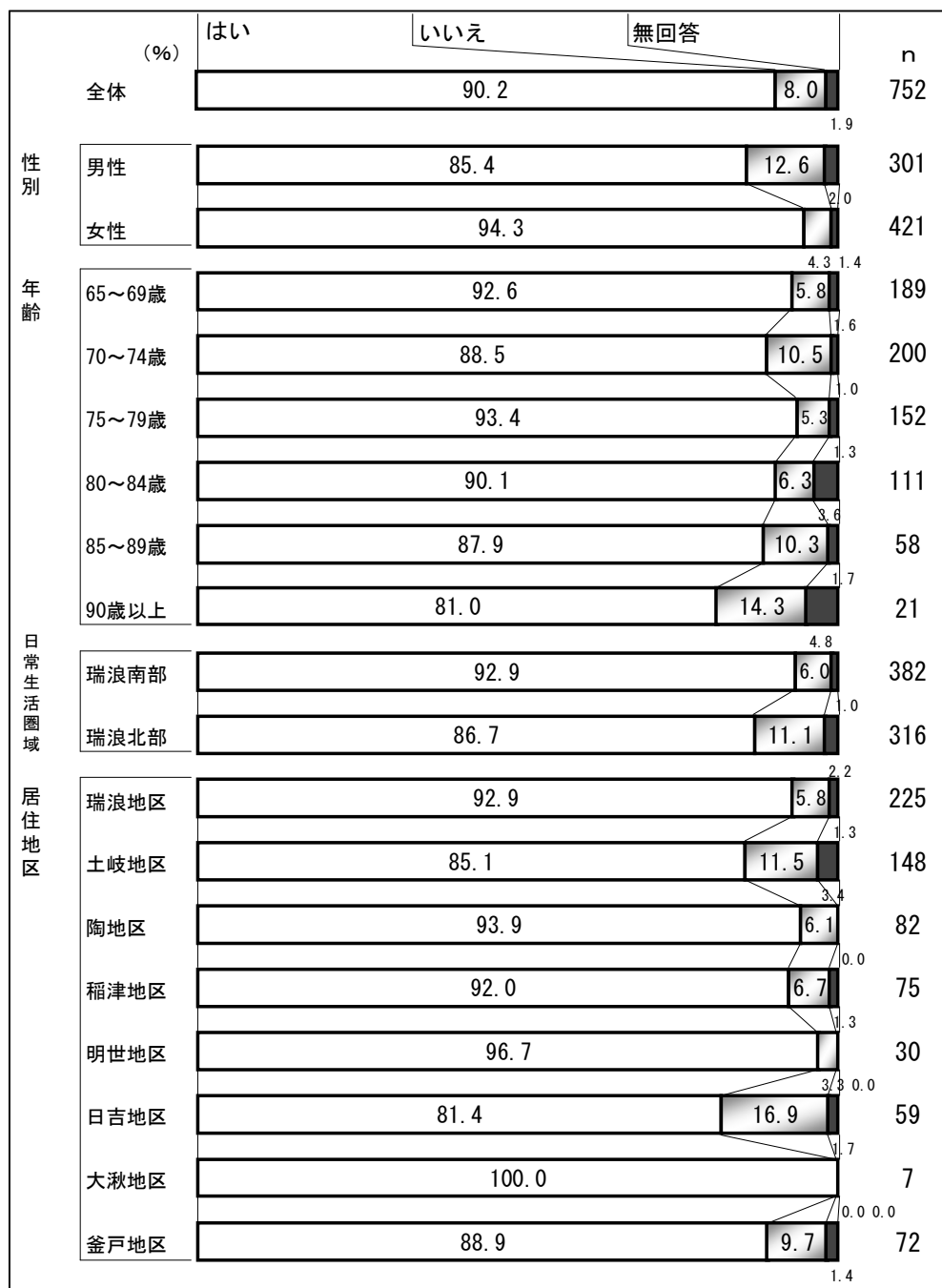
問 35 健康についての記事や番組に関心がありますか。

● 「はい」が約9割、一方、「いいえ」が8.0%。

健康についての記事や番組に関心があるかどうかについては、「はい」が90.2%、一方、「いいえ」が8.0%となっています。

性別でみると、「はい」の割合は、男性に比べ女性のほうが約9ポイント上回っています。

図表 健康についての記事や番組に関心がある



### (13) 友人の家を訪ねている

問 36 友人の家を訪ねていますか。

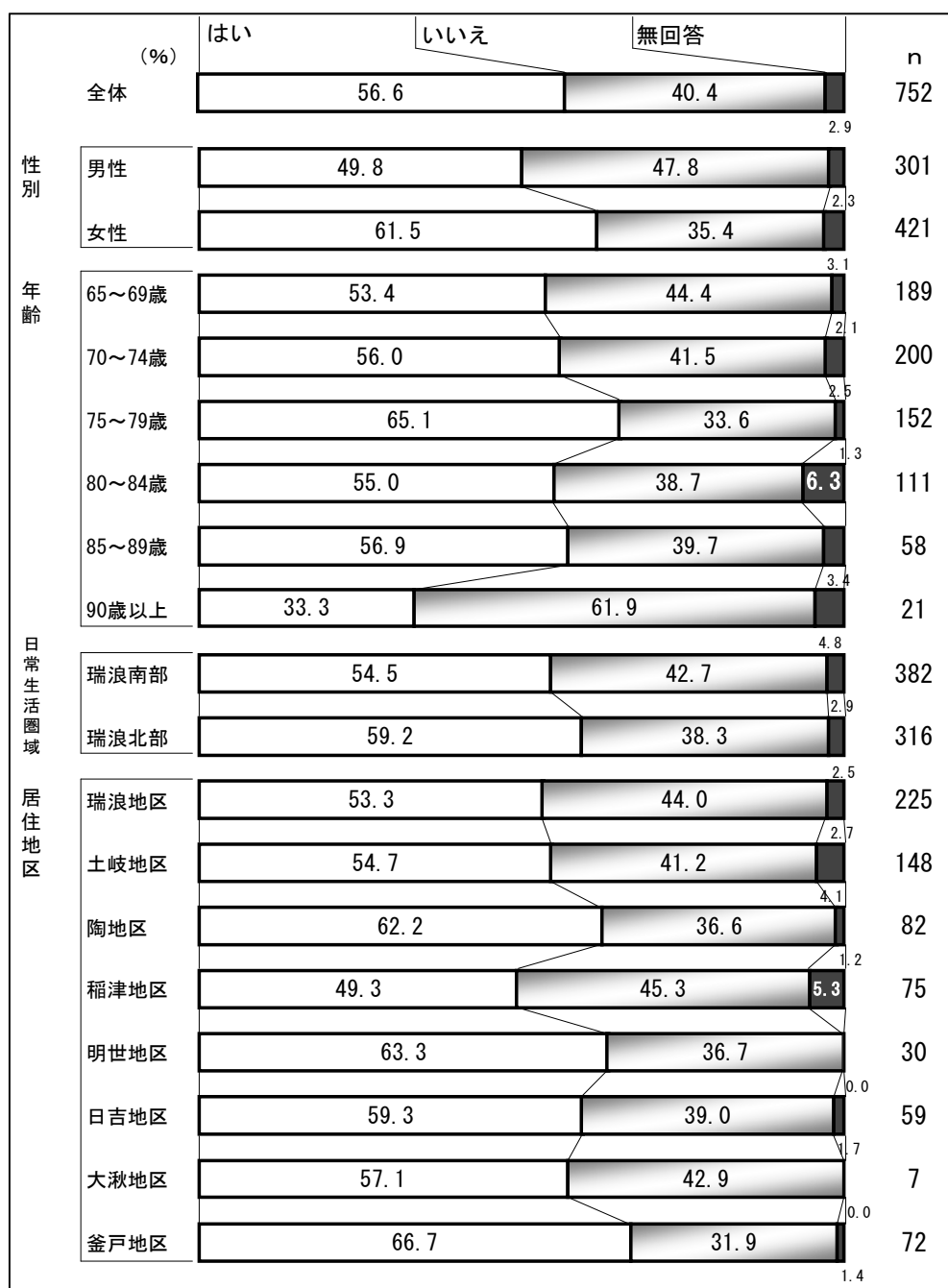
● 「はい」が6割弱、一方、「いいえ」が約4割。

友人の家を訪ねているかどうかについては、「はい」が56.6%、一方、「いいえ」が40.4%となっています。

性別でみると、「はい」の割合は、男性に比べ女性のほうが約12ポイント上回っています。

居住地区別でみると、「はい」の割合は、「稲津地区」では約5割にとどまり、他の地域より低くなっています。

図表 友人の家を訪ねている



## (14) 家族や友人の相談にのっている

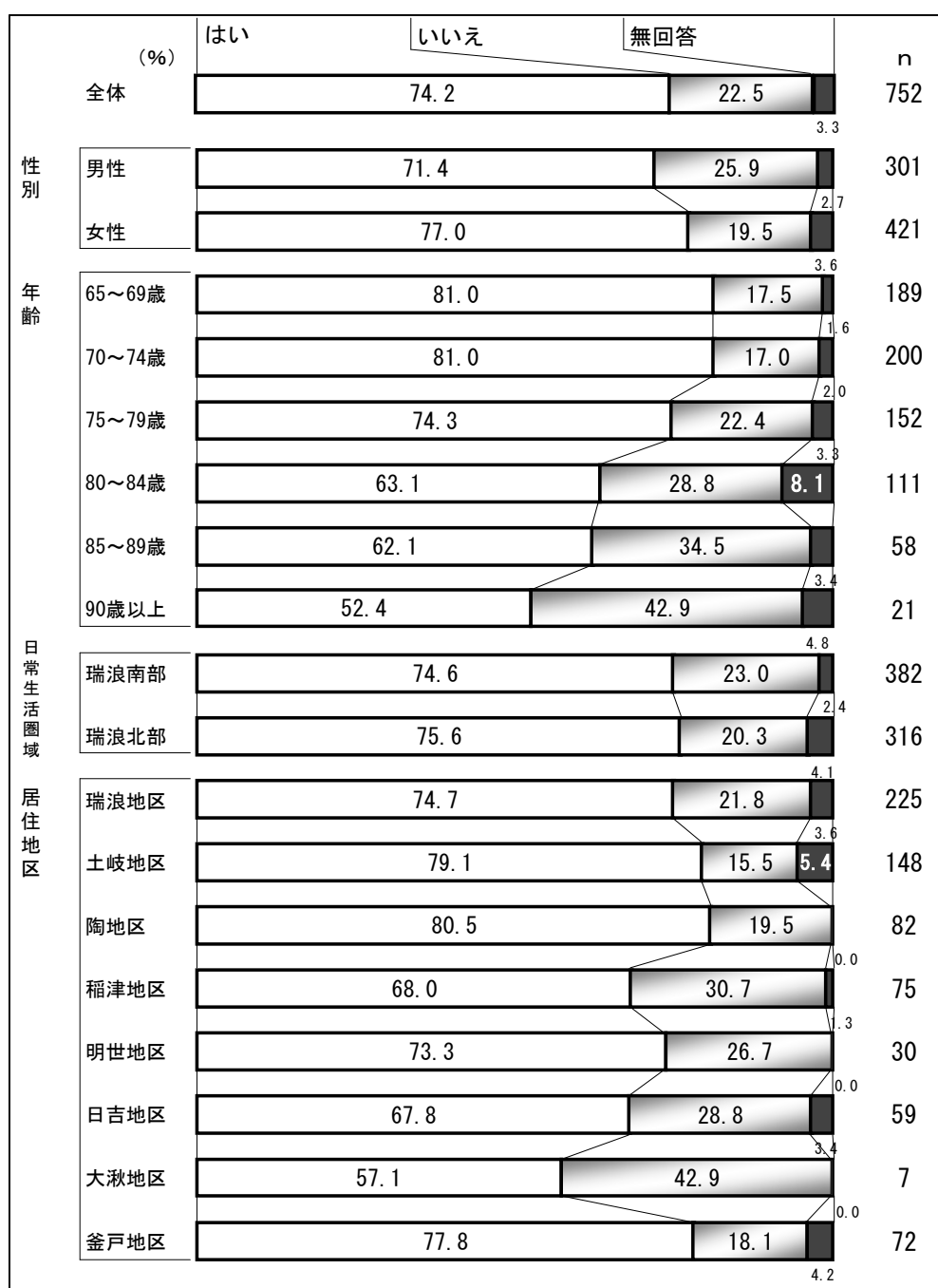
問 37 家族や友人の相談にのっていますか。

- 「はい」が7割台半ば、一方、「いいえ」が2割強。

家族や友人の相談にのっているかどうかについては、「はい」が74.2%、一方、「いいえ」が22.5%となっています。

年齢別でみると、「いいえ」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 家族や友人の相談にのっている



### (15) 病人を見舞うことができる

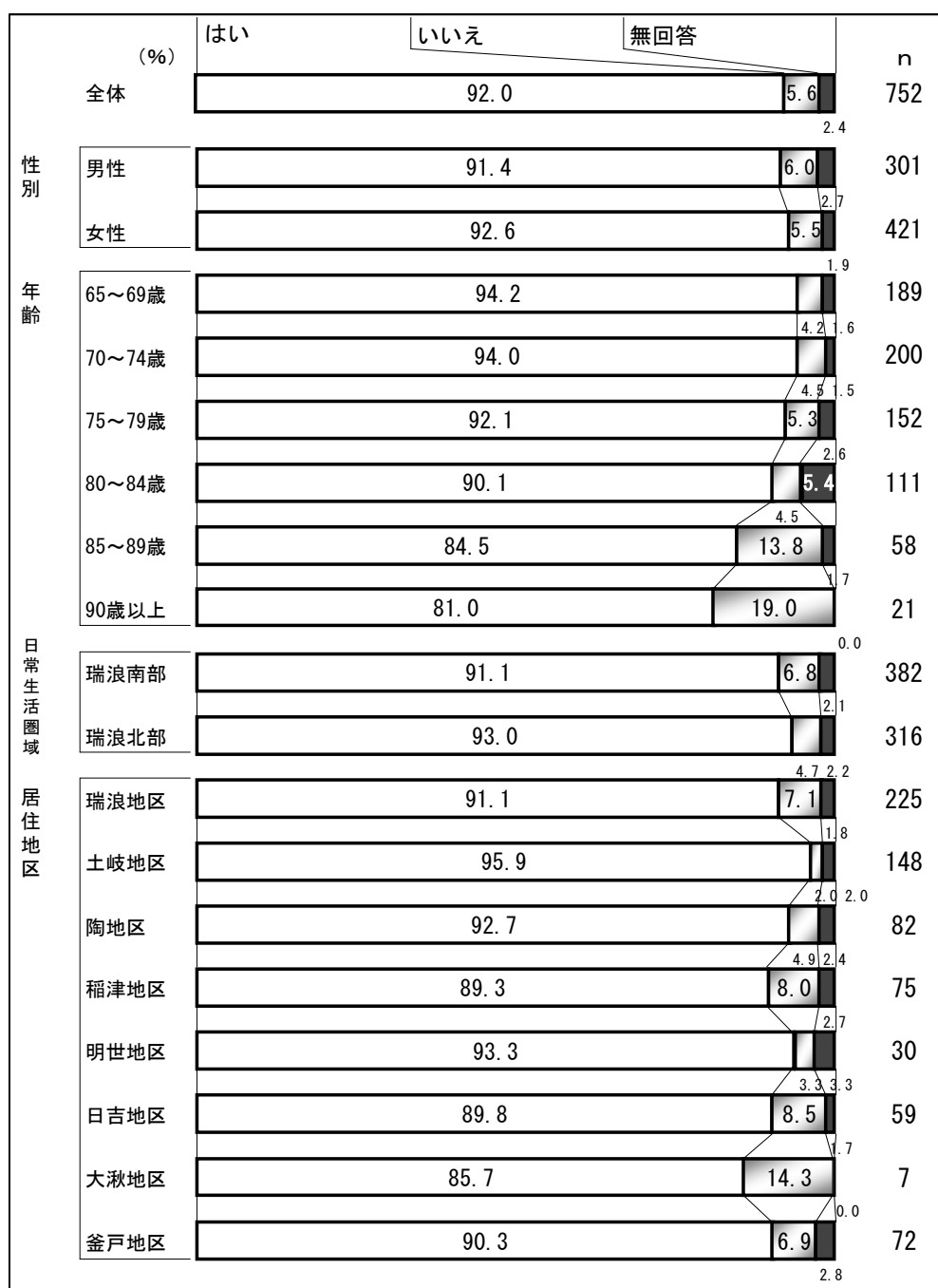
問 38 病人を見舞うことができますか。

● 「はい」が9割強、一方、「いいえ」が5.6%。

病人を見舞うことができるかどうかについては、「はい」が92.0%、一方、「いいえ」が5.6%となっています。

年齢別でみると、「いいえ」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 病人を見舞うことができる



## (16) 若い人に自分から話しかけることがある

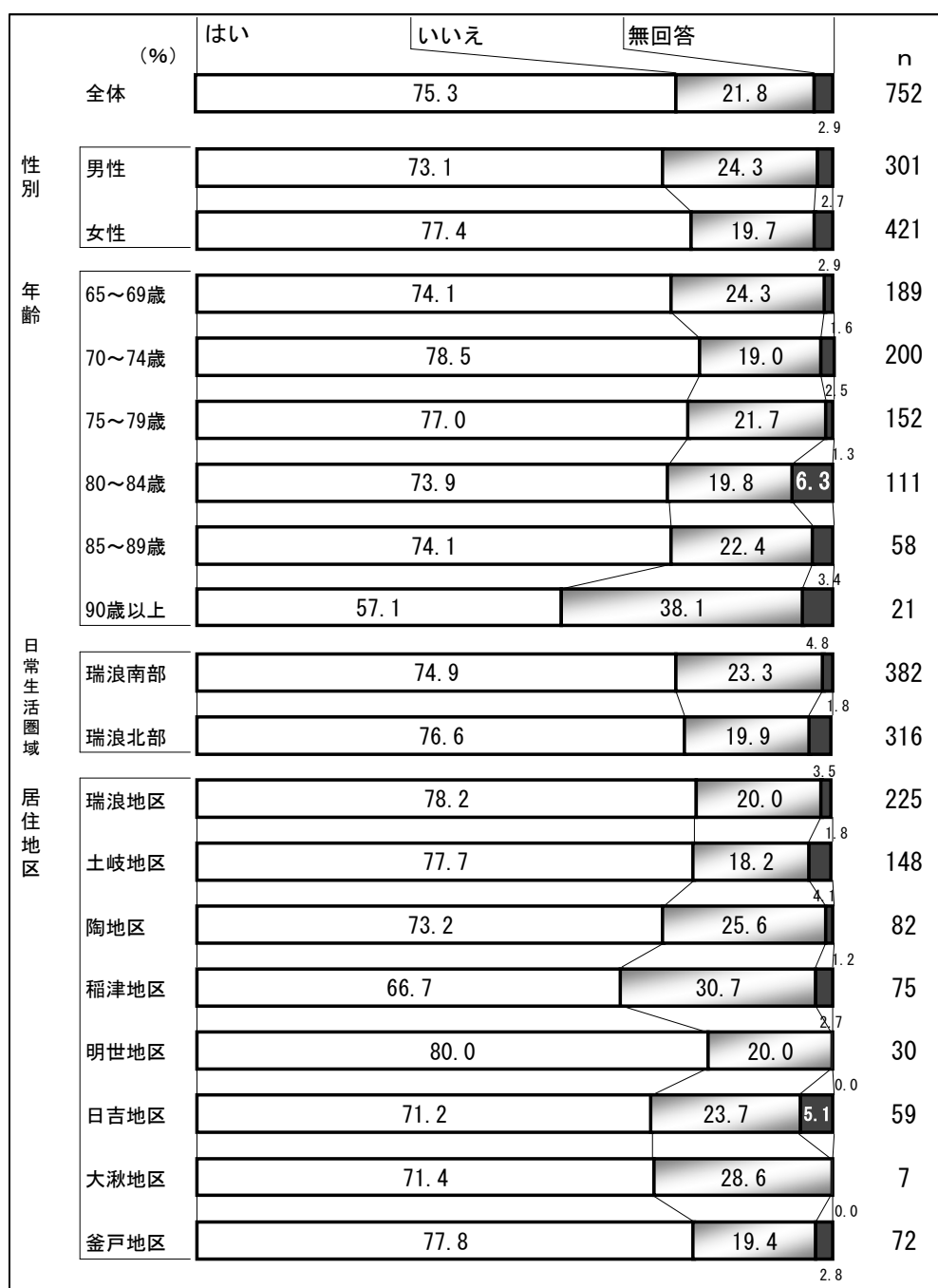
問 39 若い人に自分から話しかけることがありますか。

● 「はい」が7割台半ば、一方、「いいえ」が2割強。

若い人に自分から話しかけるかどうかについては、「はい」が75.3%、一方、「いいえ」が21.8%となっています。

居住地区別でみると、「はい」の割合は、「稲津地区」では6割台半ばにとどまり、他の地域より低くなっています。

図表 若い人に自分から話しかけることがある



## (17) 趣味の有無

問 40 趣味はありますか。

● 「趣味あり」が7割強、一方、「思いつかない」が2割強。

趣味はあるかどうかについては、「趣味あり」が71.0%、一方、「思いつかない」が23.4%となっています。

年齢別でみると、「趣味あり」の割合は、85-89歳、90歳以上では5～6割台にとどまります。

図表 趣味の有無

		(%)	趣味あり	思いつかない	無回答	n
	全体		71.0	23.4	5.6	752
性別	男性		73.4	21.9	4.7	301
	女性		70.8	23.8	5.5	421
年齢	65～69歳		70.9	24.3	4.8	189
	70～74歳		73.0	23.5	3.5	200
	75～79歳		71.7	23.7	4.6	152
	80～84歳		75.7	18.0	6.3	111
	85～89歳		60.3	27.6	12.1	58
	90歳以上		52.4	28.6	19.0	21
日常生活圏域	瑞浪南部		72.3	22.5	5.2	382
	瑞浪北部		71.2	22.8	6.0	316
居住地区	瑞浪地区		72.4	22.2	5.3	225
	土岐地区		70.9	22.3	6.8	148
	陶地区		76.8	18.3	4.9	82
	稲津地区		66.7	28.0	5.3	75
	明世地区		73.3	23.3	3.3	30
	日吉地区		72.9	23.7	3.4	59
	大湫地区		71.4	14.3	14.3	7
	釜戸地区		69.4	23.6	6.9	72

## (18) 生きがいの有無

問 41 生きがいはありますか。

● 「生きがいあり」が6割弱、一方、「思いつかない」が3割台半ば。

生きがいはあるかどうかについては、「生きがいあり」が57.3%、一方、「思いつかない」が34.3%となっています。

年齢別でみると、「生きがいあり」の割合は、概ね年齢層が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 生きがいの有無

		(% )			n
		生きがいあり	思いつかない	無回答	
	全体	57.3	34.3	8.4	752
性別	男性	57.5	36.5	6.0	301
	女性	58.2	32.3	9.5	421
年齢	65～69歳	61.4	34.4	4.2	189
	70～74歳	60.5	34.5	5.0	200
	75～79歳	53.9	37.5	8.6	152
	80～84歳	56.8	29.7	13.5	111
	85～89歳	53.4	31.0	15.5	58
	90歳以上	23.8	47.6	28.6	21
日常生活圏域	瑞浪南部	59.4	32.7	7.9	382
	瑞浪北部	57.0	34.2	8.9	316
居住地区	瑞浪地区	58.2	33.3	8.4	225
	土岐地区	62.8	29.7	7.4	148
	陶地区	67.1	28.0	4.9	82
	稲津地区	54.7	36.0	9.3	75
	明世地区	53.3	43.3	3.3	30
	日吉地区	55.9	33.9	10.2	59
	大湫地区	42.9	57.1	0.0	7
	釜戸地区	48.6	37.5	13.9	72



## 5 地域での活動について

### (1) 会・グループ等への参加頻度

問 42 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

- 町内会・自治会の参加頻度が比較的多く、介護予防のための集いの場は参加頻度が低い。

会・グループ等への参加頻度については、以下のとおりとなっています。

図表 会・グループ等への参加頻度

(%)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	n
ボランティアのグループ	6.3	9.2	44.3	38.4				752
スポーツ関係のグループ	0.5	9.6	41.6	34.6				752
趣味関係のグループ	2.9	15.2	6.1	37.6	33.2			752
学習・教養サークル	0.3	49.6	40.7					752
介護予防のための集いの場	0.0	53.2	40.8					752
老人クラブ	6.0	52.3	36.7					752
町内会・自治会	10.6	24.1	29.7	34.4				752
収入のある仕事	14.5	7.0	38.6	33.6				752

## (2) 地域活動への参加者としての参加意向

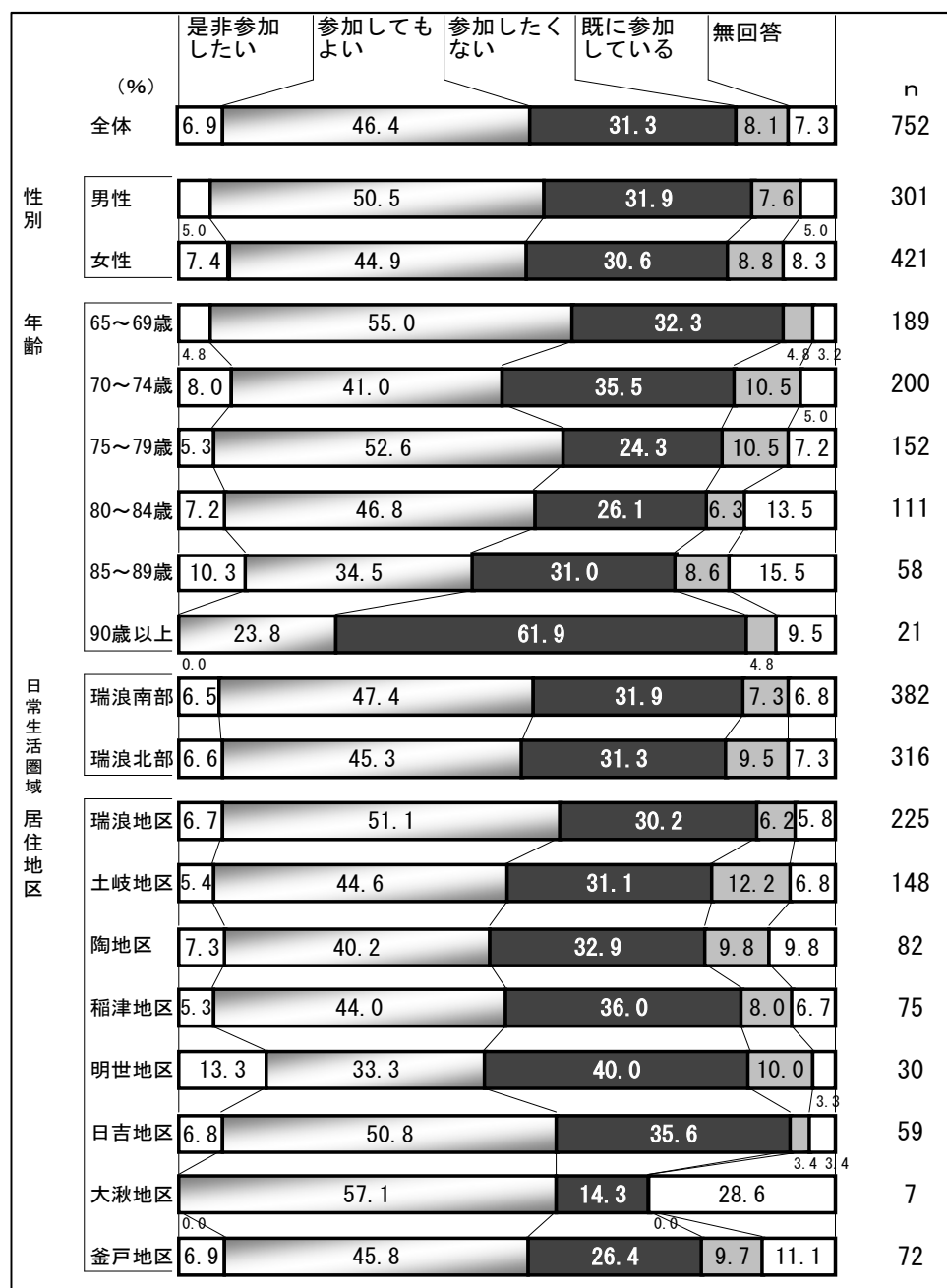
問 43 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

● 「参加してもよい」が5割弱。

地域活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が46.4%、「参加したくない」が31.3%、「既に参加している」が8.1%、「是非参加したい」が6.9%となっています。

居住地区別でみると、参加意向（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）の割合は、一番高い瑞浪地区が一番低い明世地区を約11ポイント上回っています。

図表 地域活動への参加者としての参加意向



### (3) 地域活動への企画・運営としての参加意向

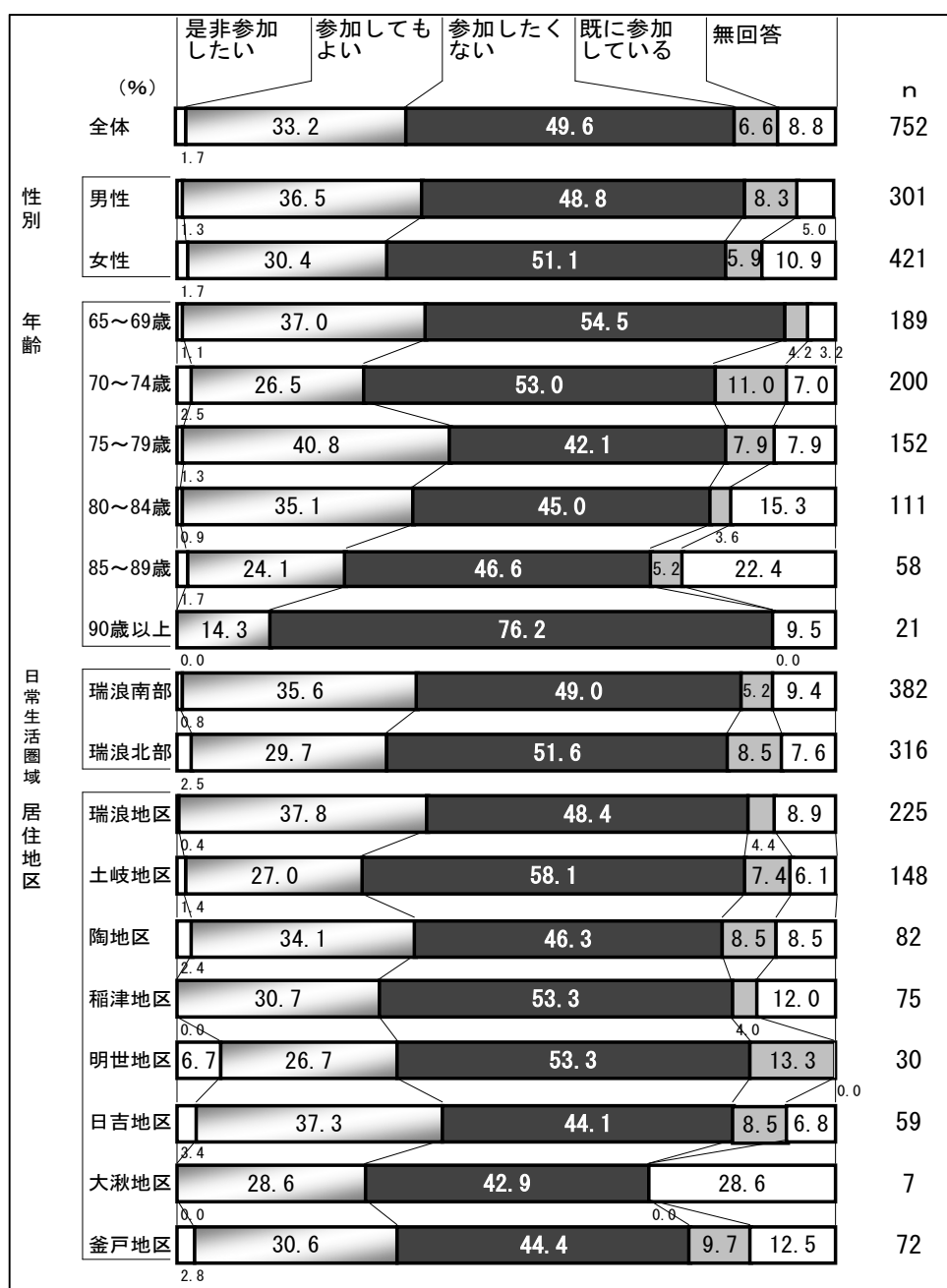
問 44 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

● 「参加したくない」が約5割。

地域活動への企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が49.6%、「参加してもよい」が33.2%、「既に参加している」が6.6%、「是非参加したい」が1.7%となっています。

居住地区別でみると、参加意向（「是非参加したい」と「参加してもよい」の合計）の割合は、一番高い瑞浪地区が一番低い土岐地区を約12ポイント上回っています。

図表 地域活動への企画・運営としての参加意向



## 6 たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

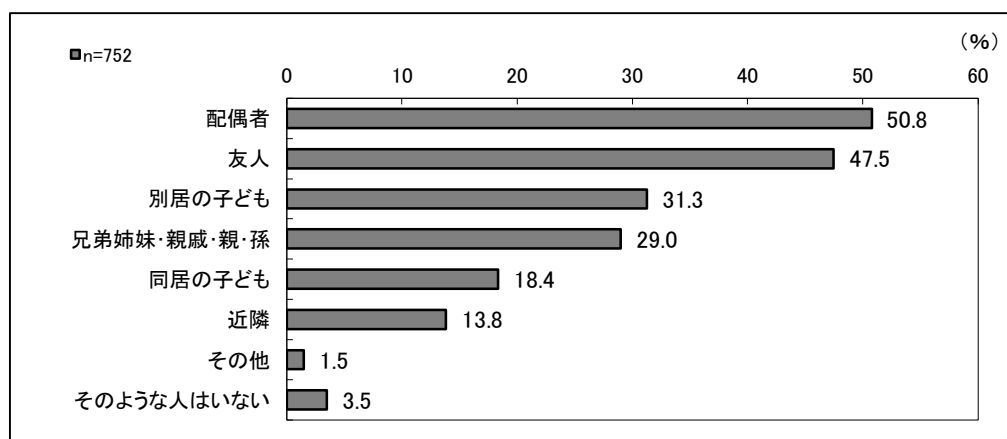
問 45 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。【複数回答】

- 「配偶者」が第1位、僅差で、「友人」が続く。

心配や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」(50.8%)、「友人」(47.5%)、「別居の子ども」(31.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(29.0%)、「同居の子ども」(18.4%)、「近隣」(13.8%)の順となっています。なお、「そのような人はいない」は3.5%となっています。

性別で見ると、男性では「配偶者」が第1位である一方、女性では「友人」が第1位となっています。

図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体）



図表 心配事や愚痴を聞いてくれる人（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 50.8	友人 47.5	別居の子ども 31.3
性別	男性	配偶者 70.4	友人 37.5	別居の子ども 21.3
	女性	友人 55.3	別居の子ども 39.0	配偶者 37.5
年齢	65～69歳	配偶者 65.6	友人 56.6	別居の子ども 34.4
	70～74歳	配偶者 58.5	友人 49.5	別居の子ども 30.0
	75～79歳	配偶者 48.7	友人 43.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 32.9
	80～84歳	友人 39.6	配偶者 38.7	別居の子ども 28.8
	85～89歳	友人 44.8	同居の子ども 32.8	別居の子ども 31.0
	90歳以上	別居の子ども 38.1	同居の子ども/友人	28.6
日常生活圏域	瑞浪南部	配偶者 51.0	友人 47.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 31.4
	瑞浪北部	配偶者 52.2	友人 47.5	別居の子ども 34.5
居住地区	瑞浪地区	配偶者 48.9	友人 48.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 28.4
	土岐地区	配偶者 54.1	友人 46.6	別居の子ども 33.1
	陶地区	配偶者 54.9	友人 52.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 39.0
	稲津地区	配偶者 53.3	友人 40.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 32.0
	明世地区	配偶者 60.0	友人 43.3	兄弟姉妹・親戚・親・孫 33.3
	日吉地区	配偶者 54.2	友人 39.0	別居の子ども 35.6
	大湫地区	別居の子ども 57.1	友人 42.9	配偶者/兄弟姉妹・親戚・親・孫 28.6
	釜戸地区	友人 58.3	配偶者 45.8	別居の子ども 38.9

## (2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

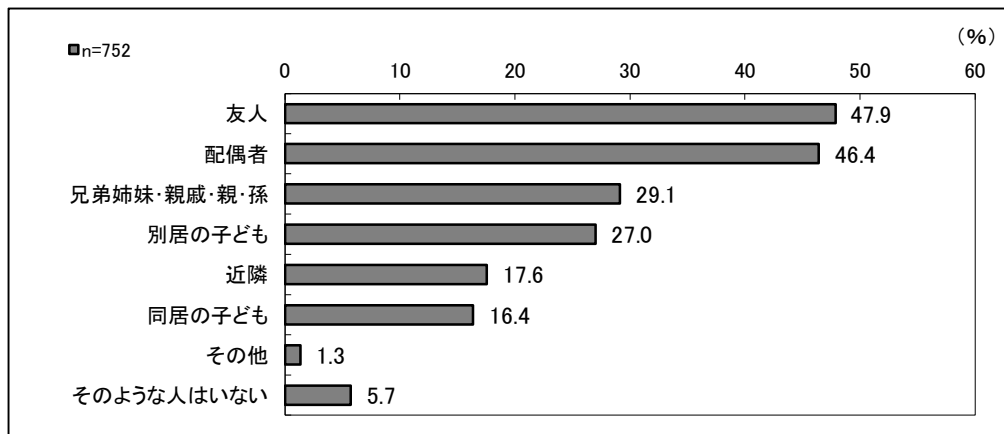
問 46 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。【複数回答】

- 「友人」が第1位、僅差で「配偶者」が続く。

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「友人」(47.9%)、「配偶者」(46.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(29.1%)、「別居の子ども」(27.0%)、「近隣」(17.6%)、「同居の子ども」(16.4%)の順となっています。なお、「そのような人はいない」は5.7%となっています。

性別で見ると、男性では「配偶者」が第1位である一方、女性では「友人」が第1位となっています。

図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体）



図表 心配事や愚痴を聞いてあげる人（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		友人 47.9	配偶者 46.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 29.1
性別	男性	配偶者 66.8	友人 38.5	別居の子ども 20.9
	女性	友人 54.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 36.3	配偶者 32.8
年齢	65～69歳	配偶者 63.5	友人 54.5	別居の子ども 34.4
	70～74歳	配偶者 52.5	友人 50.5	兄弟姉妹・親戚・親・孫 32.5
	75～79歳	配偶者 44.1	友人 43.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 34.2
	80～84歳	友人 45.9	配偶者 35.1	別居の子ども 23.4
	85～89歳	友人 37.9	近隣 27.6	別居の子ども 24.1
	90歳以上	近隣/友人 23.8		同居の子ども/別居の子ども/ 兄弟姉妹・親戚・親・孫 19.0
日常生活圏域	瑞浪南部	友人 48.4	配偶者 45.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 31.2
	瑞浪北部	配偶者 49.7	友人 47.2	別居の子ども 29.1
居住地区	瑞浪地区	友人 50.7	配偶者 43.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 29.8
	土岐地区	配偶者 52.7	友人 45.9	別居の子ども 29.1
	陶地区	友人 50.0	配偶者 46.3	兄弟姉妹・親戚・親・孫 39.0
	稲津地区	配偶者 48.0	友人 40.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 26.7
	明世地区	配偶者 56.7	友人 40.0	別居の子ども/兄弟姉妹・親戚・親・孫 30.0
	日吉地区	配偶者 49.2	友人 42.4	近隣 23.7
	大湫地区	別居の子ども 57.1	友人 42.9	配偶者/兄弟姉妹・親戚・親・孫 28.6
	釜戸地区	友人 56.9	配偶者 43.1	別居の子ども/兄弟姉妹・親戚・親・孫 34.7

### (3) 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人

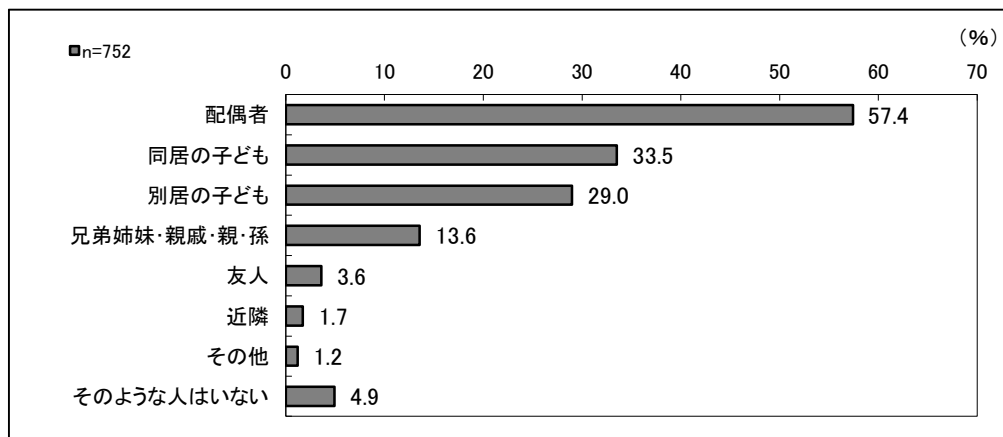
問 47 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はいますか。  
【複数回答】

- 「配偶者」が他を引き離して第1位。

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(57.4%)、「同居の子ども」(33.5%)、「別居の子ども」(29.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.6%)、「友人」(3.6%)、「近隣」(1.7%)の順となっています。なお、「そのような人はいない」は4.9%となっています。

属性別でみると、ほとんどの層で「配偶者」が第1位となっていますが、年齢別の85-89歳では「同居の子ども」、90歳以上では「別居の子ども」が第1位となっています。

図表 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人 (全体)





図表 病気で寝込んだとき看病や世話をしてくれる人（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 57.4	同居の子ども 33.5	別居の子ども 29.0
性別	男性	配偶者 76.7	同居の子ども 25.6	別居の子ども 20.3
	女性	配偶者 44.7	同居の子ども 39.0	別居の子ども 35.9
年齢	65～69歳	配偶者 74.1	別居の子ども 32.3	同居の子ども 27.0
	70～74歳	配偶者 66.0	同居の子ども 30.0	別居の子ども 26.0
	75～79歳	配偶者 57.2	同居の子ども 37.5	別居の子ども 25.7
	80～84歳	配偶者 41.4	同居の子ども 36.0	別居の子ども 31.5
	85～89歳	同居の子ども 55.2	別居の子ども 32.8	配偶者 24.1
	90歳以上	別居の子ども 38.1	同居の子ども 33.3	配偶者 23.8
日常生活圏域	瑞浪南部	配偶者 57.3	同居の子ども 37.4	別居の子ども 27.7
	瑞浪北部	配偶者 59.2	同居の子ども 30.4	別居の子ども 29.7
居住地区	瑞浪地区	配偶者 56.0	同居の子ども 38.7	別居の子ども 28.0
	土岐地区	配偶者 60.1	同居の子ども 33.8	別居の子ども 26.4
	陶地区	配偶者 57.3	同居の子ども 30.5	別居の子ども 30.5
	稲津地区	配偶者 61.3	同居の子ども 41.3	別居の子ども 24.0
	明世地区	配偶者 60.0	同居の子ども 40.0	別居の子ども 23.3
	日吉地区	配偶者 62.7	別居の子ども 35.6	同居の子ども 22.0
	大湫地区	配偶者 42.9	同居の子ども/別居の子ども 28.6	
	釜戸地区	配偶者 55.6	別居の子ども 34.7	同居の子ども 26.4

#### (4) 看病や世話をしあける人

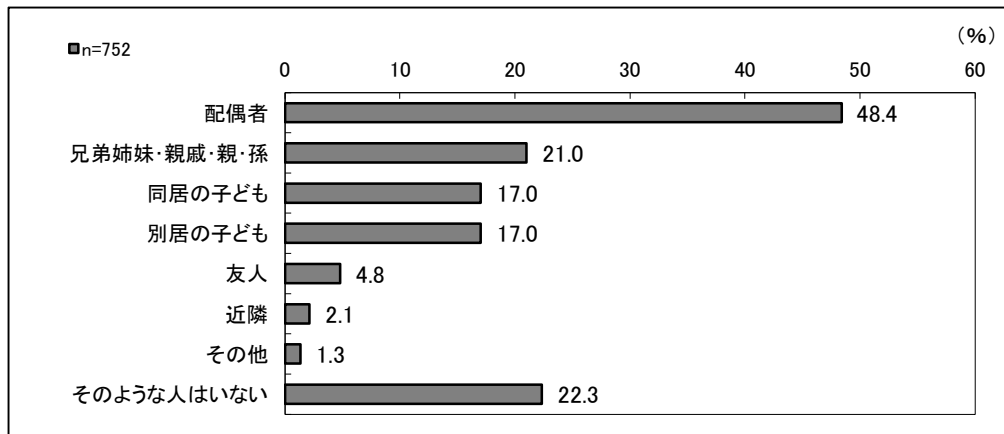
問 48 反対に、看病や世話をしあける人はいますか。【複数回答】

- 「配偶者」が他を引き離して第1位。

あなたが看病や世話をしあける人については、「配偶者」(48.4%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(21.0%)、「同居の子ども」・「別居の子ども」(同率17.0%)、「友人」(4.8%)、「近隣」(2.1%)の順となっています。なお、「そのような人はいない」は22.3%となっています。

属性別にみても、ほとんどの層で「配偶者」が第1位となっていますが、年齢別の90歳以上では「同居の子ども」・「別居の子ども」(同率)、居住地区別の大湫地区では「配偶者」・「別居の子ども」(同率)が第1位となっています。

図表 看病や世話をしあける人 (全体)



図表 看病や世話をしあける人（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		配偶者 48.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 21.0	同居の子ども/別居の子ども 17.0
性別	男性	配偶者 62.5	兄弟姉妹・親戚・親・孫 18.3	同居の子ども 14.3
	女性	配偶者 39.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 24.0	別居の子ども 20.9
年齢	65～69歳	配偶者 63.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 30.7	別居の子ども 25.4
	70～74歳	配偶者 54.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 23.0	別居の子ども 17.0
	75～79歳	配偶者 47.4	兄弟姉妹・親戚・親・孫 20.4	同居の子ども 17.8
	80～84歳	配偶者 39.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 15.3	同居の子ども 13.5
	85～89歳	配偶者 19.0	同居の子ども 15.5	別居の子ども 10.3
	90歳以上	同居の子ども/別居の子ども 14.3	配偶者 9.5	
日常生活圏域	瑞浪南部	配偶者 47.6	兄弟姉妹・親戚・親・孫 24.1	同居の子ども 17.8
	瑞浪北部	配偶者 51.6	別居の子ども 17.7	同居の子ども 17.1
居住地区	瑞浪地区	配偶者 48.0	兄弟姉妹・親戚・親・孫 20.9	同居の子ども 19.6
	土岐地区	配偶者 52.0	別居の子ども/兄弟姉妹・親戚・親・孫 21.6	
	陶地区	配偶者 43.9	兄弟姉妹・親戚・親・孫 34.1	別居の子ども 18.3
	稲津地区	配偶者 50.7	兄弟姉妹・親戚・親・孫 22.7	同居の子ども 17.3
	明世地区	配偶者 56.7	同居の子ども 26.7	兄弟姉妹・親戚・親・孫 23.3
	日吉地区	配偶者 54.2	同居の子ども 13.6	別居の子ども 11.9
	大湫地区	配偶者/別居の子ども 28.6	同居の子ども/兄弟姉妹・親戚・親・孫 14.3	
	釜戸地区	配偶者 48.6	同居の子ども 13.9	別居の子ども/兄弟姉妹・親戚・親・孫 12.5

## (5) 家族や友人、知人以外の相談相手

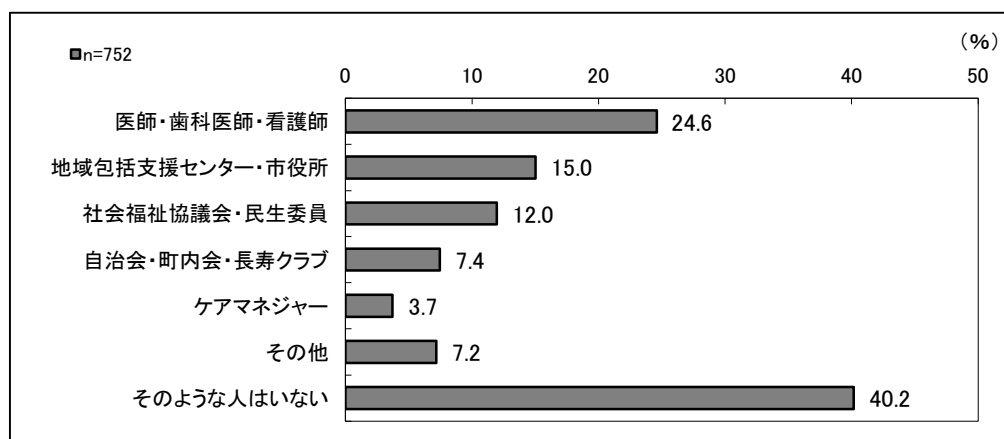
問 49 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手は誰ですか。【複数回答】

- 「医師・歯科医師・看護師」が第1位、次いで、「地域包括支援センター・市役所」、「社会福祉協議会・民生委員」の順。

家族や友人、知人以外の具体的な相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」(24.6%)、「地域包括支援センター・市役所」(15.0%)、「社会福祉協議会・民生委員」(12.0%)、「自治会・町内会・長寿クラブ」(7.4%)、「ケアマネジャー」(3.7%)の順となっています。なお、「そのような人はいない」は40.2%となっています。

属性別でも、ほとんどの層で「医師・歯科医師・看護師」が第1位となっていますが、居住地区別の明世地区では「社会福祉協議会・民生委員」、大湫地区では「医師・歯科医師・看護師」・「地域包括支援センター・市役所」(同率)が第1位となっています。

図表 家族や友人、知人・以外の相談相手（全体）



図表 家族や友人、知人以外の相談相手（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		医師・歯科医師・看護師 24.6	地域包括支援センター・市役所 15.0	社会福祉協議会・民生委員 12.0
性別	男性	医師・歯科医師・看護師 22.9	地域包括支援センター・市役所 14.6	自治会・町内会・長寿クラブ/ 社会福祉協議会・民生委員 11.0
	女性	医師・歯科医師・看護師 26.6	地域包括支援センター・市役所 15.9	社会福祉協議会・民生委員 12.4
年齢	65～69歳	医師・歯科医師・看護師 23.8	地域包括支援センター・市役所 16.9	自治会・町内会・長寿クラブ 12.7
	70～74歳	医師・歯科医師・看護師 22.0	地域包括支援センター・市役所 12.0	社会福祉協議会・民生委員 10.0
	75～79歳	医師・歯科医師・看護師 29.6	地域包括支援センター・市役所 21.7	社会福祉協議会・民生委員 13.8
	80～84歳	医師・歯科医師・看護師 25.2	社会福祉協議会・民生委員 16.2	地域包括支援センター・市役所 13.5
	85～89歳	医師・歯科医師・看護師 29.3	社会福祉協議会・民生委員 20.7	自治会・町内会・長寿クラブ/ 地域包括支援センター・市役所 10.3
	90歳以上	医師・歯科医師・看護師 14.3	地域包括支援センター・市役所 9.5	社会福祉協議会・民生委員/ ケアマネジャー 4.8
日常生活圏域	瑞浪南部	医師・歯科医師・看護師 24.9	地域包括支援センター・市役所 14.9	社会福祉協議会・民生委員 11.0
	瑞浪北部	医師・歯科医師・看護師 25.0	地域包括支援センター・市役所 14.9	社会福祉協議会・民生委員 13.0
居住地区	瑞浪地区	医師・歯科医師・看護師 21.3	地域包括支援センター・市役所 16.4	社会福祉協議会・民生委員 12.9
	土岐地区	医師・歯科医師・看護師 27.7	地域包括支援センター・市役所 16.9	社会福祉協議会・民生委員 11.5
	陶地区	医師・歯科医師・看護師 28.0	自治会・町内会・長寿クラブ 13.4	地域包括支援センター・市役所 11.0
	稲津地区	医師・歯科医師・看護師 32.0	地域包括支援センター・市役所 14.7	自治会・町内会・長寿クラブ 13.3
	明世地区	社会福祉協議会・民生委員 26.7	医師・歯科医師・看護師/地域包括支援センター・市役所 20.0	
	日吉地区	医師・歯科医師・看護師 18.6	地域包括支援センター・市役所 11.9	社会福祉協議会・民生委員 8.5
	大湫地区	医師・歯科医師・看護師/地域包括支援センター・市役所 28.6		社会福祉協議会・民生委員 14.3
	釜戸地区	医師・歯科医師・看護師 26.4	社会福祉協議会・民生委員 13.9	地域包括支援センター・市役所 9.7

## (6) 友人、知人と会う頻度

問 50 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- 「月に何度かある」が4割弱。

友人、知人と会う頻度については、「月に何度かある」が37.2%、「週に何度かある」が27.9%、「年に何度かある」が13.6%、「毎日ある」が10.1%、「ほとんどない」が6.9%となっています。

図表 友人、知人と会う頻度

	友人、知人と会う頻度 (%)						n	
	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答		
全体	10.1	27.9	37.2	13.6	6.9	4.3	752	
性別	男性	11.0	24.3	39.2	14.6	7.3	3.7	301
	女性	9.3	30.9	35.9	12.6	6.7	4.8	421
年齢	65～69歳	8.5	25.4	36.5	20.1	5.8	3.7	189
	70～74歳	12.0	29.5	34.5	13.0	7.5	3.5	200
	75～79歳	8.6	25.7	46.1	9.9	5.9	3.9	152
	80～84歳	12.6	30.6	36.0	9.9	9.0	1.8	111
	85～89歳	12.1	31.0	32.8	10.3	5.2	8.6	58
	90歳以上	28.6	28.6	9.5	28.6		0.0	21
日常生活圏域	瑞浪南部	10.7	28.3	36.9	13.6	6.5	3.9	382
	瑞浪北部	9.5	28.2	37.3	13.0	7.0	5.1	316
居住地区	瑞浪地区	12.4	26.2	36.0	13.3	8.0	4.0	225
	土岐地区	11.5	28.4	35.1	12.8	6.1	6.1	148
	陶地区	9.8	34.1	35.4	12.2			82
	稲津地区	6.7	28.0	41.3	16.0	5.3	3.7	75
	明世地区	10.0	26.7	36.7	13.3	10.0	2.7	30
	日吉地区	8.5	25.4	40.7	15.3	8.5	3.3	59
	大湫地区	28.6		57.1		14.3	0.0	7
	釜戸地区	6.9	30.6	37.5	12.5	6.9	5.6	72

(7) この1か月間に会った友人・知人の数

問 51 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。  
 同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

● 「10人以上」が3割強。

この1か月間に会った友人・知人の数については、「10人以上」が33.9%、「3～5人」が25.7%、「1～2人」が16.2%、「6～9人」が15.0%、「0人」が4.9%となっています。

図表 この1か月間に会った友人・知人の数

		(% )						n
		0人	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答	
	全体	4.9	16.2	25.7	15.0	33.9	4.3	752
性別	男性	6.0	15.9	24.9	14.0	34.6	4.7	301
	女性	4.3	16.6	25.4	15.4	34.7	3.6	421
年齢	65～69歳	6.3	16.4	21.2	10.1	42.3	3.7	189
	70～74歳	5.5	14.0	23.5	17.0	36.5	3.5	200
	75～79歳	2.6	13.2	26.3	19.1	32.9	5.9	152
	80～84歳	4.5	18.9	35.1	14.4	24.3	2.7	111
	85～89歳	3.4	24.1	24.1	8.6	32.8	6.9	58
	90歳以上	4.8	33.3	33.3	14.3	14.3	0.0	21
日常生活圏域	瑞浪南部	3.9	17.3	25.9	15.7	32.7	4.5	382
	瑞浪北部	5.1	15.2	25.0	13.9	36.7	4.1	316
居住地区	瑞浪地区	4.9	19.1	23.6	16.0	31.1	5.3	225
	土岐地区	5.4	12.8	22.3	15.5	37.8	6.1	148
	陶地区	1.2	15.9	25.6	19.5	34.1	8.7	82
	稲津地区	4.0	13.3	33.3	10.7	36.0	2.7	75
	明世地区	6.8	16.7	26.7	6.7	36.7	3.3	30
	日吉地区	6.8	20.3	20.3	10.2	40.7	1.7	59
	大湫地区	0.0	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0	7
	釜戸地区	1.4	15.3	31.9	18.1	31.9	1.4	72

## (8) よく会う友人・知人

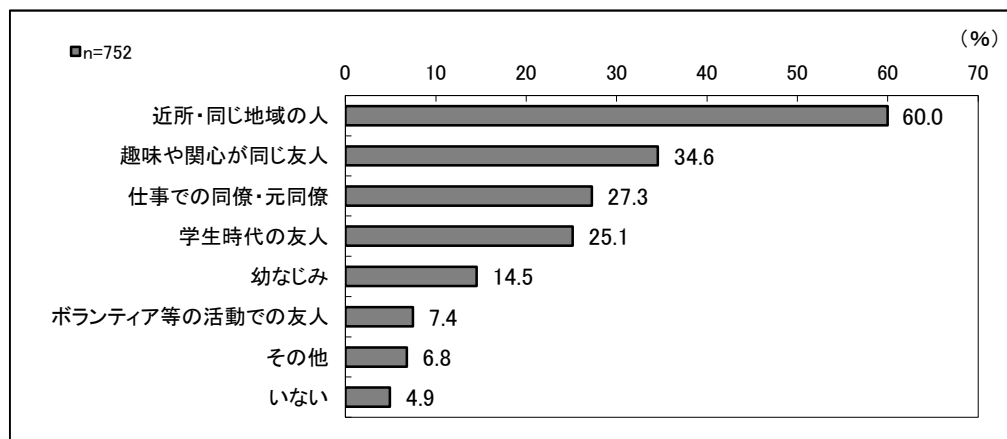
問 52 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。【複数回答】

- 「近所・同じ地域の人」が他を引き離して第1位。

よく会う友人・知人については、「近所・同じ地域の人」(60.0%)、「趣味や関心が同じ友人」(34.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(27.3%)、「学生時代の友人」(25.1%)、「幼なじみ」(14.5%)、「ボランティア等の活動での友人」(7.4%)の順となっています。なお、「いない」は4.9%となっています。

属性別でも、すべての層で「近所・同じ地域の人」が第1位となっています。

図表 よく合う友人・知人 (全体)





図表 よく合う友人・知人（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		近所・同じ地域の人 60.0	趣味や関心が同じ友人 34.6	仕事での同僚・元同僚 27.3
性別	男性	近所・同じ地域の人 54.5	趣味や関心が同じ友人 36.5	仕事での同僚・元同僚 32.9
	女性	近所・同じ地域の人 64.1	趣味や関心が同じ友人 33.5	仕事での同僚・元同僚 23.8
年齢	65～69歳	近所・同じ地域の人 52.4	仕事での同僚・元同僚 46.0	趣味や関心が同じ友人 31.7
	70～74歳	近所・同じ地域の人 61.0	趣味や関心が同じ友人 40.5	仕事での同僚・元同僚 31.0
	75～79歳	近所・同じ地域の人 59.9	趣味や関心が同じ友人 38.8	学生時代の友人 27.6
	80～84歳	近所・同じ地域の人 65.8	趣味や関心が同じ友人 34.2	学生時代の友人 21.6
	85～89歳	近所・同じ地域の人 70.7	学生時代の友人 20.7	趣味や関心が同じ友人 20.7
	90歳以上	近所・同じ地域の人 76.2	幼なじみ 9.5	学生時代の友人/仕事での同僚・元同僚/趣味や関心が同じ友人 4.8
日常生活圏域	瑞浪南部	近所・同じ地域の人 59.2	趣味や関心が同じ友人 37.2	仕事での同僚・元同僚 25.9
	瑞浪北部	近所・同じ地域の人 62.7	趣味や関心が同じ友人 31.3	学生時代の友人 27.2
居住地区	瑞浪地区	近所・同じ地域の人 53.3	趣味や関心が同じ友人 36.9	仕事での同僚・元同僚 27.1
	土岐地区	近所・同じ地域の人 58.1	趣味や関心が同じ友人 35.8	学生時代の友人 30.4
	陶地区	近所・同じ地域の人 68.3	趣味や関心が同じ友人 35.4	学生時代の友人 34.1
	稲津地区	近所・同じ地域の人 66.7	趣味や関心が同じ友人 40.0	仕事での同僚・元同僚 25.3
	明世地区	近所・同じ地域の人 60.0	学生時代の友人 33.3	仕事での同僚・元同僚 30.0
	日吉地区	近所・同じ地域の人 61.0	趣味や関心が同じ友人 33.9	学生時代の友人 25.4
	大湫地区	近所・同じ地域の人 57.1	仕事での同僚・元同僚 42.9	幼なじみ/趣味や関心が同じ友人 14.3
	釜戸地区	近所・同じ地域の人 75.0	仕事での同僚・元同僚 27.8	趣味や関心が同じ友人 23.6

## 7 健康について

### (1) 現在の健康状態

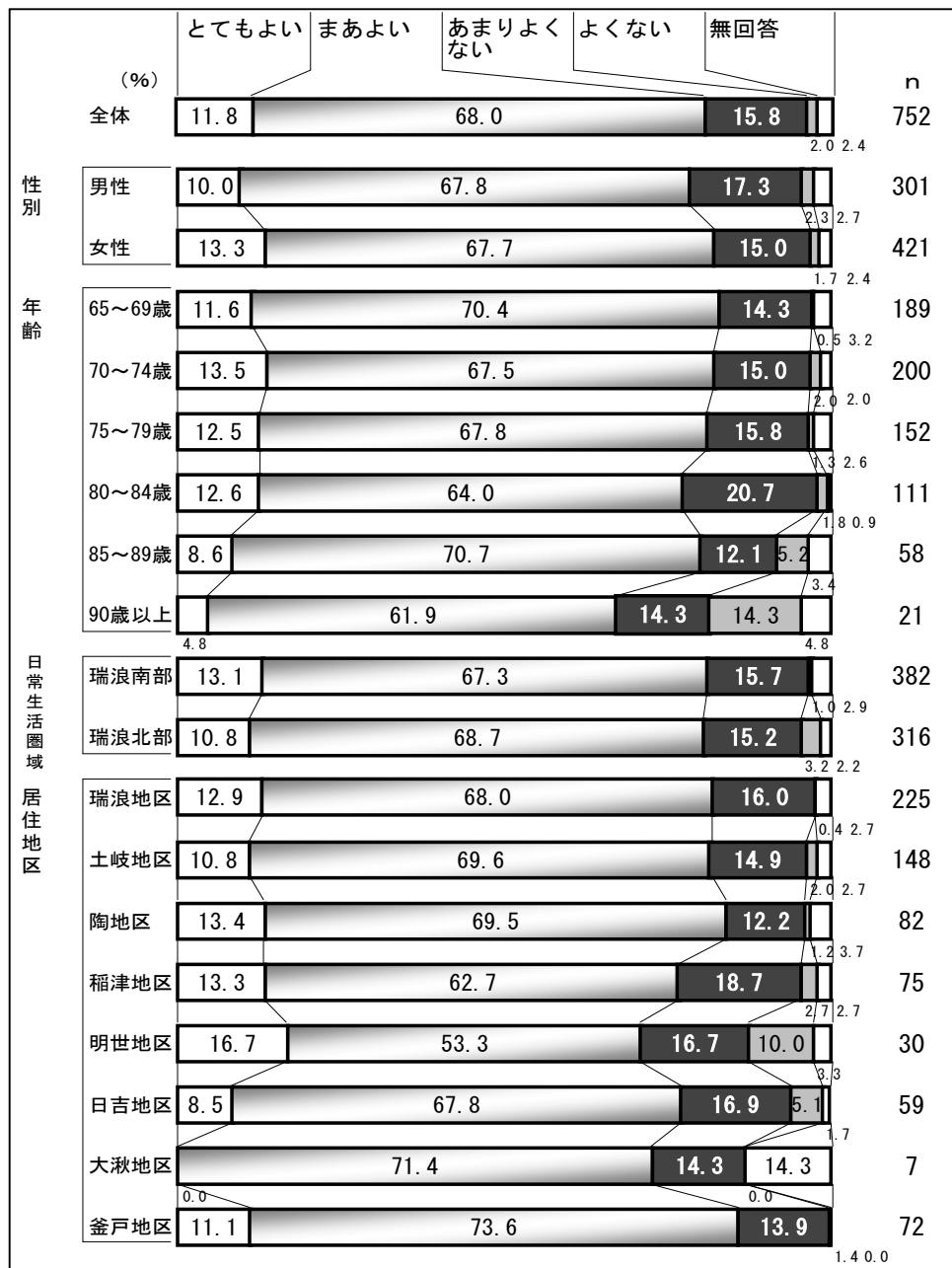
問 53 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- “よい” が約8割、一方、“よくない” が2割弱。

現在の健康状態については、「まあよい」が68.0%で最も多く、これに「とてもよい」(11.8%)をあわせた“よい”は79.8%、一方、“よくない”(「あまりよくない」(15.8%)、「よくない」(2.0%))の合計は17.8%となっています。

居住地区別でみると、“よい”の割合は、一番高い釜戸地区が一番低い明世地区を15ポイント上回っています。

図表 現在の健康状態



## (2) 現在の幸せの程度

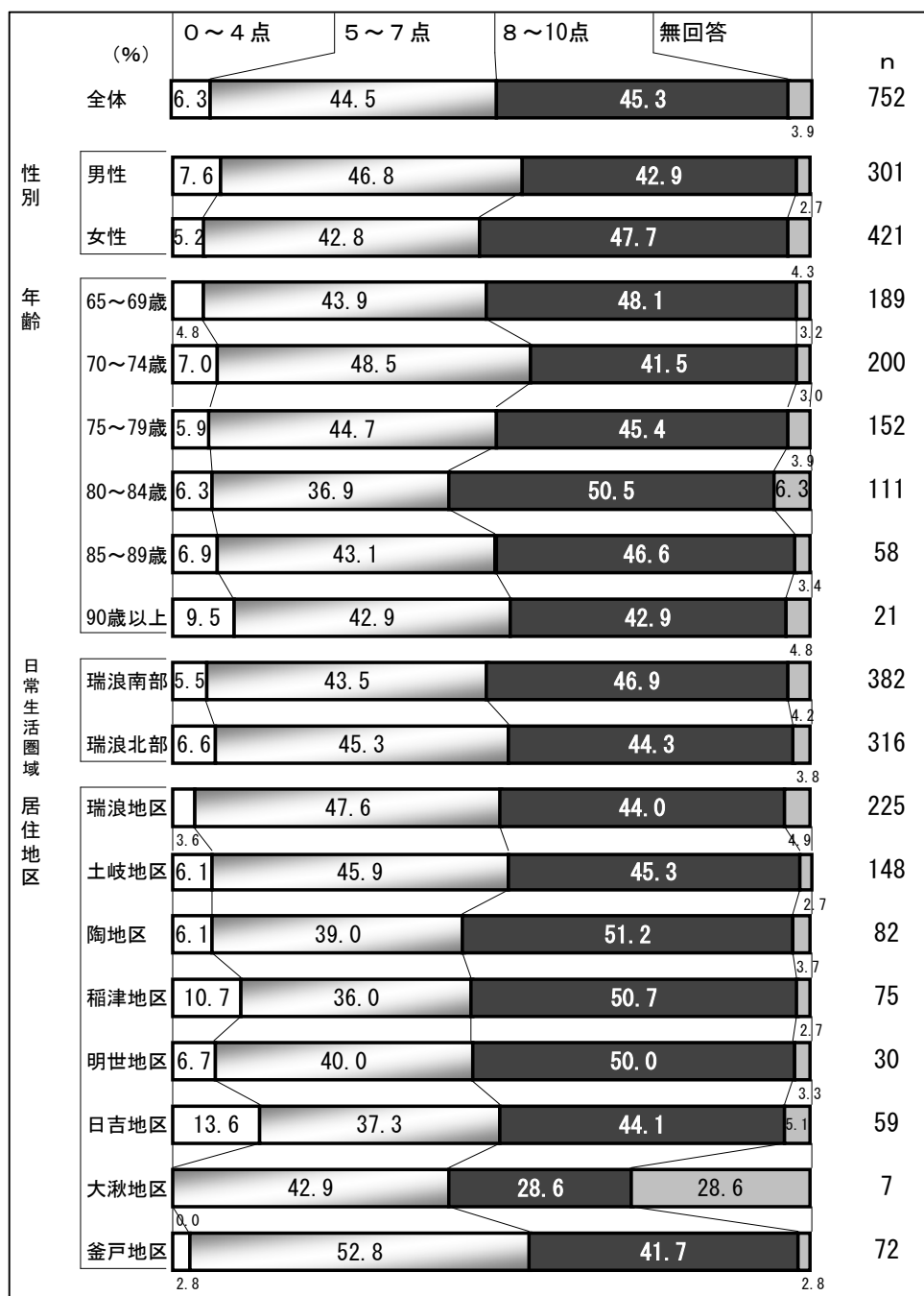
問 54 あなたは、現在どの程度幸せですか。  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

● 「8～10点」が4割台半ば。

現在の幸せの程度については、「8～10点」が45.3%、「5～7点」が44.5%、「0～4点」が6.3%となっています。なお、本設問の無回答を除いた平均点は、7.1点となっています。

属性別でみると、「8～10点」の割合が5割以上を占めるのは、年齢別の80～84歳、居住地区別の陶地区、稲津地区、明世地区となっています。

図表 現在の幸せの程度



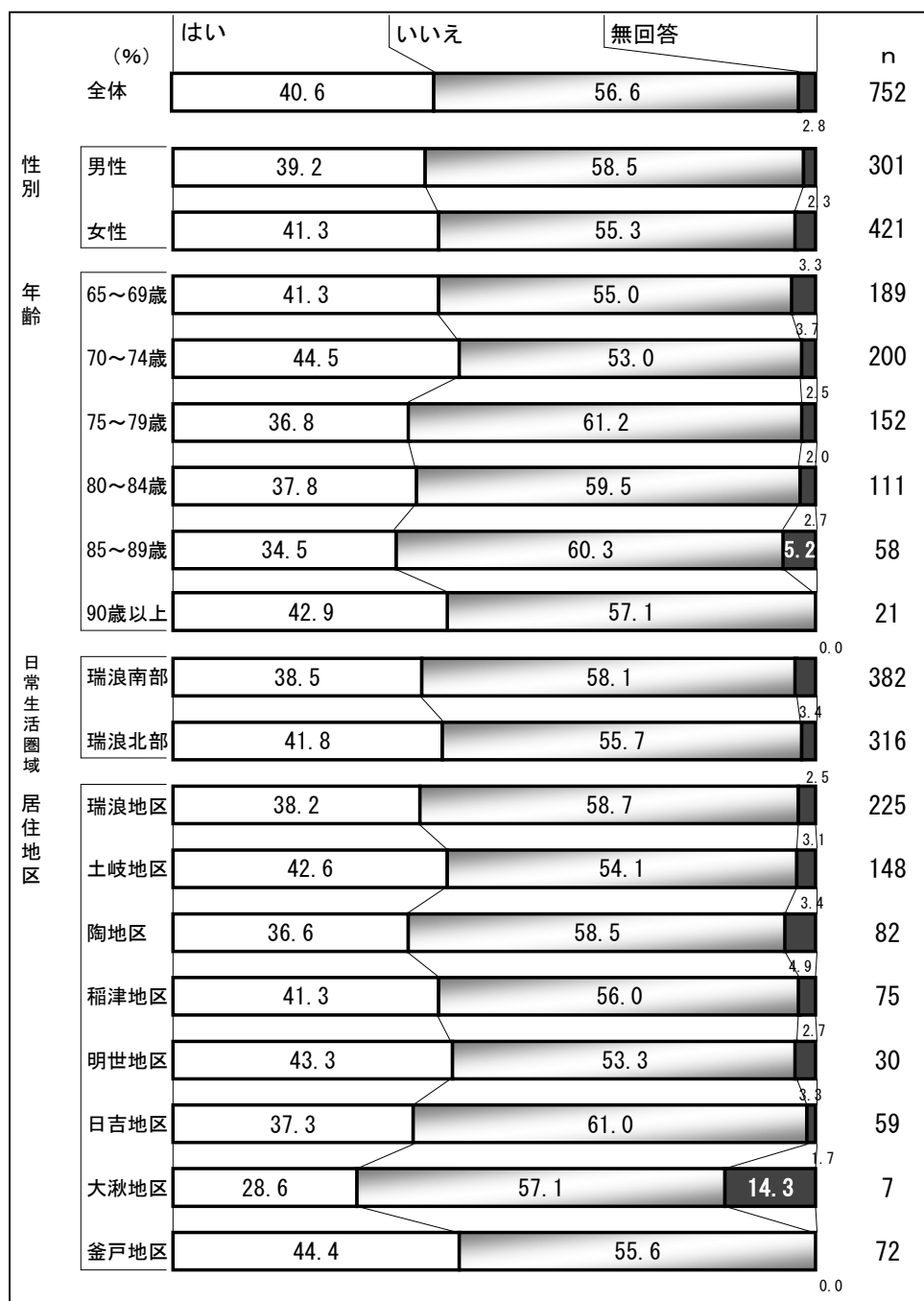
### (3) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる

問 55 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

● 「いいえ」が6割弱、一方、「はい」が約4割。

気分が沈んだりゆううつな気持ちになることがあるかについては、「いいえ」が56.6%、一方、「はい」が40.6%となっています。

図表 気分が沈んだりゆううつな気持ちになる



#### (4) 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない

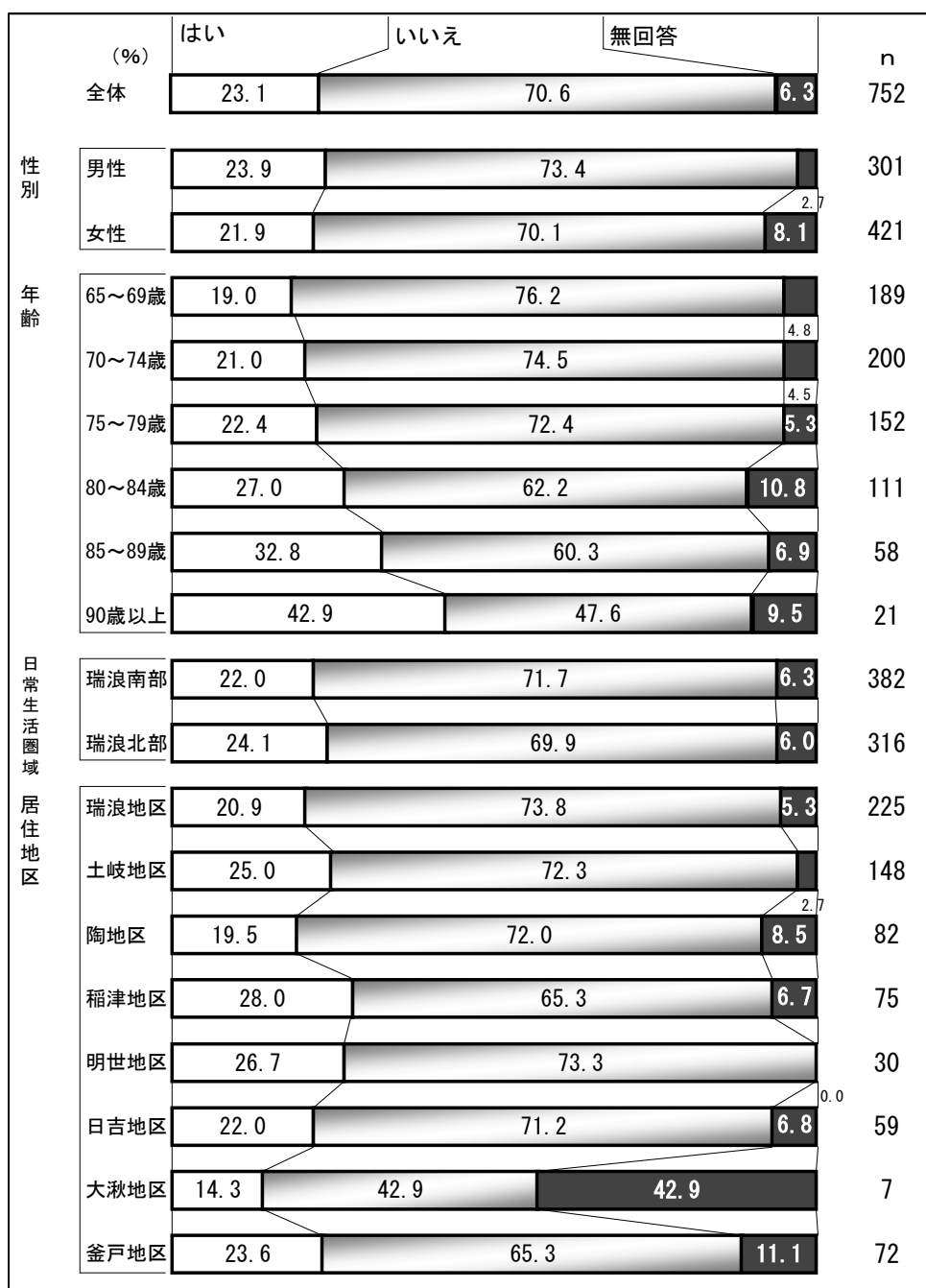
問 56 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。

● 「いいえ」が約7割、一方、「はい」が2割強。

物事に対して興味がわからない感じがよくあったかたずねたところ、「いいえ」が70.6%、一方、「はい」が23.1%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は、年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 物事に対して興味がわからない、心から楽しめない



## (5) 飲酒習慣の有無

問 57 お酒は飲みますか。

● 「もともと飲まない」が3割強。

飲酒習慣の有無については、「もともと飲まない」が33.6%、「ほとんど飲まない」が25.4%、「ほぼ毎日飲む」が22.3%、「時々飲む」が16.1%となっています。

年齢別でみると、「もともと飲まない」の割合は、年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 飲酒習慣の有無

		ほぼ毎日 飲む	時々飲む	ほとんど 飲まない	もともと 飲まない	無回答	n
		(%)					
	全体	22.3	16.1	25.4	33.6	2.5	752
性別	男性	42.2	16.6	21.3	18.3	1.7	301
	女性	7.6	15.9	28.3	45.4	2.9	421
年齢	65～69歳	24.9	19.6	24.9	28.6	2.1	189
	70～74歳	28.5	14.5	25.0	31.0	1.0	200
	75～79歳	21.7	15.1	27.0	33.6	2.6	152
	80～84歳	14.4	15.3	22.5	43.2	4.6	111
	85～89歳	8.6	17.2	25.9	44.8	3.4	58
	90歳以上	14.3	33.3	42.9		4.8	21
日常生活圏	瑞浪南部	22.0	17.3	25.4	32.5	2.9	382
	瑞浪北部	21.2	13.6	25.9	37.0	2.2	316
居住地区	瑞浪地区	24.4	19.6	24.4	28.4	3.1	225
	土岐地区	20.9	12.8	22.3	41.2	2.7	148
	陶地区	11.0	20.7	22.0	42.7	3.7	82
	稲津地区	26.7	6.7	32.0	33.3	1.3	75
	明世地区	16.7	23.3	33.3	26.7	0.0	30
	日吉地区	28.8	6.8	25.4	37.3	1.7	59
	大湫地区	14.3	14.3	14.3	42.9	14.3	7
	釜戸地区	18.1	16.7	31.9	31.9	1.4	72

## (6) 喫煙習慣の有無

問 58 タバコは吸っていますか。



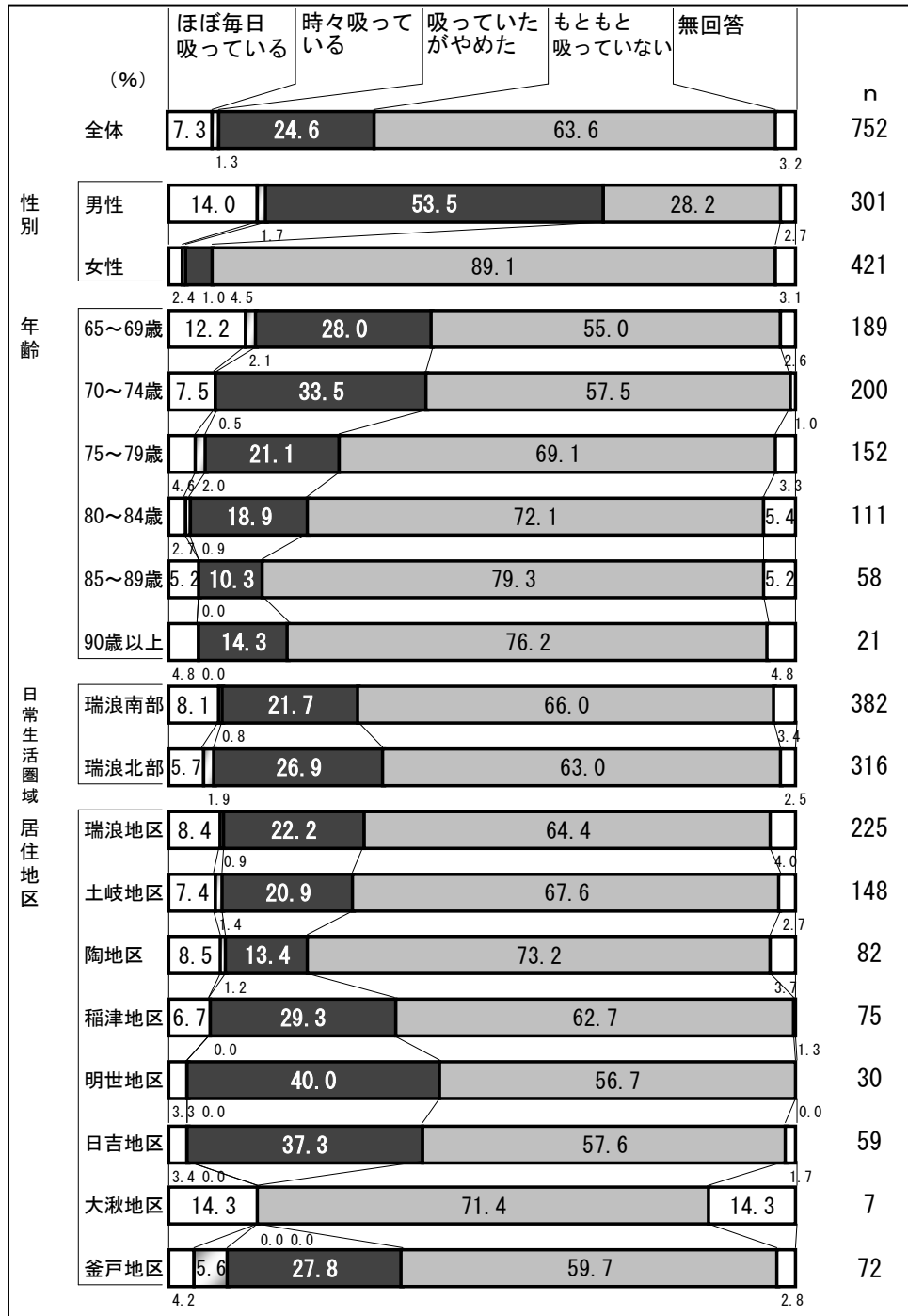
- “吸っていない” 9割弱、一方、“吸っている” が 8.6%。

喫煙習慣の有無については、「もともと吸っていない」が 63.6%で最も多く、これに「吸っていたがやめた」(24.6%)を合わせた“吸っていない”が 88.2%、一方、“吸っている”（「ほぼ毎日吸っている」(7.3%)、「時々吸っている」(1.3%)の合計）は 8.6%となっています。

性別で見ると、“吸っている”の割合は、女性に比べ男性のほうが約 12 ポイント上回っています。

年齢別で見ると、“吸っている”の割合は、概ね年齢層が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 喫煙習慣の有無





## (7) 現在治療中または後遺症のある病気

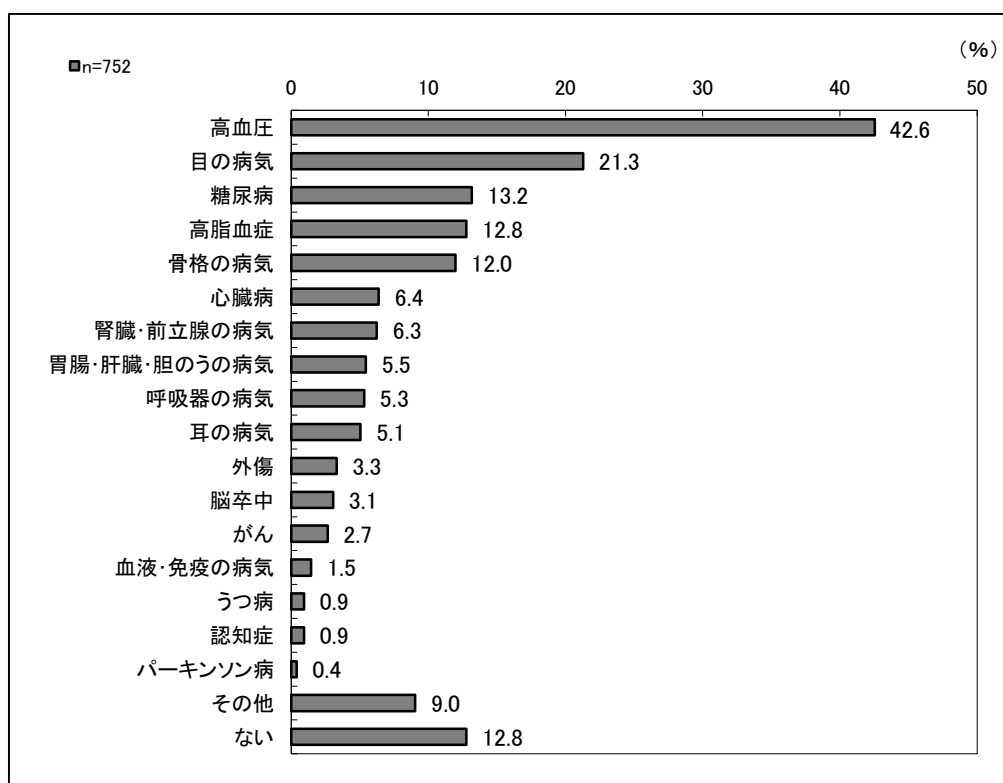
問 59 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。【複数回答】

- 「高血圧」が他を引き離して第1位。

現在治療中または後遺症のある病気については、具体的には、「高血圧」(42.6%)、「目の病気」(21.3%)、「糖尿病」(13.2%)、「高脂血症」(12.8%)、「骨格の病気」(12.0%)、「心臓病」(6.4%)、「腎臓・前立腺の病気」(6.3%)、「胃腸・肝臓・胆のうの病気」(5.5%)、「呼吸器の病気」(5.3%)、「耳の病気」(5.1%)、「外傷」(3.3%)、「脳卒中」(3.1%)、「がん」(2.7%)、「血液・免疫の病気」(1.5%)、「うつ病」・「認知症」(同率0.9%)、「パーキンソン病」(0.4%)の順となっています。なお、「ない」は12.8%となっています。

属性別でも、すべての層で「高血圧」が第1位となっています。(居住地区別の大湫地区では、「目の病気」・「耳の病気」(同率))

図表 現在治療中または後遺症のある病気 (全体)



図表 現在治療中または後遺症のある病気（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		高血圧 42.6	目の病気 21.3	糖尿病 13.2
性別	男性	高血圧 39.9	糖尿病 17.9	目の病気 17.3
	女性	高血圧 44.7	目の病気 24.5	骨格の病気 15.7
年齢	65～69歳	高血圧 27.5	高脂血症 14.8	糖尿病 13.8
	70～74歳	高血圧 44.5	目の病気 22.0	高脂血症 18.0
	75～79歳	高血圧 48.7	目の病気 25.7	糖尿病 14.5
	80～84歳	高血圧 55.9	目の病気 28.8	糖尿病/耳の病気 12.6
	85～89歳	高血圧 48.3	目の病気 22.4	骨格の病気 17.2
	90歳以上	高血圧 38.1	骨格の病気/目の病気 33.3	
日常生活圏域	瑞浪南部	高血圧 42.4	目の病気 18.8	糖尿病 14.9
	瑞浪北部	高血圧 44.0	目の病気 24.4	高脂血症 13.3
居住地区	瑞浪地区	高血圧 43.1	目の病気 20.0	糖尿病 16.0
	土岐地区	高血圧 45.3	目の病気 25.7	骨格の病気 11.5
	陶地区	高血圧 36.6	骨格の病気 15.9	糖尿病 14.6
	稲津地区	高血圧 46.7	目の病気 21.3	骨格の病気 18.7
	明世地区	高血圧 53.3	目の病気 23.3	腎臓・前立腺の病気 20.0
	日吉地区	高血圧 32.2	目の病気 25.4	高脂血症 16.9
	大湫地区	高血圧/目の病気/耳の病気 28.6		
	釜戸地区	高血圧 48.6	目の病気 20.8	高脂血症 16.7

## 8 介護が必要になった場合などについて

### (1) 本人が要介護状態になった際の希望の過ごし方

問 60 あなたが、要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしたいですか。



- 「特別養護老人ホームなどの介護施設」が3割強。

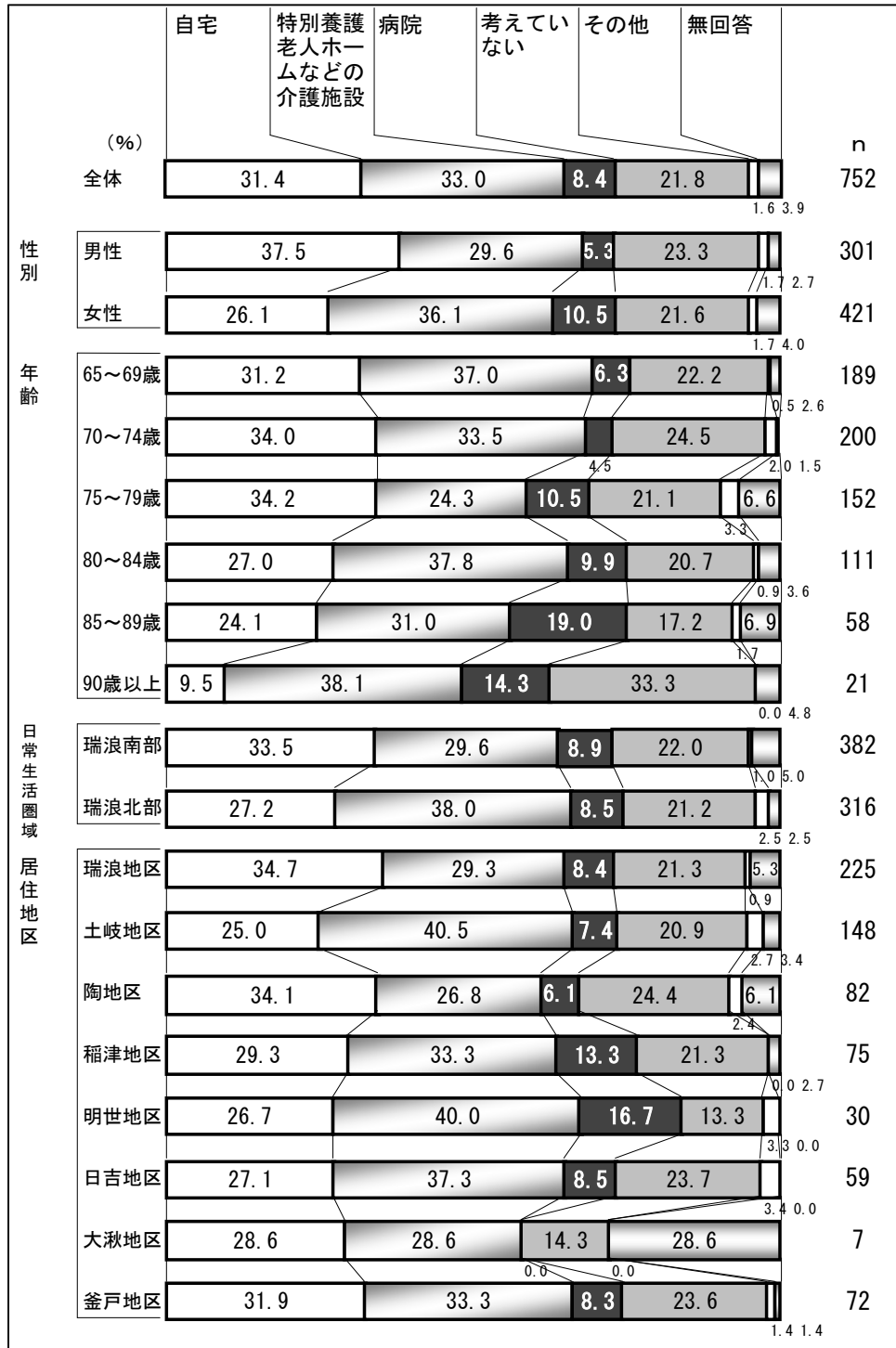
本人が要介護状態になった際の希望の過ごし方についてたずねたところ、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が33.0%、「自宅」が31.4%、「考えていない」が21.8%、「病院」が8.4%となっています。

性別で見ると、男性は「自宅」、女性は「特別養護老人ホームなどの介護施設」が多数を占めています。

日常生活圏域別で見ると、「特別養護老人ホームなどの介護施設」の割合は、瑞浪南部に比べ瑞浪北部のほうが約8ポイント上回っています。

居住地区別で見ると、「特別養護老人ホームなどの介護施設」の割合は、一番高い土岐が一番低い陶地区を約14ポイント上回っています。

図表 本人が要介護状態になった際の希望の過ごし方



## (2) 家族が要介護状態になった際の希望の過ごさせ方

問 61 あなたのご家族が、要介護状態などで長期の療養が必要になった時、主にどこで過ごしてもらいたいですか。



- 「特別養護老人ホームなどの介護施設」が3割強。

家族が要介護状態になった際の希望の過ごさせ方については、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が32.6%、「考えていない」が23.8%、「自宅」が23.5%、「病院」が9.7%となっています。

日常生活圏域別でみると、「特別養護老人ホームなどの介護施設」の割合は、瑞浪南部に比べ瑞浪北部のほうが約9ポイント上回っています。

また、「問 64 家族が最期を迎える場としてよいと思う場所」とのクロス集計では、要介護時に「自宅」を希望した場合、最期も「自宅」を希望する割合が5割強にのびます。また、要介護時に「病院」を希望した場合、最期は「病院」が5割強を占めるとともに、「緩和ケア病棟」を希望する割合も3割弱にのびます。

図表 家族が要介護状態になった際の希望の過ごさせ方

	希望の過ごさせ方 (%)						n
	自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	病院	考えていない	その他	無回答	
全体	23.5	32.6	9.7	23.8	2.7	7.7	752
性別	男性	28.2	32.6	9.3	23.3	2.3 4.3	301
	女性	19.7	33.7	10.0	24.2	2.9	421
年齢	65～69歳	21.2	39.2	9.0	24.3	2.6 3.7	189
	70～74歳	24.0	34.0	10.0	25.5	2.0 4.5	200
	75～79歳	29.6	24.3	10.5	21.1	3.9	152
	80～84歳	19.8	35.1	8.1	22.5	2.7	111
	85～89歳	17.2	25.9	13.8	27.6	1.7	58
	90歳以上	9.5	38.1	14.3	33.3	0.0 4.8	21
日常生活圏域	瑞浪南部	26.4	29.1	11.0	23.3	1.3	382
	瑞浪北部	19.6	38.0	9.2	23.7	3.8	316
居住地区	瑞浪地区	26.7	30.2	8.4	24.0	8.9	225
	土岐地区	18.9	37.8	8.1	23.6	6.1 5.4	148
	陶地区	31.7	23.2	15.9	19.5	9.8	82
	稲津地区	20.0	32.0	13.3	25.3	8.0	75
	明世地区	23.3	40.0	13.3	20.0	1.3	30
	日吉地区	18.6	37.3	11.9	27.1	5.1	59
	大湫地区	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0	7
	釜戸地区	19.4	37.5	8.3	22.2	9.7	72
						2.8	

図表 家族が要介護状態になった際の希望の過ごさせ方×家族が最期を迎える場としてよいと思う場所

		合計	問64 家族が最期を迎える場としてよいと思う場所						
			自宅	特別養護老人ホームなどの介護施設	医療機関	緩和ケア病棟	わからない	その他	無回答
	全体	n=752	24.6	4.0	25.1	21.1	18.4	1.3	5.5
問61 家族が要介護状態になった際の希望の過ごさせ方	自宅	n=177	53.1	0.6	18.6	15.8	10.7	0.0	1.1
	特別養護老人ホーム	n=245	18.0	9.0	28.2	31.0	11.8	0.4	1.6
	病院	n=73	6.8	0.0	54.8	28.8	8.2	1.4	0.0
	考えていない	n=179	18.4	2.2	22.3	15.1	39.7	0.6	1.7
	その他	n=20	10.0	5.0	20.0	20.0	10.0	30.0	5.0

### (3) 家族介護の負担軽減のために必要なサービス

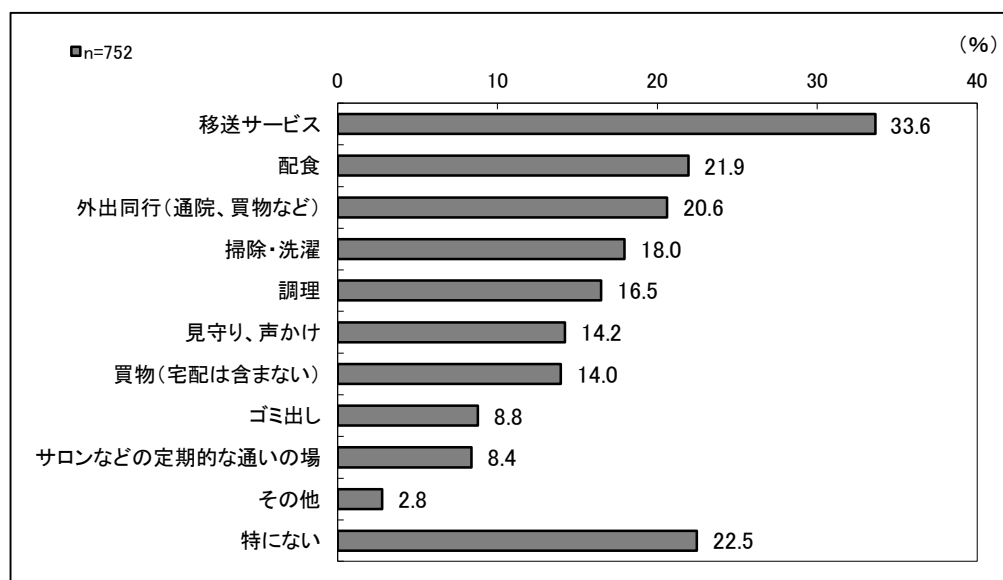
問 62 家族の介護負担を軽減するために必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。  
【複数回答】

- 「移送サービス」が第1位、次いで、「配食」、「外出同行（通院、買物など）」の順。

家族介護の負担軽減のために必要なサービスについては、具体的には、「移送サービス」(33.6%)、「配食」(21.9%)、「外出同行（通院、買物など）」(20.6%)、「掃除・洗濯」(18.0%)、「調理」(16.5%)、「見守り、声かけ」(14.2%)、「買物（宅配は含まない）」(14.0%)、「ゴミ出し」(8.8%)、「サロンなどの定期的な通いの場」(8.4%)の順となっています。なお、「特にない」は22.5%となっています。

属性別でも、すべての層で「移送サービス」が第1位となっています。

図表 家族介護の負担軽減のために必要なサービス（全体）



図表 家族介護の負担軽減のために必要なサービス（全体・属性別－上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		移送サービス 33.6	配食 21.9	外出同行（通院、買物など） 20.6
性別	男性	移送サービス 27.9	配食 25.6	掃除・洗濯 19.9
	女性	移送サービス 39.0	外出同行（通院、買物など） 22.8	配食 19.7
年齢	65～69歳	移送サービス 45.5	配食 23.3	外出同行（通院、買物など） 20.1
	70～74歳	移送サービス 35.5	配食 28.0	調理 20.0
	75～79歳	移送サービス 30.3	外出同行（通院、買物など） 27.6	配食/掃除・洗濯 19.7
	80～84歳	移送サービス 23.4	外出同行（通院、買物など） 19.8	配食 16.2
	85～89歳	移送サービス 25.9	掃除・洗濯 24.1	調理 20.7
	90歳以上	移送サービス 33.3	掃除・洗濯 28.6	外出同行（通院、買物など） 23.8
日常生活圏域	瑞浪南部	移送サービス 32.7	外出同行（通院、買物など） 21.7	配食 20.4
	瑞浪北部	移送サービス 36.1	配食 24.4	外出同行（通院、買物など） 20.9
居住地区	瑞浪地区	移送サービス 34.2	配食 22.2	外出同行（通院、買物など） 21.3
	土岐地区	移送サービス 35.8	配食 22.3	外出同行（通院、買物など） 19.6
	陶地区	移送サービス 26.8	外出同行（通院、買物など） 24.4	調理 19.5
	稲津地区	移送サービス 34.7	配食 25.3	外出同行（通院、買物など） 20.0
	明世地区	移送サービス 43.3	配食 33.3	外出同行（通院、買物など） 26.7
	日吉地区	移送サービス 35.6	配食/調理/外出同行（通院、買物など） 22.0	
	大湫地区	移送サービス 42.9	配食/掃除・洗濯 28.6	
	釜戸地区	移送サービス 33.3	配食 26.4	掃除・洗濯 22.2



#### (4) 自分が最期を迎える場として希望する場所

問 63 あなたが、がんなどの病気で人生の最後を迎える時が来た場合、療養の場所はどこを希望されますか。



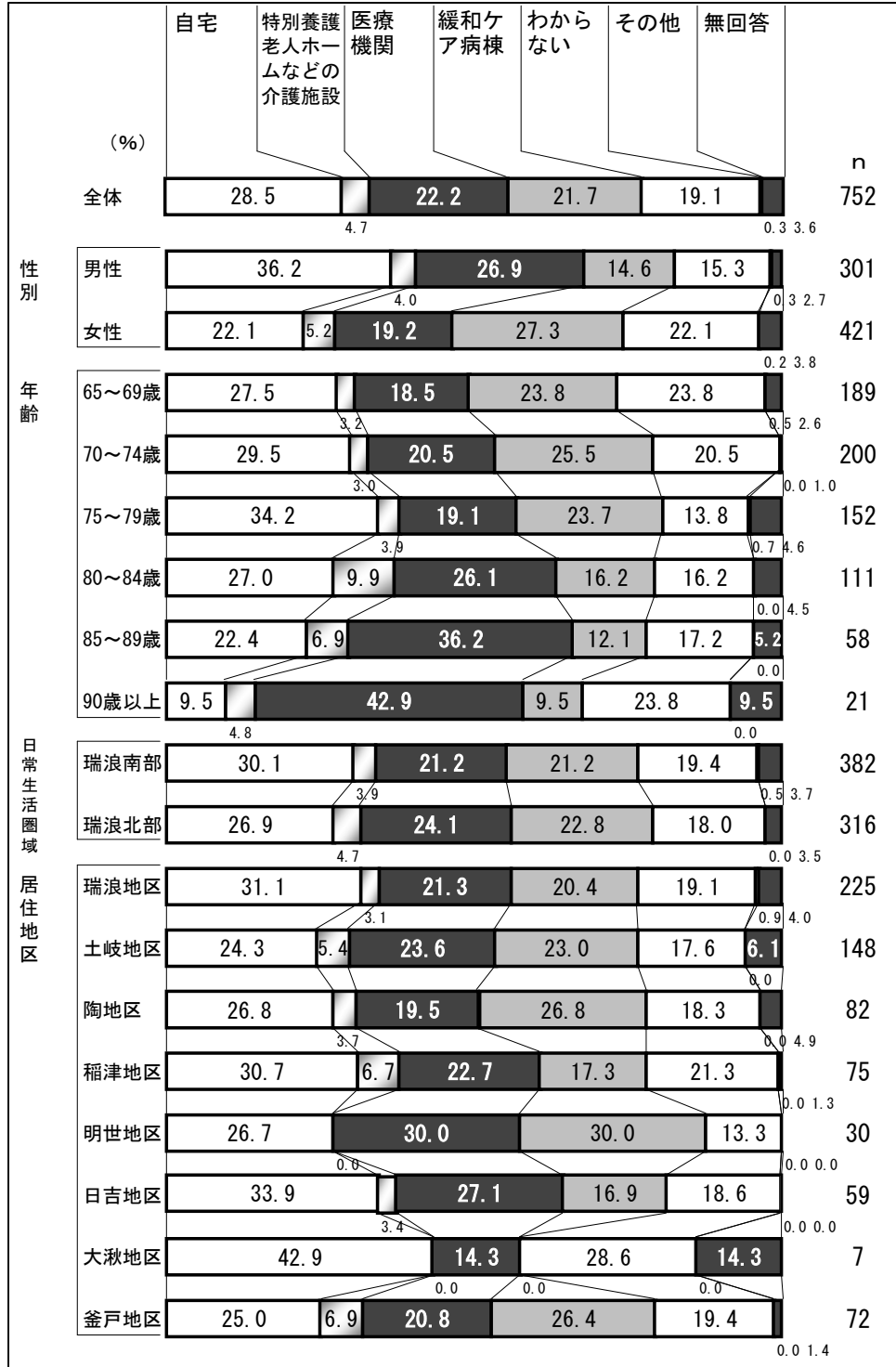
- 「自宅」が3割弱。

最期を迎えたい場所については、「自宅」が28.5%、「医療機関」が22.2%、「緩和ケア病棟」が21.7%、「わからない」が19.1%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が4.7%となっています。

性別で見ると、男性では「自宅」、女性では「緩和ケア病棟」の割合が多数を占めています。

年齢別で見ると、「医療機関」の割合は、概ね年齢層の高さに比例して、高くなる傾向がみられます。

図表 自分が最期を迎える場として希望する場所



## (5) 家族が最期を迎える場としてよいと思う場所

問 64 あなたのご家族が、がんなどの病気で人生の最後を迎える時が来た場合、どこで療養してもらいたいですか。



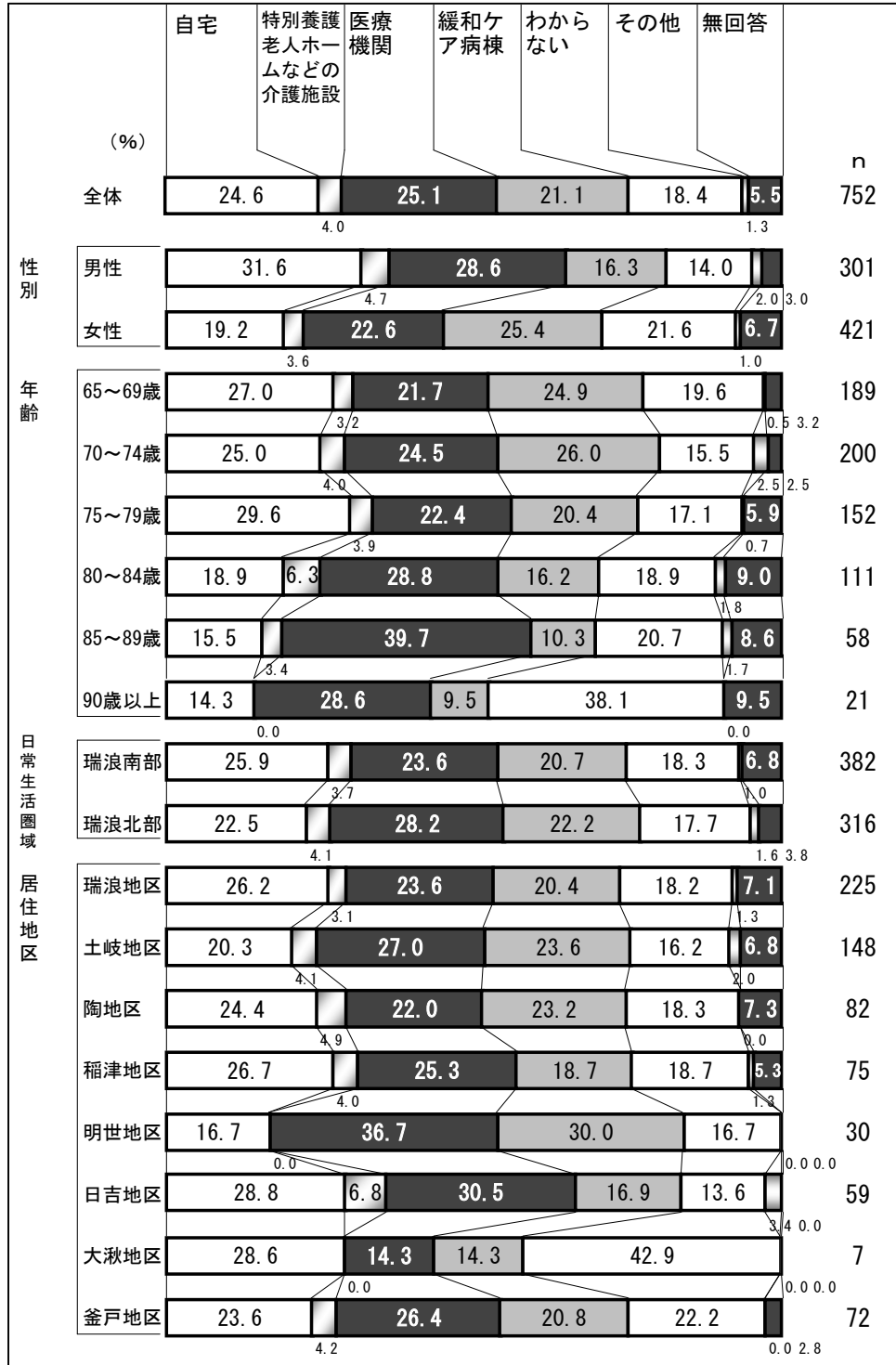
- 「医療機関」が2割台半ば。

家族が最期を迎える場としてよいと思う場所については、「医療機関」が25.1%、「自宅」が24.6%、「緩和ケア病棟」が21.1%、「わからない」が18.4%、「特別養護老人ホームなどの介護施設」が4.0%となっています。

性別で見ると、男性では「自宅」、女性では「緩和ケア病棟」の割合が多数を占めています。

年齢別で見ると、「緩和ケア病棟」の割合は、概ね年齢層が高いほど、低くなる傾向がみられます。

図表 家族が最期を迎える場としてよいと思う場所



## 9 医療等について

### (1) かかりつけ医師、歯科医師、薬剤師の有無

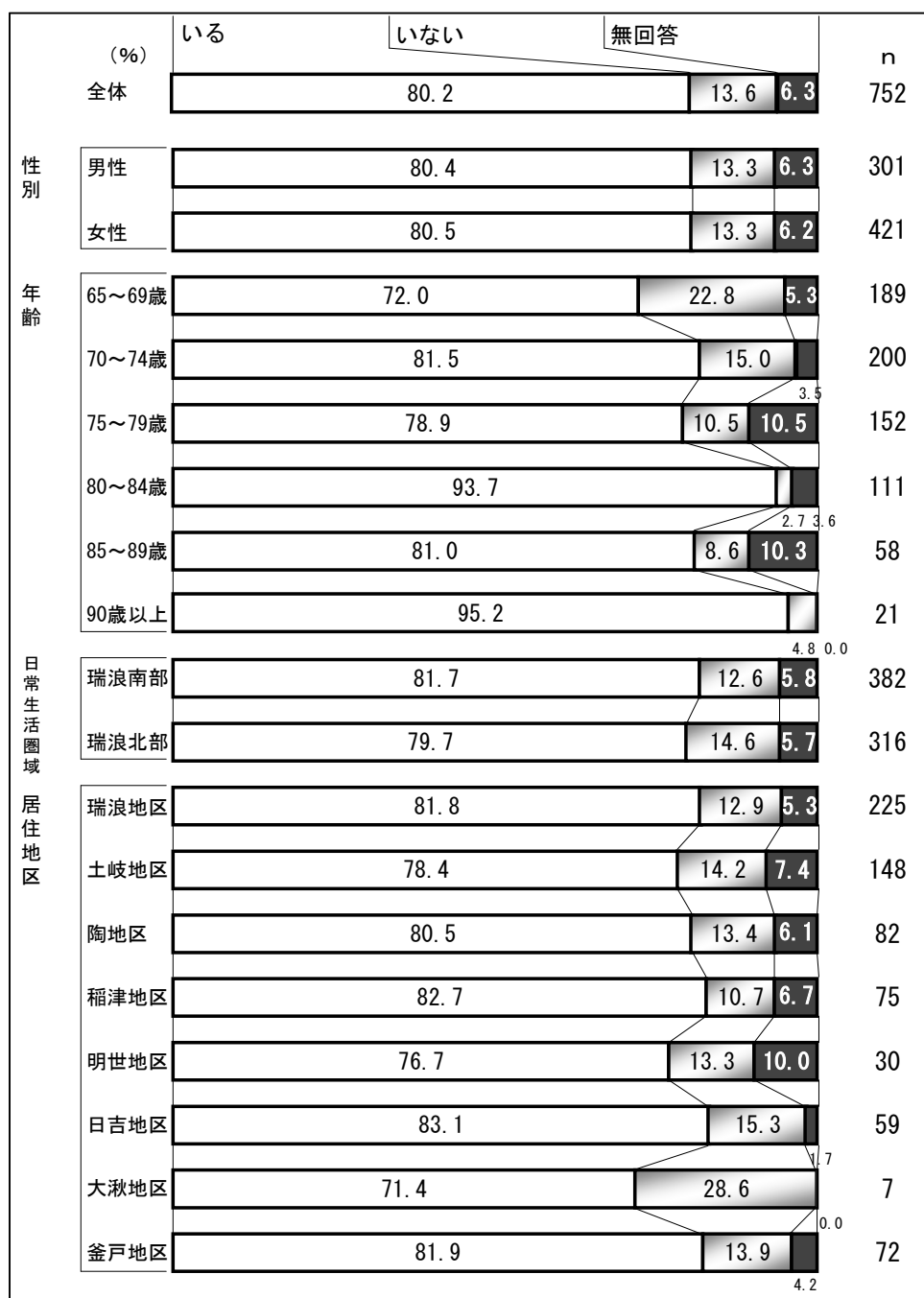
問 65 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師、歯科医師、薬剤師がいますか。

- かかりつけ医師は約8割、かかりつけ歯科医師は7割強、かかりつけ薬剤師は4割弱が「いる」と回答。

#### ① かかりつけ医師の有無

かかりつけ医師の有無については、「いる」が80.2%、一方、「いない」が13.6%となっています。

図表 かかりつけ医師の有無



## ② かかりつけ歯科医師の有無

かかりつけ歯科医師の有無については、「いる」が72.2%、一方、「いない」が13.2%となっています。

図表 かかりつけ歯科医師の有無

	(%)	いる		いない		無回答		n
全体		72.2		13.2		14.6		752
性別	男性	73.1		14.6		12.3		301
	女性	72.4		12.1		15.4		421
年齢	65～69歳	81.0		11.6		7.4		189
	70～74歳	75.5		17.5		7.0		200
	75～79歳	65.1		11.8		23.0		152
	80～84歳	72.1		7.2		20.7		111
	85～89歳	55.2		13.8		31.0		58
	90歳以上	71.4		19.0		9.5		21
日常生活圏	瑞浪南部	71.5		13.6		14.9		382
	瑞浪北部	73.7		12.3		13.9		316
居住地区	瑞浪地区	71.6		14.2		14.2		225
	土岐地区	74.3		11.5		14.2		148
	陶地区	73.2		14.6		12.2		82
	稲津地区	69.3		10.7		20.0		75
	明世地区	76.7		10.0		13.3		30
	日吉地区	66.1		16.9		16.9		59
	大湫地区	57.1		28.6		14.3		7
	釜戸地区	79.2		9.7		11.1		72

### ③ かかりつけ薬剤師の有無

かかりつけ薬剤師の有無については、「いる」が 38.4%、一方、「いない」が 37.9%となっています。

性別でみると、「いる」の割合は、男性に比べ女性のほうが 11 ポイント上回っています。

居住地区別でみると、「いる」の割合は、高い地区と低い地区で 20~30 ポイントの違いがみられます。

図表 かかりつけ薬剤師の有無

	(%)	いる	いない	無回答	n
全体		38.4	37.9	23.7	752
性別	男性	32.2	45.2	22.6	301
	女性	43.2	33.5	23.3	421
年齢	65~69歳	32.8	52.4	14.8	189
	70~74歳	39.5	44.0	16.5	200
	75~79歳	42.8	27.0	30.3	152
	80~84歳	43.2	26.1	30.6	111
	85~89歳	34.5	24.1	41.4	58
	90歳以上	42.9	33.3	23.8	21
日常生活圏域	瑞浪南部	41.1	35.6	23.3	382
	瑞浪北部	35.4	40.8	23.7	316
居住地区	瑞浪地区	42.2	37.3	20.4	225
	土岐地区	32.4	41.9	25.7	148
	陶地区	41.5	31.7	26.8	82
	稲津地区	37.3	34.7	28.0	75
	明世地区	36.7	46.7	16.7	30
	日吉地区	28.8	45.8	25.4	59
	大湫地区	14.3	71.4	14.3	7
	釜戸地区	48.6	29.2	22.2	72

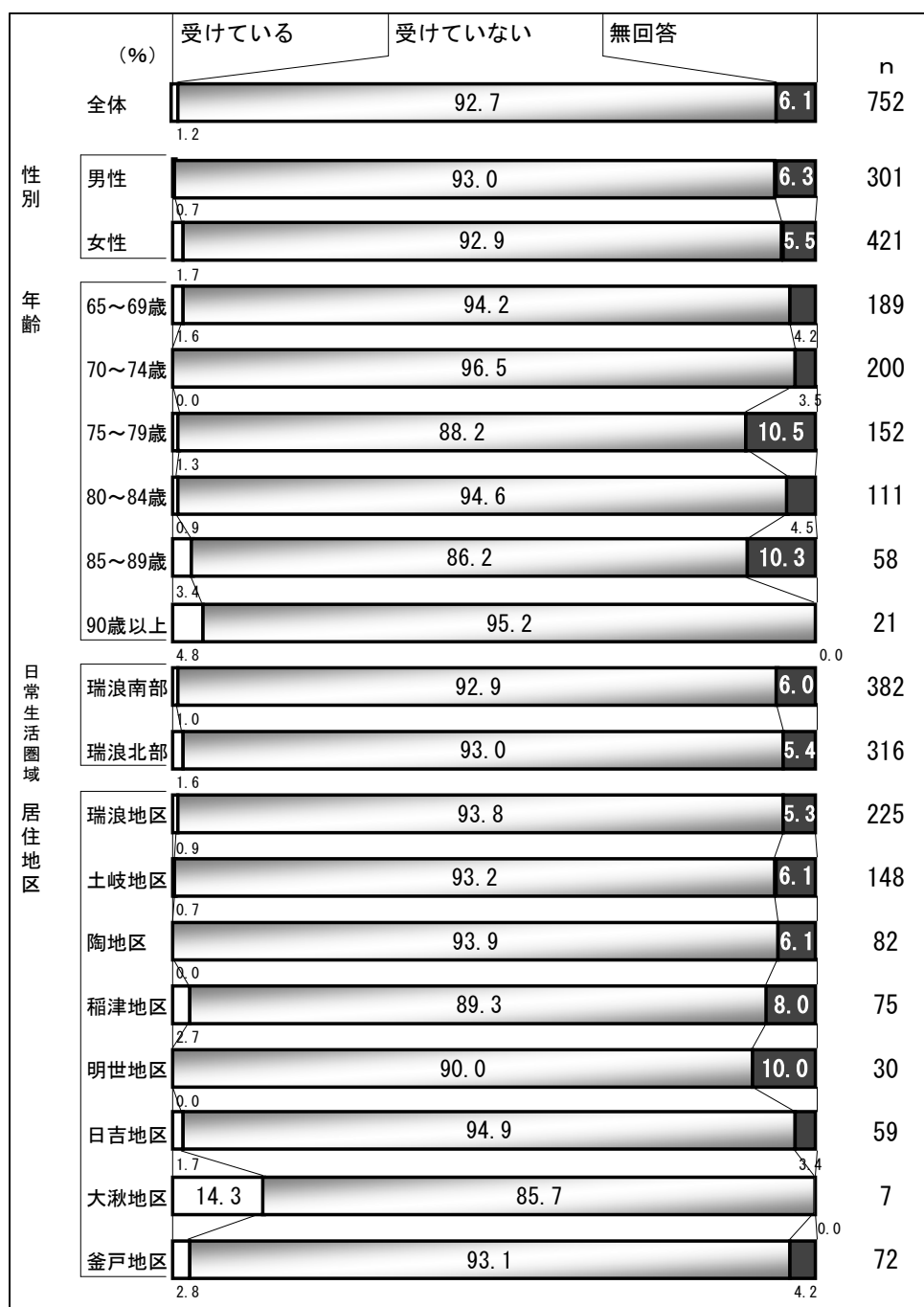
## (2) 自宅で訪問診療を受けているか

問 66 あなたは、自宅で訪問診療（医師の訪問）を受けていますか。

● 「受けていない」が9割強、一方、「受けている」が1.2%。

自宅で訪問診療を受けているかたずねたところ、「受けていない」が92.7%、一方、「受けている」が1.2%となっています。

図表 自宅で訪問診療を受けているか





## 10 認知症について

### (1) 認知症の症状があるまたは家族に症状がある

問 67 あなたに認知症の症状があるまたはあなたの家族に認知症の症状がある人がいますか。



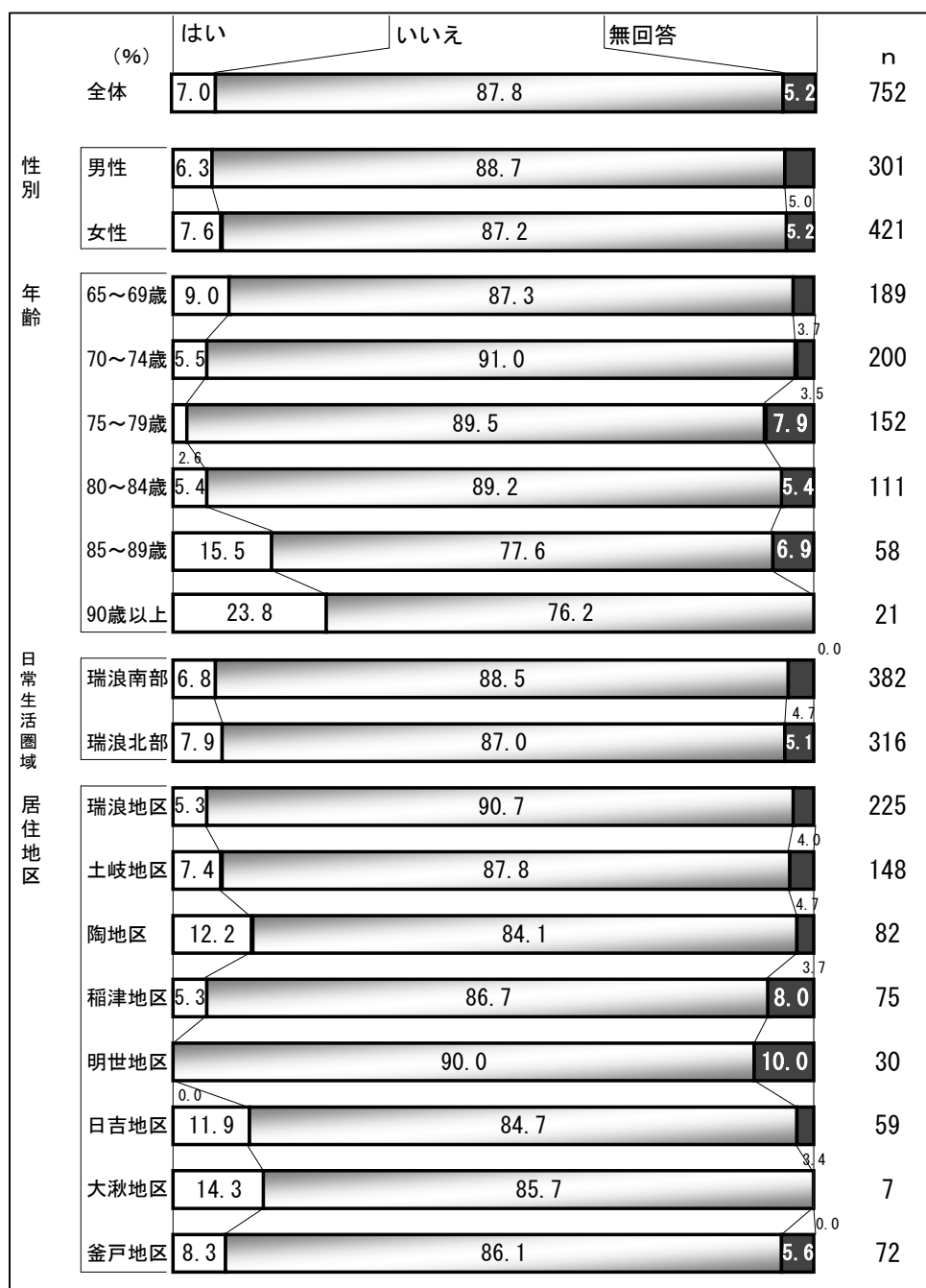
- 「いいえ」が9割弱、一方、「はい」が7.0%。

認知症の症状がある、または家族に症状があるかどうかたずねたところ、「いいえ」が87.8%、一方、「はい」が7.0%となっています。

属性別でみると、「はい」の割合が1割を超えるのは、年齢別の85-89歳、90歳以上、居住地区別の陶地区、日吉地区、大湫地区となっています。

また、「問 68 認知症に関する相談窓口を知っているか」とのクロス集計では、本人あるいは家族に認知症状があるという回答者のうち、相談窓口を知らない割合は3割台半ばにのぼります。

図表 認知症の症状があるまたは家族に症状がある



図表 認知症の症状があるまたは家族に症状がある×問68 認知症に関する相談窓口を知っているか

		合計	問68 認知症に関する相談窓口を知っているか		
			はい	いいえ	無回答
	全体	n=752	29.8	63.3	6.9
問67 認知症の症状があるまたは家族に症状がある	はい	n=53	64.2	35.8	0.0
	いいえ	n=660	28.6	68.8	2.6

## (2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

問 68 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

● 「いいえ」が6割強、一方、「はい」が約3割。

認知症に関する相談窓口を知っているかたずねたところ、「いいえ」が63.3%、一方、「はい」が29.8%となっています。

年齢別でみると、「はい」の割合は、一番高い90歳以上が一番低い80-84歳を約13ポイント上回っています。

図表 認知症に関する相談窓口を知っているか

		(% )			n
		はい	いいえ	無回答	
	全体	29.8	63.3	6.9	752
性別	男性	28.2	66.1	5.6	301
	女性	32.1	60.3	7.6	421
年齢	65～69歳	37.0	58.7	4.2	189
	70～74歳	27.5	68.0	4.5	200
	75～79歳	25.7	61.8	12.5	152
	80～84歳	25.2	69.4	5.4	111
	85～89歳	34.5	56.9	8.6	58
	90歳以上	38.1	57.1	4.8	21
日常生活圏域	瑞浪南部	29.1	63.9	7.1	382
	瑞浪北部	30.4	63.3	6.3	316
居住地区	瑞浪地区	29.3	63.6	7.1	225
	土岐地区	29.7	64.9	5.4	148
	陶地区	29.3	64.6	6.1	82
	稲津地区	28.0	64.0	8.0	75
	明世地区	40.0	50.0	10.0	30
	日吉地区	37.3	59.3	3.4	59
	大湫地区	14.3	57.1	28.6	7
	釜戸地区	23.6	69.4	6.9	72

### (3) 認知症に関する取り組みで参加したいもの

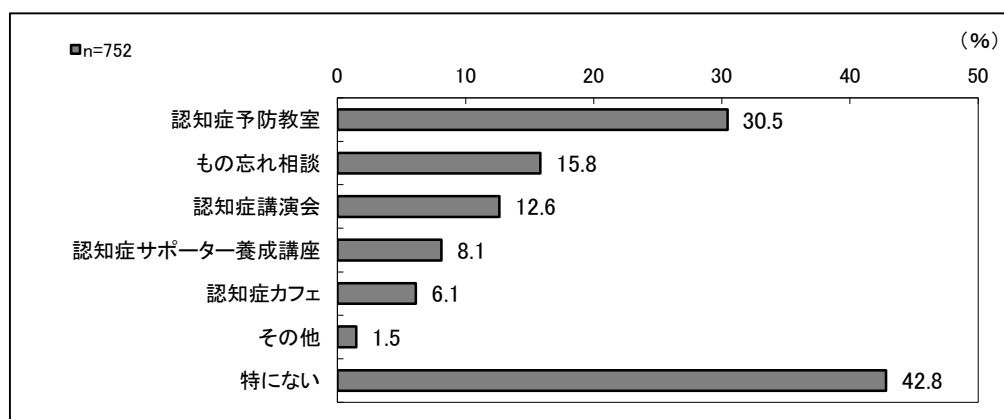
問 69 市では認知症が正しく理解され、認知症であっても安心して暮らせるまちづくりを推進していますが、認知症に関する取り組みの中で参加してみたいものはありますか。【複数回答】

- 具体的には、「認知症予防教室」が第1位、次いで、「もの忘れ相談」、「認知症講演会」の順。

認知症に関する取り組みで参加したいものは、具体的には、「認知症予防教室」(30.5%)、「もの忘れ相談」(15.8%)、「認知症講演会」(12.6%)、「認知症サポーター養成講座」(8.1%)、「認知症カフェ」(6.1%)の順となっています。なお、「特にない」は42.8%となっています。

属性別でも、すべての層で「認知症予防教室」が第1位となっています。(居住地区別の大湫地区では、「もの忘れ相談」(同率))

図表 認知症に関する取り組みで参加したいもの(全体)



図表 認知症に関する取り組みで参加したいもの（全体・属性別—上位3位）

（単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		認知症予防教室 30.5	もの忘れ相談 15.8	認知症講演会 12.6
性別	男性	認知症予防教室 22.9	認知症講演会 12.3	もの忘れ相談 9.3
	女性	認知症予防教室 35.9	もの忘れ相談 19.7	認知症講演会 13.1
年齢	65～69歳	認知症予防教室 32.8	認知症講演会 15.9	もの忘れ相談 14.3
	70～74歳	認知症予防教室 27.0	もの忘れ相談 16.5	認知症サポーター養成講座/ 認知症講演会 13.0
	75～79歳	認知症予防教室 27.6	もの忘れ相談 15.8	認知症講演会 11.8
	80～84歳	認知症予防教室 37.8	もの忘れ相談 16.2	認知症講演会 11.7
	85～89歳	認知症予防教室 32.8	もの忘れ相談 15.5	認知症講演会 10.3
	90歳以上	認知症予防教室 23.8	もの忘れ相談 19.0	認知症講演会/認知症カフェ 4.8
日常生活圏域	瑞浪南部	認知症予防教室 29.3	もの忘れ相談 16.2	認知症講演会 14.9
	瑞浪北部	認知症予防教室 31.0	もの忘れ相談 14.9	認知症講演会 9.8
居住地区	瑞浪地区	認知症予防教室 29.8	認知症講演会 18.2	もの忘れ相談 17.3
	土岐地区	認知症予防教室 28.4	もの忘れ相談 14.2	認知症サポーター養成講座/ 認知症講演会 8.8
	陶地区	認知症予防教室 34.1	もの忘れ相談 17.1	認知症講演会 12.2
	稲津地区	認知症予防教室 22.7	もの忘れ相談 12.0	認知症サポーター養成講座/ 認知症講演会 8.0
	明世地区	認知症予防教室 33.3	もの忘れ相談 20.0	認知症講演会 13.3
	日吉地区	認知症予防教室 30.5	認知症サポーター養成講座/もの忘れ相談	10.2
	大湫地区	認知症予防教室/もの忘れ相談	42.9	認知症講演会 28.6
	釜戸地区	認知症予防教室 34.7	もの忘れ相談 15.3	認知症講演会/認知症カフェ 9.7